			一般経費(防災	出前記										事業期間	平成		~		年度	整理番号	
担	当部	署	危機管理室			N.	災х	策課			防災対	対策係		1	作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
								政	策	05				らぎのむ								
			プランに	有	政	策 体	系	施	策	05	第5節			い、安全	とで明る	いまち	づくり	J				
	お	ける	位置づけ	Ι"	-2.		,,,		施 策	01	防災意											
計	_	A-A-	- Alle 5					事務	事業	01	防災出	打印部	座開催	事業		A =1		21 00	4 +6		T 04 D	05 - 111 04
AT	予	算	事業名		- n- 111	AD 444	<u> </u>	1 34 //	. 1 1		Life John Com 1	. 	le mierce i	_ BB _L 7	**		コード			09	項 01 目	05 事業 01
				83	心心炎	,粗輙(ル九:	美強化		rc.;	吧哦に	田門で	*"例炎	に関する	蔣演宏 "	计修 3	その開	惟しa				
	事	務事	業の概要																			
画	(181	派 [二 /	() () () ()																			
				<<< ≡	2 10 14	(I- F	.1 1	H- (((B)	12 機則	1+21+	74 (+ ;+)	+ 73 :	± +> (\ .	- 6-6-2	Fash del	<u>м</u> #4	1-1-44h	Hat An -	Zú	·+-+ Z	L.A(1	重要であり、
			と背景											- Cから あります		,W X =	EIA-PE-	製(0))	J C III	т 9 Ф	וו בכאי	長くのり、
	(ع .	うして)																			
			受 益 者	市	Ę																	
	目	対	(誰のために)	白土	<u> </u>	組織	B787	市民														
		象	対 象		_10) 50	, qui que a	20.	1174														
Р			(直接働きかける)																			
	的		意 図	防災	(意識	の高	易を	図る。														
	пэ	(どん	な状態にしたいか)																			
L				地區	3 = 2	4=3	ティ	重営協	議会を	通じ	、区長:	会へ(の依頼									
_				ГД	5報ち	。 の」	LF.	ーナチ	ヤンオ	・ル」	を利用	した」	な報活動	b								
			・方法																			
	(とっ	やって)																			
Α																						
			行政活動の	結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	目标	票値認	定の参	きえ方など	最終目標値
		活	防災出前講	本 の	四分					出前	薄座開 僧	半組を	**	組織	9 4 防	(((全日 全世	での見	8.0¥ (1111 公本・	⊕ #\\		94
N	評	動	例火山門時	座切	州唯					TTI BUE		医水口甲	<u> </u>	ALL POR	9 4 WJ	火和工物	CODB	HIE (加川林木	= 0/		
	価	指標																				
	指標	尓																				
J	の																					
	作	成	成 果	٠	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値部	定のす	きえ方など	最終目標値
	成	果	防災意識の	高揚	を図る	<u></u>				出前	溝座実 加	恒率		%	講座回	数/94	4 自主	防災網	且織	講座の)み	100
		指標																				
		「示																				

_								
	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		(a)	円					
Į.	財国庫支出	金	円					
	:面 │	金	円					
	地 万	債	田					
	「一ての他特定期	源	円					
-	訳 一般 財	源	円					
施具	職 正規職	員	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	嘱 託 職	員	人					
	こここ 日本	員	人					
状		計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	対象 (者)	数						
		(b)	_					
		(b)	円	_	-	_	-	-
況	受益者負担	額	円					0.00
	市民一人当たりのコス		円	_	-		-	3. 00
	(1) 大公司 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	目標	組織	94 65	94	94 69	94 87	94 87
<u> </u>	出前講座開催組織数	実績達成率	%	69, 15	65 69, 15	73, 40	92, 55	92. 55
7	活		9/0	09. 10	09. 10	73. 40	92. 00	92. 00
3	動 _ 指	目標 実績	_					
4	년							
D	[日]		04				_	
	(F)	達成率	%	_	-	_	-	_
	票	達成率 目標	% _	_	-	-	_	_
	票	達成率 目標 実績	_	-	-		_	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	達成率 目標 実績 達成率	- %	_	_		_	_
O ,	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	達成率 目標 実績 達成率	_		— 92			
J.	標 一 水 出 前講座実施率 果	達成率 実績 達成率 実績	- %		92 31			
J.	標 一 水 出 前講座実施率 果	達成率 目 実成率 目 実成 標	- % %		— 92			
· · · · ·	標 一	達目実成標績率目実成標標	- % %		92 31			
· · · · ·	標 一 水 出 前講座実施率 果	達成率 目 実成率 目 実成 標	- % %		92 31			
) 月 月 村		達目実達目実成標績率標績率標績率標	- % % -	- 94 13 13.83	92 31 33, 70	94 45 47. 87	94 35 37. 23	94 47 50. 00
) 月 村 村	標 一	達目実達目実成標績率標績率標績率標	- % % -	- 94 13 13.83	92 31 33, 70	94 45 47. 87	94 35 37. 23	94 47 50. 00

事務事	事業	(名)	-般紹	費(防災	出前課	座開作	崖)事	業						事業	期間	平成		^		年	度 整理	理番号	01080	106
担当	部	署危	機管	理室			防约	炎対策	課		防約	災対策係			作成技	担当者	名	平	澤	浩	=	連	絡先	136	ô
其	iii I				F	. 標						5	毛 絹	Ī							課	題			
第 四 1 其	第 1	消防罪 想、各	肾員 ₫	自主 での	防災		川練資	料に被	害予			総訓練資 織で講演:	料の核	討。	-		ā	練を	実施	iしては			災組織	がある。	
半 第 2 其 期	2 1	地区0	DIE F	会を	通じ、	出前	講座を	啓蒙す	⁻ る。	自主队	方災組	織で講演	会を実	施した	Ξ.			主味		織に	より、タ	後害に対	対する。	意識の温	度
第3	3	各区・	自治	会の 3	事情(こあ っ7	た出前	講座の	実施。	自主的	方災組	織で講演:	会を実	施した	Ξ.		<i>t</i>	ある	。(計					いても、 かわから	
第 4 其	4	自主队	方災制	1織訓	練資	料の流	舌用。					で説明した 織で講演:		施した	Ξ.					会でf がある		こもらう	ための	説明を個	別
0											Ą	中	ā	F	価										
빌	当年	度開	始後	、約	6ヶ)	月が経	過し、	新た	に生じ	た問題	点や斑	環境の変化	今	成	拡	充				2		⑤	レ	7	
													後	果の	現状	維持				3		6		9	
管													の の	方	縮	·_··				4		8		10	
		如	4年度	_ M±	佐司	Limi .	文 質 田	おま	1百 / コ	女革・3	b 美华	:)		向						•		•		W	
理		利	1+13				了开写	7个于	块 (5	X# - 4	X古火	.)	方	性_	休廃	<u></u>	(1)								
													向				皆		減	縮		現状		拡	大
													性					⊐	ス	۲	投	入の	方	向 性	Ė
	=	平価年	胺		<u>3</u>	4年度		1																	
	視		Ť	3	-	当		<u> </u>		有		効 性	ŧ		効		率	14	±		総	合 評	平価	判	定
≣ ज		の観	点	1 T	2	3	4	判別	ŧ .	1 2			判定	,	1 2	1	- 3	4	- 判:	定	וואנא	н в	і іш	13 ,	~_
24		ェック						4			L	,	3						4				В		
			意識を	高め	るた	めに	重要なる	事業で	あり#	差続して	実施	していく。	講座	開催	回数を均	曽やす	工夫	が必	更で	5 ,	: A :			業を進め	るこ
価影	果	る。 各区・ れても	· 自治 らう	会の必要	自主があ	防災網る。図	Ⅱ織役」 区長会(員は毎 の場や	年度変 自主以	をわるの 5災組 <mark>制</mark>	で、1 の会	各区・自治 養で説明と	会で : 依頼	毎年原 を重ね	度防災語 。ていく	構演会 く。	を事	業計	画に、	እ	号 B: の C: 定	事業規 の見直	進め方 模・内 しが必 統合、	に改善が 容・実施 要 休・廃止	主体
C	~																				前年度	総合評	価判定	<u> </u>	3
																				Ē				号 0801	0101
H 糸	公	elia I	細	Tel -##	施		策	* 1/ →	評	但		前		Last 12	細		施	•	策	: 1/4	評セフル	価		後	L
E #	1					要でも		■ = C	เตอม	い、四川		回数を増く			内容検					i = c	めるか	、四側		数を増	729
K C		前,	年 頃	改	苗	• 247	盖台	ŧ Λ	宝施	; 状 沥	1		ī	前任	度細放	h 午 =	亚価	にお	1+ .	ス 合	後の :	方向人	<u>#</u>		
改。	Ŧ	194	細		施		策	,	評	価	- 1	前		., .	細		施		策		評	/ (石		後	
革	}	<u>_</u> L				s 	朿	(a)	ĦŤ					<u>_</u>			TE .		収		at'	:		1次	
· 後	乡	成 果	拉		充			2		5	V	7		成 果	拡	· 充						ļ	<u></u>		
改善 の	D	の	瑪	状維	疛			3		6		9		の	現状網	維持									
の カ	5	方向	縮	ì	小			4		8		10		方 向	縮	小									
方向向		性	休	廃	止	1								性	休 廃	上									
Ad.					_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大	-		_	皆		減	縮	小	現状	:維持	拡	大
(1)		_	_				= 7			入の		向 性		_					ス		投			向 性	
A d	^											重要であり など内容 <i>0</i>												要であ	
<u> </u>	Ĕ	認を作	うう。											を行	う。										
Т		東日2	大人	E災を	・契機	٦. ا س	· 25	地区か	らの要	そ望は堆	加し	ているが、		、日本	大震災	を契	蔑とし		谷地	区か	らの要	望は増	加して	いるが	、引
T .	•		5 区 4										=	練士			易で四	なり、土	ける	١.					
T I B	· 女		区長				び掛ける						ฮ	続き	区長会		易で四	び掛	ける	0					
T .	· 女		区長										さ	続き			易で呵	^I び掛	ける	0 0					
T I O N	女善	き続き		全会等	の場		び掛け	る 。	<i>b</i> ≘.π	価責	/r +·	- I	1	続き		等の#		び掛	ける	00		 東		 淳	

事	務事	業名	防災訓練事	業											事業期間	引 平成	<u> </u>	~		年度	整	理番号	0108011	3
担	当部	署	危機管理室			防災	対策	果			防災対	対策係	Ŕ		作成担当	省者名	平	澤	浩	=	ì	連絡先	136	
			プランに 位置づけ	有	政策	5 体 系	施細		策	05	第5章 第5章 防災	市 货	後害に強		ある高原 全で明る			J						
							事	務事	業	02	市防災	炎訓網	事業											
Ħ	予	算	事 業 名		と訓練												ーコート				項		05 事業	
<u>(#</u>	(簡	務事	· 業 の 概 要 ^{っかりやすく)}	りま	きす。										事に際し								!の普及を	
			と 背 景うして)			訓練で、 課題です		住民	の参加	加にる	より災	害を	想定した	た訓練を	·実施。D	区、自	治会で	は単年	Fで役	員がる	交替で	する等に	動の継続	性
	目	対	受益者	市月市月																				
P		象	対象 (直接働きかける)																					
	的	(どん	意図な状態にしたいか)												災害対応		きるよ	うにす	ნ გ.					
L	手 (・ 方 法 やって)			機関及で会へ訓練				よりが	災害を	想定	した総1	合防災割	練の実施	極								
			行政活動の	結果:	からつ	くりだ	すもの	のは何	可?	指	標	名	称	単 位	算出力	法・詩	計算式	目标	票値設	定の	考え	方など	最終目標	値
N		活動	防災訓練の	参加	を促す	•			R Š	方災割 牧	練実	施通知	印発送	通	区・自	治会及	とび防災	炎関係	機関				10	0
	価指	指標	防災訓練を	実施	する				R	方災割	実施	回数		<u> </u>	年1回	実施								1
_	標の																							
	作	成	成果	•	効	果に	t 何] ?	•	指	標	名	称	単位	算出力	5法・詩	計算式	・目标	票値設	定の	考え	方など	最終目標	値
	成	果指	防災意識の	高揚	を図る				R	方災割	練参	加率		%	参加団	体/参	加要請	団体					10	0
		標																						

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		事業費等	(a)	円	554, 633	197, 811	552, 051	383, 012	500, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財	源	I					
	訳	一般財	源	円	554, 633	197, 811	552, 051	383, 012	500, 000
施	職	正規 職	員	人	0. 22	0. 22	0. 22	0. 22	0. 22
	員	嘱 託 職	員	人			0. 30	0. 30	0. 33
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 22	0. 22	0. 52	0. 52	0. 55
	2		数	<u> </u>					
			(b)	ᇫ					
			(b)	3 🗷	-	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円	10.00	4.00	10.00	7.00	FF 00
-		市民一人当たりのコス		円	10.00	4.00	10.00	7. 00	55. 00
		防災訓練実施通知発送	目標	通	100	100	100	100	100
		数	実績達成率	%	_				
	活			9/0					_
	動指	防災訓実施回数	目標実績						1
	指	的交前关心回数	達成率	%	100, 00	100, 00	100.00	100.00	100, 00
D	標		目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		_	実績	_					
			達成率	%	_		_	_	_
0			目標		80	80	80	80	80
	成	防災訓練参加率	実績	%	80	80	80	80	80
	果	の大学では、アンバー	達成率	%	100.00	100.00	100, 00	100.00	100, 00
	指		目標	,,	100.00			155.60	100.00
	標	_	実績	_					
	17TC		達成率	%	_	_	_	_	_
	備	平成27年度は、地震に	より場	滅的な	は被害が発生した場合	を想定し、市民、自	主防災組織及び防災	関係機関による、人命	た係る初期活動に
	17112	重点を置いた訓練を実施	しまし	た。					
	考	平成28年度は、地震に	より場	滅的な	は被害が発生した場合	た想定し、自主防災	組織との情報収集、	情報伝達に重点を置し	へた訓練を実施しま
		1 4							

用 かり 時報 表現 (中)		事	業名	防災訓練	東事業										事業期	間平	成	^	-	年月	度 整理都	番号 (01080113
	担旨	当部	图署 ƒ	危機管 理	聖室		防线	炎対策	課		防災対	対策係			作成担	当者名	4	澤	浩	i =	連絡	先	136
		期			E							#	经							詚	題		
	-				F	1 1示							小							亦	咫		
	四	1					Ĕ			防災訓	練の概	要につい	て、ヨ	里事者	と打ち台	わせ	階での	の協議	が必	要			
第 3 次年度に向けての準備	•	2	防災	訓練要線 訓練の3	鋼の確定 実施	!				施			集め	ての	練説明	会の実	が必 移動 なり、	要。 系無線 混乱し	を使	用した語	川練で、最	後に	制御不能。
4 大年度に向けての単衡		3	次年	度に向け	ナての準	備				を市区	長会長:	会で報告		のまと	:め、その	結果			ዛ係機	関との	継続的な	連携と	訓練が必
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題のではつませた。 成 拡 充 ② ⑤ レ ⑦ □	ع	4	次年	度に向け	ナての準	備										説明	関係	団体の	D絞り	込みが	必要		
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生した問題命や環境の変化。	၈										事	中	Ē.	i	価								
原とでいめ及ぶ型開発ではなく、実験の以著を整定がある。たと、実施の対象をあるため、原示 を開始も遅り込んでいるを受があるともえられる。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) カ 性 休 戻 止 ① か 本 作 依 次 元 次 元 元 元 元 元 元 元													今		拡	充			2		(5) L	, (Ď
野師年度の実施計画・予算要求事項 (改革・改善策)		見せ	さるため	めの展え	ママ 計練	ではな	く、実	際の災	害を想	定した実	践型訓	練を継			TE 小公	* t=					<u>(6)</u>	Œ	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	管	鞭し	こていく 川練も!	、心受か 盛り込ん	める。た 」でいく必	たし、 をある	ァル石 ろるとま	ヤ巾氏もえられ	いめり	息諏尚:	易のため	の、展示				£1 11							
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方 性 休 廃 止 ①													の		縮	小			4		8	(0
中価年度 当年度 当年度 現点 妥 当 性 有 力 性 力 平 性 総 合 評価の製品 2 3 4 刊定 1 2 3 4 刊定 日本が認当 子ェック 3 3 + 刊定 1 2 3 4 刊定 日本が認当 5 日本の記書を持たいた。 第本の記書・内に変更 5 日本の記書を持ていた。 第本の記書・内に変更 5 日本の記書を持ていた。 1 日本の記書を持ていた。 1 日本の記書を持ていた。 1 日本の記書を持定した。 1 日本の記書を開発を通用を表示した。 1 日本の記書を開発を通用を表示した。 1 日本の記書を開発を通用を表示した。 1 日本の記書を開発を通用を表示した。 1 日本の記書を表示した。 1 日本の記書を表示した。	理		亲	新年度(の実施計	画・	予算要	東求事	項(改	革・改	善策)		方		休 廃	止($\mathfrak D$	į					
性													向	_			皆	減	縮	小	現状維	持	広 大
評価年度 当年度 現点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評価の観点 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 3 4 判定 1 2 3 4 判定 3 4 利定 3 4 利定 4 3 3													性		/				٠. <u>ـ</u>	_			
提点													1-	_					•	, ,	• • • •	,, ,	, 14
デエック 4 判定 1 2 3 4 判定 3 4 1 2 3 4 判定 2 3 4 判定 2 2 3 4 判定 2 3 4 判定 2 2 3 4 判定 2 2 3 4 2 2 3 4 判定 2 2 2 2 2 2 3 4 2 2 3 3 4 判定 2 3 4 2 3 4 2 3 4 2		Ī	評価を	F度	<u> </u>	当年度																	
3 年間の総合防災訓練年度計画を策定し、年度計画の中に今回の割練の位置づけが明確化されました。		初	見点	į	妥	当		性		有	効	性			効	率		性		総	合 評	価	判定
3 全間の総合財政制線生産計画を発定し、年度計画の中に今回の副線の位置づけが明確化されました。	評	評価	面の観	点 1	2	3	4	判別	Ē 1	2	3	4	判定	. 1	2	3	4	判	定				
・大規模地震災害時後、3 目間経過し、予想される支援物質に係る対策をを優先した訓練の実施。	aT	チ	エッ?	ク				4			7		3					4	ļ.		E	3	
大学			. 3	年間の	8合防災	訓練年	F度計	画を策	定し、	年度計画	画の中に	こ今回の	訓練	の位置	づけが	明確化	されま	した	•	記 A:		り事業	を進めるこ
新年度総合評価判定 日前年度課価シート整理番号 0801010 10 10 10 10 10 10			•総	合体育的	官が支援	物資の)集積	処点と	して遺	切か否だ	かを検討	正するこ	とと	した。	276 U / 2	副川東宋(ソ	天 爬。		1	号 B: の C: 定	事業の進 事業規模 の見直し 事業の統	・内容 が必要	・実施主体
新年度評価シート整理番号 0801010 1	С	題																	F	前年度		判定	В
* 関係機関との連絡調整が予定通りできませんでした。																			Ē	前年度評	価シート整	理番号	0801010
合	н			細	旅	į	策		評	価		前			細	施		策	-	評	価		後
評価	E		・関	係機関の	との連絡	調整が	(予定)	∄りで	きませ	んでした	Ė.		1	訓練	参加関係	を機関か	(一同)	こ集ま	り連	絡調整	会議が必	要です	•
価 前 年 度 改 革 ・ 改 善 策 の 実 施 状 況	С																						
価 前年度改革・改善策の実施状況 一部実施 前年度細施策評価における今後の方向性		評																					
前年度改革・改善策の実施状況 一部実施 前年度細施策評価における今後の方向性 細胞 策算 価別 細胞 策算 価値 後 成 拡 充果の現状維持 ③ ⑤ ⑨ 切りの方向 場別状維持 個別状維持 のの方向性 財状維持 のの方向性 財状維持 のの方向性 日本 日本 </th <th>K</th> <th>価</th> <th></th>	K	価																					
成 拡 充	→	ш	前	年 度	改革	· 改	善多	€ の	実 施	状 況	T - i	部実施	i i	1 年 1	度細 施	策 評 任	西にま	3 け・	る今	後のプ	方 向 性		
成 拡 充	改			細	tá	5	笙		€w	価	•	前			細	協		笙		≣w	価		後
で 果 現状維持 ③ ⑥ ⑨ 別		今					ж	<u></u>	ЯΙ	:			-	<u>.</u>				*		a i		- 1	
の 方向 縮 小 ② ③ ⑥ ⑨ の 方向 縮 小 位 休 廃 止 ① 性 休 廃 止 ① 性 休 廃 止 ⑤ は 瀬 縮 小 現状維持 拡 大 皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コスト投入の方向性 ひ ・関係機関との連絡調整を4月から始める必要がある。 ・関係機関との連絡調整を5月から始める必要がある。 ・ 関係機関との連絡調整を5月から始める必要がある。	改革	後	成 果			ļ				ļ <u>.</u>	j										V		
方向性 休廃止 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (2) (3) (4)<	革・上	の	の	現物	犬維持			3		6	(9)		の	現状維	持							
性 休廃止 作 休廃止 性 佐 お は <t< td=""><th>革・改善</th><th></th><td></td><td>縮</td><td>小</td><td></td><td></td><td>4</td><td>******</td><td>8</td><td>(</td><td>0</td><td></td><td></td><td>縮</td><td>小</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>	革・改善			縮	小			4	******	8	(0			縮	小							
性 「皆」減 「縮」小 「現状維持」拡 大 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 改・関係機関との連絡調整を4月から始める必要がある。 ・関係機関との連絡調整を5月から始める必要がある。 さ、改善等 ・	・改善の			休	廃止	1									休 廃	止							
性 コスト投入の方向性 改 ・関係機関との連絡調整を4月から始める必要がある。 ・ 以本・ ・ 改善	・改善の						浦	約字	/ls	担件系	作块	坑 -1	_	-	11. 156	_	냪	浦	紵	ıls	1月1十3年	挂	ht +
改 ・関係機関との連絡調整を4月から始める必要がある。 革 ・ 改 善 策	・改善の方向は						//火				:		`	_									
文 文 改 善 策	・改善の方向は		_			'	コス	くト	1x											/		, ,,,	
· 改 善 策	・改善の方向は	性	• 脚	係機関。	との連絡	調整を					5 .		•	関係	機関と0	り連絡調	整を!	5月か	ヽら始	める必	要がある	•	
改 善 善 策	・改善の方向性(AC	性改	• 関	係機関の	との連絡	調整を					5.			関係	機関との	り連絡調	整を	5月か	いら始	める必	要がある	•	
善 策	・改善の方向性(ACT	性改革	· 関	係機関の	との連絡	調整を					3.		•	関係	機関との)連絡部	整を!	5月か	いら始	める必	要がある	0	
策	・改善の方向性(ACTI	性改革・	• 関	係機関の	との連絡	調整を					5 .			関係	機関との)連絡調	整を	5月か	いら始	める必	要がある	•	
	・改善の方向性(ACTIO	性改革・改	- 関	係機関の	との連絡	調整を					3 .			関係	機関との	沙連絡 認	整をも	5月か	`ら始	める必	要がある	•	
京於評価平月口 平成29年3月19日	・改善の方向性(ACTION	性改革・改善	• 関f	係機関。	との連絡	調整を					3.			関係	機関との	沙連絡 訓	整を!	5 月か	いら始	める必	要がある	•	
	・改善の方向性(ACTION)	性改革・改善策					4月7	から始	める必	要がある			•	関係			整を!	5月か	、ら始	める必			yala

事務	事業	名	自主防災訓練	棟実	施事業	Ė									事業期間	平成		~		年度	整理番	号	01080107
担旨	当部	署	危機管理室			ß	5災対	策課			防災対	対策係			作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡统	先	136
計	おけ	ける	プランに 位置づけ 事 業 名		防災		活動支		事業 業費	05 01 03	第5節防災和自主に	市 災 献識の 方災組	害に強 高揚 織訓練	実施事		いまち 会計	づくリコート	: 00					05 事業 07 ーダーの育
画	事務	る 事	業 の 概要 >ゕりゃすく)	成が捕り	行っ 経組織 加金を	てい (行 交付	ます。 政区・ します	水防 自治 -。	・土砂 会) か)災害記 (災害)	練(こよる	6月上 被害 <i>0</i>	旬)の D防止と	開催、終 と軽減を	総合防災 図るため	訓練()、必要	9月上 長な防	旬) 0 災資相	D開催 機材を	整備す	- る際 に	予算	の範囲内で
(現(状 ど :	と 背 景	実施初重	iする j体制	こと	、必要	な防	災資棚	材の動	を備を	するこ	ことが』	₫要です	の安全で ります。	「地域の	эπ·с	加重などう	(a)	必要が	ישטי	訓練	を継続して
,	_	対 象	受益者 (誰のために) 対象	市月自主		組織	及び市	民															
Р	_		州 水 (直接働きかける) 	防災	泛意識	の高	揚を図	1 8															
L	的	(どん	伝 四 な状態にしたいか)	地区	区長	会(自主防	災組	織)へ	の呼び	ぷかけ	•											
A			・ 方 法 やって)																				
			行政活動の紀	結果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	· 目标	票値設	定のを	考え方な	ぎ	最終目標値
N		動し	自主防災組織	歳訓	練実施	ŧ				実施糺				組織	94自	主防災	組織な	《年間	2 💷	以上実	施		94
	指	指標	防災資機材	整備						補助金 施	交付	记明会	の実	地区	10地	Z							10
	標 の -																						
	作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	· 目标	票値設	定のを	考え方な	ど	最終目標値
		指	防災意識の	高揚	と継続	売した	:訓練			実施革	<u> </u>			%	訓練実	施組織	/94	組織					100
		標	防災意識の	高揚	と継続	売した	活動			補助金	交付	団体の	割合	%	補助金	交付団	体/9	4組	t				100

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
			(a)	円	3, 257, 000	3, 239, 000	3, 269, 000	4, 431, 389	18, 670, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	3, 257, 000	3, 239, 000	3, 269, 000	4, 431, 389	18, 670, 000
施	職	正規職	員	人	0. 05	0. 05	0. 07	0. 07	0. 07
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 05	0. 05	0. 07	0. 07	0. 07
*		对 象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Г	市民一人当たりのコス		円	58. 00	58. 00	59. 00	80. 00	347. 00
			目標	組織	94	94	94	94	94
				TILL THE	10				16
		実施組織数	実績		19	13	15	16	
1		実施組織数	達成率	%	20. 21	13. 83	15. 96	17. 02	17. 02
)	活		達成率 目標		20. 21 10	13. 83 10	15. 96 10	17. 02 10	17. 02 10
	活動	補助金交付説明会の実	達成率 目標 実績	地区	20. 21 10 10	13. 83 10 10	15. 96 10 10	17. 02 10 10	17. 02 10 10
	活動指		達成率 目標 実績 達成率		20. 21 10	13. 83 10	15. 96 10	17. 02 10	17. 02 10
	活動	補助金交付説明会の実	達成率 目標 実績 達成率 目標	地区	20. 21 10 10	13. 83 10 10	15. 96 10 10	17. 02 10 10	17. 02 10 10
	活動指	補助金交付説明会の実	達成標 実成標 建成標 標績 標標標	地区 % —	20. 21 10 10	13. 83 10 10	15. 96 10 10	17. 02 10 10	17. 02 10 10
	活動指	補助金交付説明会の実	達成標績率目実成標績率	地区	20. 21 10 10 10 100. 00	13. 83 10 10 10 100. 00	15. 96 10 10 10 100. 00	17. 02 10 10 10 100. 00	17. 02 10 10 100. 00
D O	活動指標	補助金交付説明会の実 施 	達成標績率	地区 % - %	20. 21 10 10 10 100. 00	13. 83 10 10 10 100. 00	15. 96 10 10 100. 00	17. 02 10 10 10 100. 00	17. 02 10 10 100. 00
D	活動指標成	補助金交付説明会の実	達日実成標績率標績率標績	地区 % 一 %	20. 21 10 10 10 100. 00 — 94 69	13. 83 10 10 10 100. 00	15. 96 10 10 100. 00	17. 02 10 10 10 100. 00 94 87	17. 02 10 10 10. 00
D O	活動指標 成果	補助金交付説明会の実 施 	達目実成標績率標績率標績率	地区 % - %	20. 21 10 10 100. 00 - 94 69 73. 40	13. 83 10 10 10 100. 00 - 94 86 91. 49	15. 96 10 10 100. 00 100. 00	17. 02 10 10 10 100. 00 	17. 02 10 10 100. 00
D O	活動指標 成果指	神助金交付説明会の実施	達目実達目実達目実達目実達目	地区 % - % %	20. 21 10 10 100. 00 	13. 83 10 10 100. 00 100. 00 94 86 91. 49 94	15. 96 10 10 100. 00 100. 00	17. 02 10 10 10 100. 00 	17. 02 10 10 100. 00 94 90 95. 74 94
D O	活動指標 成果指	補助金交付説明会の実 施 	達目実達目実達目実達日実施を標績率標績率標績率標績率標績率標績	地区 % - % % %	20. 21 10 10 100. 00 100. 00 94 69 73. 40 94 25	13. 83 10 10 100. 00 100. 00 94 86 91. 49 94	15. 96 10 10 100. 00 100. 00	17. 02 10 10 10 100. 00 	17. 02 10 10 100. 00
D O	活動指標 成果指	神助金交付説明会の実施	達目実達目実達目実達目実達目	地区 % - % %	20. 21 10 10 100. 00 	13. 83 10 10 100. 00 100. 00 94 86 91. 49 94	15. 96 10 10 100. 00 100. 00	17. 02 10 10 10 100. 00 	17. 02 10 10 100. 00 94 90 95. 74 94
D O	活動指標 成果指標	神助金交付説明会の実施	達目実達目実達目実達日実施を標績率標績率標績率標績率標績率標績	地区 % - % % %	20. 21 10 10 100. 00 100. 00 94 69 73. 40 94 25	13. 83 10 10 100. 00 100. 00 94 86 91. 49 94	15. 96 10 10 100. 00 100. 00	17. 02 10 10 10 100. 00 	17. 02 10 10 100. 00
D O	活動指標 成果指	神助金交付説明会の実施	達目実達目実達目実達日実施を標績率標績率標績率標績率標績率標績	地区 % - % % %	20. 21 10 10 100. 00 100. 00 94 69 73. 40 94 25	13. 83 10 10 100. 00 100. 00 94 86 91. 49 94	15. 96 10 10 100. 00 100. 00	17. 02 10 10 10 100. 00 	17. 02 10 10 100. 00

担当	#7	€名 3	医防災	訓練実	施事業									事美	業期間	平瓦	ţ	~		年月	度 │ 秀	を理番号	} 01	080107
-	部	署 危機	管理	室		防災	炎対策課			防災	対策係			作月	找担当	者名	平	澤	浩	=		連絡先		136
1	期			F	標						4	€ 穏	書							課	: 題	i		
<u>.</u>	第 1 期	訓練、学		等の開作	准要請)		下古田 区長会		主防災組織			害訓練	東の実	施	訓練に	対す	る意識					
	2	想定され の開催! 総合防!	更請				実施、学習	Ī	訓練計	画立3	ニュアルの 食への協力 奎(防災講	ל		習会) <i>0</i> .	開催		どんな する必			まする の	のか、	区内の	実情	を把握
֓֞֞֞֜֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓֓	期	想定されの開催		書を想足	をした割	練の	実施、学				ニュアルの 座(防災講			習会)σ	開催		訓練 す なしの						もあれ	ば活動
۲	第 4 期	自主防3 明	災組織	の活動	につい	て地区	区長会で	C DC Z	平成28	年度「	での説明会 中に87の新 災組織で ⁵	且織で 学習会	・訓練 会の写	実施	以上実	施	引き 続 ていく				ニュア	ルの作	成を呼	呼び掛け
o -										事	中	ā	平	価										
										や環	境の変化	今	成	拡	充			(2		⑤	レ	7	
i i	刃動 七公	体制マニ	ニュア』 幽昌が	ルの作!	成組織	数が伸 中治会	び悩んで	ごいる。	. 7 11.4	かに成	を進めて	後	果の	· 田子	犬維持				3		6		9	
管	ハく	必要があ	る。	·/II II 3	⊕	1/1/3	2 TUIC	. \	L) ///	7 I F 180.	, <u>a de</u> 07 C		の方											
												の	向	縮	小				4		8		10	
理	an S H						水事項) 災担当課	方	性	休	廃止	(1)							
							レ作成を			~ ₹ № 3.	火担当床	向				/ 	ij	減	縮	小	現	状維持	拡	大
												性	١,	/			⊐	ス	۲	投	λ (の方	向	性
		平価年度	ξ		4年度																			
	裶			妥	当		性		有	交				交		率		生		総	合	評値	6 半	定
34		iの観点 ェック	1	2	3	4	判定 4	1	2	3	4	判定 3	Ē	1	2	3	4	判5 4	Ē			В		
価(理	での訓練複数年代	東実施 壬期の	が大切 防災リ	である 一ダー 一した	。 -の養原 :資料、	成が必要。 指導が!	となる 必要に	5				のほ	かに、	地域	あるい	いは地	区単位	計 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	E B:	とが 事業 事業	適当 の進め	方に改 内容・	進めるこ 善が必要 実施主体
C		厄機官4 区内放设				· @ /= 0	0貫機材:	整備の		を縮小	いしている	•							彰	D: 前年度	事業 討が 総合	の統合 <u>必要</u> 評価判	定	廃止の検 B 8010103
С			送整備	を実施					7年	を縮小				\$ ጠ		核		等	彰	面: 前年度 年度評	事業 討が 総合 価シー	の統合 必要 評価判 - ト整理	定 置号 0	B 8010103
	題	区内放送	細	を実施	į	策	i r	I	〇予算? 価		前を地域の		方災割	細細		施初動		策・マニ	前	加年度 年度評	事業が総合価シー	の統合 必要 評価判 -ト整理	定番号 0	B 8010103
C H E	題総	防災訓練災力が「	細東の実	施、初	動体制	策 のマ=	評ニュアル	作成す	一個	Ŀで、	前	防防災	と力力	練の	実施、	初動	体制の	マニ	事 前 ユアノ	前年度 年度評 アレ作成	事業が総合価シーする	の統合 必要 評価判 -ト整理 価	定番号 0	B 8010103 と域の防
C H	題総合	区内放送 防災訓練 災力が がいる。	細原の実し	施、防災	i 動体制 意識の	策 のマ= 高揚	評 ニュアル・ こつなが	F 作成す り、市	価 合こる	とで、 D防災	前各地域の	防図料	込力が れる。 川練等	川練の第 パ向上 (実施、 し、防	初動 災意	体制の 識の高	マニ揚に	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	前年度 年度評 アレ作成 いり、	事討総価す市	の統合 三本の 本の では の で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	は、 定 番号 (後 、 <mark>後</mark>	B 8010103 : 也域の防 句上が図
C H E C	題総合	区内 防災れ訓要 が災力る練である。 等ある。	送整細の上動の上動の	を実施 施、防 要性 施、 重要性	動体制意識の	策 のマニの高揚	評ニュアル/ こつなが 明してい	を 作成す り、市 く中で	一個 おこと から	とで、 の防災 かてい	前 各地域の どカ向上が いくことが	防図・重	込力 か 心練 関で	川練の3 パ向上 (等活動の ある。	実施、 し、防 の重要	初動 災意 性を	体制の 識の さらに	マニ 揚に 説明	事 前 アンな て	か年度評 を理解している。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	事討総価す市で、	の必評・価に体進のの必要のののののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	保・定番号 0 後・次カバ	B 8010103 : 地域の防 句上が図
C H E C K	題総合評	区内 防災れ訓要 が災力る練である。 等ある。	送整細である方式を動き、変化を動き、変化を動き、変化を表している。	を実施、 重 機 と 防 要 と 防	動体制のをさら	策 のマニの高揚	評ニュアル/ こつなが 明してい	を 作成す り、市 く中で	一個 おこと から	とで、 の防災 かてい	前 各地域の 込力向上が	防図重材	込力の り り し 神 で 自 き	練の3 休向上 	実施、 し、重要 組織と	初動 災意 性を 防災	体制の 識の高 さらに 資機材	マニ 揚に 説明	事 前 アンな て	か年度評 を理解している。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	事討総価す市で、	の必評・価に体進のの必要のののののでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	保・定番号 0 後・次カバ	B 8010103 : 也域の防 句上が図
C H E C K	題総合	区 防災れ訓要各を 放対の が災力る練で自整 がの	と 細・	iを実施、重織要施、加賀災性 防あ	動体制のを改善を変し、	策 のマ= 高揚 に説明	評ニュアル(こつなが 月してい ついて協議	作成する	予算である。	とで、 の防災 かてい	前 各地域の どカ向上が いくことが	防図重材	近れ側で自整 力る練で自整	川練の写 が向上 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	実施、加工 を は の と が と が の と が の と が の の と が の の の の の	初災 性 防あ	体制の 識の高 さらに 資機材。	マニに説明につ	・	か年度評している。 一年度評している。 は、中し	事討総価・す市で地域	の必評・「価」に体進に	保・定番号 0 後・次カバ	B 8010103 : 地域の防 句上が図
C H E C K)	題総合評価	区 防災れ訓要各を 放対の が災力る練で自整 がの	きを組織の上動。災る度 実しの組必ご	を実施、重機要とが基施の数とが基準を	is 動体制の 意識の をさら 災る。	策り高揚いに説明は対して、	評ニュアルル こつなが 月してい ついて協い で の 実	作成すたく中で議し地施り	予算を基準を表している。	とで、 の防災 かてい	前 各地域の どカ向上が いくことが な防災資機	防図重材	近れ側で自整 力る練で自整	川練の乳 パ 活動の ある防す 度 細	大き 大	初災性 防あ評	体制の高 さら 後 る i に お	マニ説明につける	第 前 コンアン しい 今	が年度評している。 が年度評している。 がいる。 後のでは、1000では、10	事討総価・す市で地方	の必評・価に体進に性のの必要のの必要のののののののののののののののののののののののののののののの	休定番後の大きないないない。	B 8010103 : 地域の防 向上が図 ことが重 炎資機材
C H E C K)	題総合評	区内防災れ訓要各を前が災力る練で自整前年	装を細での上動の災る度を細でした。	を実施、重くを変し、防要とが、基準を対している。	is 動体制の 意識の をさら 災る。	策 のマ= 高揚 に説明	デニュアル・ こつなが 月してい ついて協 での実	作りく強し地施	予算をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	とで、災めてい	前 各地域の ジカ向上が くことが いくことが	防災を対すがある。	び 1 神 で 1	川練の野 ・ 活る防す ・ 大きない ・ 大きな ・ 大きない ・ 大きな ・ 大きな ・ 大きな ・ 大きな ・ 大きな ・ 大きな ・ 大きな ・ 大き ・ 大きな ・ 大きな ・ 大き ・ 大き ・ 大きな ・ 大き ・ 大き ・ 大き ・ 大き ・ 大 ・ 大き ・ 大き ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大 ・ 大	大き は は とが	初災 性 防あ	体制の高 さら 後 る i に お	マニに説明につ	第 前 コンアン しい 今	か年度評している。 一年度評している。 は、中し	事討総価・す市で地方	の必評・価に体進に性価	保・定番号 0 後・次カバ	B 8010103 : 地域の防 向上が図 ことが重 炎資機材
C H E C K) 改革·	題総合評価	区 防災れ訓要各を 放対の が災力る練で自整 がの	大き を 細で あいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま は かいま は かいま	を施施、重機等支施、防要とが革充	is 動体制の 意識の をさら 災る。	策り高揚いに説明は対して、	評されていいて協能である。 では、の実	作成する	予 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	とで、 の防災 かてい	前各地域の公力向上がいくことが下防災資機前	防図がれませれる。	近れ側で自整 力る練で自整	川林の上 (大き は 一	初災性 防あ評	体制の高 さら 後 る i に お	マニ説明につける	第 前 コンアン しい 今	が年度評している。 が年度評している。 がいる。 後のでは、1000では、10	事討総価・す市で地方	の必評・価に体進に性のの必要のの必要のののののののののののののののののののののののののののののの	休定番後の大きないないない。	B 8010103 : 地域の防 向上が図 ことが重 炎資機材
C H E C K) 改革·改	題総合評価	区 防災れ訓要各を 前 成果の放 訓が。等あ主備 年	装を細での上動の災る度を細でした。	を施施、重機等支施、防要とが革充	is 動体制の 意識の をさら 災る。	策り高揚いに説明は対して、	デニュアルイン では かっと では かっと できます ままま できます ままま できます ままま できます ままま できます まままま できます まままま できます ままままます まままままままままま	作りく中で議し地施って	プラダイン では、 は で は で は で は で は で は で は で は で で で で	とで、災めてい	前 各地域の ジカ向上が くことが いくことが	防図がお割要名を	がた。等は主体 年 成果の	川林の上 (大き は は とが	初災性 防あ評	体制の高 さら 後 る i に お	マニ説明につける	第 前 コンアン しい 今	が年度評している。 が年度評している。 がいる。 後のでは、1000では、10	事討総価 す市 で 地 方	の必評・価に体進に性価	休定番後の大きないないない。	B 8010103 : 地域の防 向上が図 ことが重 炎資機材
C H E C K) 改革·改善	題総合評価今後の	区 防災れ訓要各を 前 成果の方放 訓が。等あ主備 年	大き を 細で あいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま は かいま は かいま	を施施、重機等支施、防要とが革充	is 動体制の 意識の をさら 災る。	策り高揚いに説明は対して、	評されていいて協能である。 では、の実	作りく中で議し地施って	予 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	とで、災めてい	前各地域の公力向上がいくことが下防災資機前	防図がお割要名を	災れ川要子を前 成果の方力る線で自整 年 成果の方	川林の上 (大き は 一	初災性防め評価	体制の高 さら 後 る i に お	マニ説明につける	第 前 コンアン しい 今	が年度評している。 が年度評している。 がいる。 後のでは、1000では、10	事討総価 す市 で 地 方	の必評・価に体進に性価	休定番後の大きないないない。	B 8010103 : 地域の防 向上が図 ことが重 炎資機材
C H E C K) 改革·改善	題 総合評価 今後の方	区 防災れ訓要各を 前 成果の放 訓が。等あ主備 年	き を 細胞の は 動の が はいます はいます きょう きょう きょう はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます	を施、重織で要とが革充・持いのでを放うが、関をとが、する。	is 動体制の 意識の をさら 災る。	策り高揚いに説明は対して、	デニュアルイン では かっと では かっと できます ままま できます ままま できます ままま できます ままま できます まままま できます まままま できます ままままます まままままままままま	作りく中で議し地施って	プラダイン では、 は で は で は で は で は で は で は で は で で で で	とで、災めてい	前 各地域の ジカ向上が いくことが 下防災資機 前 ⑦	防図・重材	がた。等は主体 年 成果の	株の 活る防す 度 ## 拡 現 縮	大き のとが 策 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	初災性防め評価	体制の高 さら 後 る i に お	マニ説明につける	第 前 コンアン しい 今	が年度評している。 が年度評している。 がいる。 後のでは、1000では、10	事討総価 す市 で 地 方	の必評・価に体進に性価	休定番後の大きないないない。	B 8010103 : 地域の防 向上が図 ことが重 炎資機材
C H E C K) 改革・改善の方向:	題 総合評価 今後の方向	区 防災れ訓要各を前 成別が。等あ主備 年	き を担い できます はいます はいます はいまい いっぱい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はい	を施、重織で要とが革充・持いのでを放うが、関をとが、する。	動体制のを含めている。	策り高揚いに説明は対して、	デニュアルイン では かっと では かっと できます ままま できます ままま できます ままま できます ままま できます まままま できます まままま できます ままままます まままままままままま	作りく中で議し地施って	プラダイン では、 は で は で は で は で は で は で は で は で で で で	とで、か防災のない。	前 各地域の とか いくことが に防災資機 前 ⑦ ③	防図・重材	災れ川要子を前 成果の方向力。等を主体 年	株の 活る防す 度 ## 拡 現 縮	大き た	初災性防あ評・施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	体制の高に対象をは、	マニ説明につける	第 前 コンアン しい 今	が年度評している。 が年度評している。 がいる。 後のでは、1000では、10	事討総価 す市 で 地 方 常が合シー る全 、 域 向	の必評・価に体進に性価	休・ 定 (後格力) (後格力) (後格力) (後格力) (後格力) (後格力) (後格力) (後格力) (表格力) (表格力)	B 8010103 : 地域の防図 ことが重 炎資機材
CHECK)改革・改善の方向性(題 総合評価 今後の方向性	区 防災れ訓要各を 内 災力る練で自整 放 訓が、等あ主備 年	き を 組織する はい でき は はい でき は でき は いっぱい いっぱい かいかい はい	を施、重織要な一年に、防要とが革充持小止人施初災性防あー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	動体制の をさら 災る。 ・ 改 1	策	デュースが 明してい 協り まの ま の ま の ま の ま の の の ま の の の の の の の の の の の の の	では、 では、 は、 は	予 (価) (は) (は) (元) (価) (ほ) (ほ) (ほ) (ほ) (ほ) (ほ) (ほ) (ほ) (ほ) (ほ	とで	前名地域の 名地域の とか いくことが で 前 つ の の の の の の の の の の の の の の の の の の	防図 章 材材 章	災れ川要子を前 成果の方向性 人力の練で自整 年 人	森の上動の炎の細地、現線体	大き 一大 一	初災性防あ評施	体制の高に対象のでは、	Table Tabl	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	事討総価 す市で地 方 現の 現の	の必評「「価」こ体が進に、性に価」レ 、	(定番	B 8010103 : 地域の防図 ことが重 とが重 大
C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION	題 総合評価 今後の方向性改革・改	区 防災れ訓要各を前 内 災力る練で自整前 成果の方向性 域年き年お放 別が。等あ主備 年 別が。等あ主備 年 別が。 第3年度	き 日本 一	を施、重量後要とが革充、持、小、止、上度当地すと施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	動意を災る・ は も る会と長 資格 ない は は は は は は ない は は は は は は は は は は は	第一の高いには対して、第一の高いに対して、第一の高いに対して、第一ので、第一ので、第一ので、第一ので、第一ので、第一ので、第一ので、第一ので	デルが い 協 実 評 ② ③ ④ 縮 ト の理中練した 割 が 重解で実	では、	予 価 本 は 以 価 以 価 以 の の の の の の の の の	LOD か と	前 各地域の とか いくことが 下 いくことが で で の の の の の の の の の の の の の の の の の	防図 重 材	災へ川要子と「前」が、現の方向性が、域年き年間から線で自整(年)が現場で自整(年)が、現場では、日本の方向性が、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では、現場では	「	支に、 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	初災 性 防あ 評 施 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	体職さ資。に皆る会と長資機にたいます。とは、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きに	マ揚 説 に け 策 減 の説を通 ス 訓明すじ	ユつ し い う 縮トの 1 編	日本年野中パットの経験の野中の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	事討総価・す市で、地・方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の必評「一個工一体進に、性性の同じ、性性の対象を関する。」とのめ、必が、性の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	(定番	8010103 : 地域の防図ことが重

事務	孙	名	一般経費(防災	講演会	≹実施	į) 專	業							事業期間	平成		~		年度	整理番号	01080109
担当	当部	署	危機管理室			B	5災対	策課			防災対	策係			作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
= 1	おけ	ナる	プランに 位置づけ	有		策体	-	政施 細	事業	05 01	第 5 章 第 5 節 防災意 防災調	災職の	害に強	い、安全	ある高原 全で明る	いまち	づくり					
計	予	算	事 業 名					業費			L Mir.			n n l - /// =#			コート			09	項 01 目	05 事業 01
画	事務	多事 にゅ	業の概要 かりゃすく)												演会の関							
			と 背 景						強化地		目定され	れてし	いること	とから、	近隣市町	「村間で	、大	規模な	3.地震	発生に	対する啓	発活動を継続
(目	対	受益者	市月		R# SSS	田坐る	き及び	市民													
P		象	対象 (直接働きかける)																			
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	近隊	神神川	村間	で い り	义意 識	の共和	を図る	5.											
L A			・ 方 法 やって)	6市	可村	持ち	回り(こより	、防災	泛講演会	きを開催	崖する	5。(≰	会場等の	回り順:	諏訪市	ī→下	諏訪田	丁→茅	野市→	富士見町	・原村→岡谷
			行政活動の	結果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・討	算式	・目标	票値設	定の≉	きえ方など	最終目標値
N	≘亚	動	防災講演会	開催						講演会	開催回	数			年1回							1
	指	指標																				
	標 の -																					
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・討	算式	・目标	票値部	定のを	きえ方など	最終目標値
		指	防災意識の	共有						講演会	参加革	K		%	茅野市	参加者	/市町	村割り	り当て	302	i	100
		標																				

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
	=		(a)	円	89, 191	51, 068	51, 276	51, 276	52, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	I 🗷	00 404	F4 000	F4 070	54 070	F0 000
施		一般財	源	円	89, 191	51, 068	51, 276	51, 276	52, 000
加巴	職	正規職	員	人	0. 20	0. 20	0. 10	0. 10	0. 10
	員	嘱 託 職	員	-					
	数	臨 時 職	員	ᄉ	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10
状	<i>*</i>		計数	人	0. 20	0. 20	0. 10	0. 10	0. 10
			致 (b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		<u>単 位 コーヘート (d)/</u> 受 益 者 負 担	額	円				_	
沅		大田 日 貝 垣		円	2. 00	1. 00	1, 00	1, 00	15. 00
	_	八当たりのコス	目標		1	1.00	1.00	1.00	10.00
		講演会開催回数	実績		<u> </u>	i	i	i	•
$\overline{}$	ĭ	W. C.	達成率	%	100, 00	100, 00	100.00	100.00	_
	活		目標						
	動	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	-	_	_
D	標		目標						
		_	実績						
			達成率	%	_	_	1	_	_
0			目標	%	30	30	200	30	30
	成	講演会参加率	実績		20	20	191	20	
	果		達成率	%	66. 67	66. 67	95. 50	66. 67	_
J	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%				_	_
	備	平成25年度は諏訪市文化 平成26年度は下諏訪総合	センタ	-127	「開催(/月13日)、 「	講師:市民防災ラボ	代表三法不一贯	t «=	一手目人,小士子目
		平成26年度は下諏訪総合	文化セ	ンダー	- (小不一ル) にて開	9惟(10月13日)、調	脚:日本財団「次の	災害に備える企画実行	T安貝 尝」代 表委員
	考	川北秀人氏	51 BE	M: /1	0 B 10 D) =### /#	/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	188 +++ #\Ar		

			一般経費 危機管理		講演会		季果 炎対策			防护	炎対策係			_	業期間		平	~ 澤	浩	年度	整理		01080	
	期				目標							実	績							課	題			
四四	第 1 期		7月9日(会実施に				宣伝		チラシ	等作用	岡谷市が 成(岡谷市 で講師予	5)。茅	野市			•	市町村	向け	のアヒ	ピールも	したが、 ら必要。 込めるか			
	第 2 期		会の実施 度へ向け		討				場予約	內、横腿	頼、他市 断幕作成 の使役				依頼、	会	会場が 動員を				野市の: ろった。	参加者	皆は、ほ	ぼ
	第 3 期	次年	度へ向け	けての検	: 討				担当者	5会議	を開催										î市)から いしていく		題点の	聞き
ع	第 4 期	講演	会の講師	下の検討	t				6市町	村で抗	協議を行う	5					次年度 いて検			寸(富士	□見町・原	原村)	で講師(こつ
၈										4	- 1		評	価										
											環境の変 で <mark>防災意</mark>		成	拡	充			(2)		⑤	レ	7	
defe:	識を	向上	させるこ	とは極め	りて重要	更である	ら。しか	心、持7	ち回りの	か当番	制である	たし後	果の	現場	犬維持			(3		6		9	
		ま場が ない。	毎年異な	より、自然	分の居	住する	市町木	寸以外 の	開催で	きは市	民参加が	σ	方	縮	小			(4)		8		10	
	<u> </u>		新年度 <i>0</i>)実施記	+画 • ·	予算要	求事	項(改	革・改	女善策	<u>;</u>)	力	向	休	廃止	ď	 D							
里												向						減	縮	小	現状維	#	拡	大
												性				,		ス			· ・の		向 性	
							_					14						^	1	1X /	. 07	//	בן נייו	_
	į	評価	丰度	1	当年度																			
		見点		妥	当		性		有		••	性		交		率	性			総合	今 評	価	判	定
¥		田の観		2	3	4	判定	-	2		3 4	判		1	2	3	4	判定				C		
	チ	エツ	•	ν I A O Pl	- <<< Bb &	k ++- == 1	2 ====================================		Mt + An		会場が	2		· Z L =	P 44 10	1/+ -	k dt (1 t	4 # ** *	-	ΙΛ ·	計画どお		業を准 <i>は</i>) A =
		い。																		:	とが適当	i		
西	課	・県	、岡谷市 市町村の	す、下調	i訪町、 なって	諏訪i こいる。	市では	、独自	の防災	講演	会を開催	してま	39.	6市町	村持回	りの	共同講	演会	t σ		事業の進 事業規模			
		・事	業費は調	阪訪広域	連合の	負担金	まとし	て人口	割りで	精算	されるが	、合語	†35ፓ	円 (H:	23 ~ H2	5同	顔) の[内訳か	文 定 美	- 1 .	の見直し 事業の紡			_の検
	題	不明	である。																	•	討が必要	Ī		
С																					総合評価 エシート書			0104
н			細	抗	<u> </u>	策		評	価	i	前			細	1	施	5	衰		评 评	価	E- III	後	010
	総						寸に公				容に変更			*の内							元される	内容		が望
E	合	まれ	る 。										まれる	5.										
С																								
	評																							
K	価																							
~		前						由 ₩	计 汽	<u>. </u>	- 部 実	施	前 年		+			14 7	. 스 1	きの た	方向性			_
妆		נימ	年 度	改革	· 改	善策	きの	美 肔	1/ //		HP /		13.0	- 文 仙	肔 束	泮 位	[にお	17 6	7 1:				後	
0.00	今	נימ	年度細	改革 抗		善 第	きの	美施 評	価		前		13'3 1	細		<u>भ</u> 他		り る 策		评	価			
	今後	成					きの ②						成							平	価レ			
	後	成果	細拡	抗					価	i	前		成果	細拡]					评				
改善	後の	成	拡現状	充紅持			2		価 ⑤	i	前 ⑦ ⑨		成	細 拡 現料	充 大維持					评				
・改善の	後	成果の方向	拡現状縮	旅 充 :維持 小	E		2		個	i	前⑦		成果の方向	細 拡 現 縮	充 犬維持 小					评				
・牧善の方句	後の	成果の方	拡現状縮	充紅持	1	策	2 3 4	評	6	i V	前 ⑦ ⑨ ⑩		成果の方	細 拡 現 縮	充 大維持	施	Ś	衰	į		ν	£ ± +	44	
・改善の方向は	後の方・	成果の方向	拡現状縮	旅 充 :維持 小	E	策	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ ⑧	i レ 維持	前 ⑦ ③ ⑩	大	成果の方向	細 拡 現 縮	充 犬維持 小	施	f 皆	粮	縮	小	現状維			大
・改善の方句性(後の方向性	成果の方向性	拡切状縮	充維持小売	① ⑤	策	② ③ ④ 縮ト	小 投 ,	価 ⑤ ⑧ 現状 入 の	が上継持方	前 ⑦ ⑨ ⑩	大 村防	成果の方向性・ア	細 拡 現	充 大維持 小 廃止	施	5 皆 ;	東 減 ス	縮卜	小投入	ν	方(句 性	
改善の方向性(A^	後の方向	成果の方向性	拡切状縮	放 充 維持 小 桑 止	① 官	策	② ③ ④ 縮ト	小 投 ,	価 ⑤ ⑧ 現状 入 の	が上継持方	前 ⑦ ③ ① ① ① ① ① ① ① ① ① 並 向 性	大 村防	成果の方向性・ア	細 拡 現	充 犬維持 小 廃止	施	5 皆 ;	東 減 ス	縮卜	小投入	現状組、の	方(句 性	
・改善の方向性(ACTT	後の方向性改革・	成果の方向性	掘 拡 現状 縮 休 』	放 充 維持 小 桑 止	① 官	策	② ③ ④ 縮ト	小 投 ,	価 ⑤ ⑧ 現状 入 の	が上継持方	前 ⑦ ③ ① ① ① ① ① ① ① ① ① 並 向 性	大 村防	成果の方向性・ア	細 拡 現	充 大維持 小 廃止	施	5 皆 ;	東 減 ス	縮卜	小投入	現状組、の	方(句 性	
・・改善の方句性(ACTIO	後の方向性改革・改	成果の方向性	掘 拡 現状 縮 休 』	放 充 維持 小 桑 止	① 官	策	② ③ ④ 縮ト	小 投 ,	価 ⑤ ⑧ 現状 入 の	が上継持方	前 ⑦ ③ ① ① ① ① ① ① ① ① ① 並 向 性	大 村防	成果の方向性・ア	細 拡 現	充 大維持 小 廃止	施	5 皆 ;	東 減 ス	縮卜	小投入	現状組、の	方(句 性	
・改善の方向性(ACTION	後の方向性 改革・改善	成果の方向性	掘 拡 現状 縮 休 』	放 充 維持 小 桑 止	① 官	策	② ③ ④ 縮ト	小 投 ,	価 ⑤ ⑧ 現状 入 の	が上継持方	前 ⑦ ③ ① ① ① ① ① ① ① ① ① 並 向 性	大 村防	成果の方向性・ア	細 拡 現	充 大維持 小 廃止	施	5 皆 ;	東 減 ス	縮卜	小投入	現状組、の	方(句 性	
・・牧善の方句生(ACTION	後の方向性改革・改	成果の方向性	掘 拡 現状 縮 休 』	放 充 維持 小 桑 止	① 官	策	② ③ ④ 縮ト	小 投 ,	価 ⑤ ⑧ 現状 入 の	が上継持方	前 ⑦ ③ ① ① ① ① ① ① ① ① ① 並 向 性	大 村防	成果の方向性・ア	細 拡 現	充 大維持 小 廃止	施	5 皆 ;	東 減 ス	縮卜	小投入	現状組、の	方(句 性	

事務	多事業	€名	一般経費(防災	ガイ	ドブッ	ック改	訂)	事業						事業期間	平成	24	~	31	年度	整理番号	01080108
担:	当 部	署	危機管理室			Ŗ	方災対	策課			防災	対策係	Ŕ	1	作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
								政	策	05	第5	章(村	適で	安らぎのと	ある高原	都市づ	くり					
			プランに	有	πh	策 体	· হ	施	策	05	第5	節 災	と書に	強い、安≤	èで明る	いまち	づくり	j				
	おり	ナる	位置づけ	79	以	ж и	` 71		施策	01	防災											
-1									事業	05	防災	ガイト	・ブック	ク改訂事業	Ř .			_				
計	予	算	事 業 名				推進										コード				頁 01 目	05 事業 01
														定期的に 書警戒区均					行い	ます。		
			業の概要	PAGE DA	f, u	137-	ープを	IE IE	しまり	。 (羽	7元1日。	EWT	.11少火1	1 言 水	K及 (5 火)	合心陕	面川寺	F)				
画	(簡	潔に	わかりやすく)																			
									· ·													
			と 背 景						を強化する 必要な			び土	沙災害	防止法指	定による	危険₽	域の	問知等	から	、防災	ガイドフ	ックを定期的
	(ٔ ځ	うして)	1-4	(B) C	/s 18	TK IÆ I	77 7) Kr st i	1.00.0	~ y .											
)			受 益 者	市月	ŧ																	
	目	対	(誰のために)	D-44	(13 /	· 1+ =																
		象	対 象	防災	シガイ	゚ドブ	ツク															
Р			(直接働きかける)																			
	1.		* w											域にどの								
	的	(どん	意 凶 な状態にしたいか)	災害	が起	にり	そうり	は時、	災害が	が起こ	ってし	まった	た時に	、自分の	身を自分	で守る	525	ができ	きるよ	うにし	てもらう。	
				5.年	لام.ع	· I=	直1.3	⊊ hn ∋	改訂	ta												
L						عاد ۱۰۰	ш О	- 734 7	-40.01													
			· 方法																			
	((どう	やって)																			
Α																						
			ケルエもの	(+ FE	L	0/1	14*+	+ 1	1 1	+15	1 ≖	ħ	I/-	34 IT	ケルナ	24 =1	₩ -		# /± =n	ウのま	د = - + اذ	目纵口插法
			行政活動の	后 果。	から	J (1) 12 9	もの	1よ19 ?	指	標	名	称	単位	昇山力	法 『訂	- 昇 八	・日作	景1世設	ほのそ	えカなと	最終目標値
N	==	活動	防災ガイド	ブッ	クの!	見直し	•			見直	し回数				5年毎	の見直	し					1
Z	評価	指																				
	指	標																				
	標																					
)	の作	b	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	質出方	法・討	質ポ	• 日 #	重値 誤	定のま	きえ方など	最終目標値
	成	成果										- 14	44.	. –	×			Н 1	ᆥᇉᇝ	X 07 7	7 7 7 3 6 6	
	//~	指	ガイドブッ	クを	市民	∼配布	万する	(戸	数)	改定	*			%	5年毎	の見直	L					100
		標																				
										l												

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)						
	III.		(a)	円			1, 188, 000	79, 380							
	財	国庫支出	金	円											
実	源	県 支 出	金	円											
	内	地方	債	円											
	訳	その他特定財	源	円			4 400 000	70.000							
44-		一般財	源	円	A A4	0.04	1, 188, 000	79, 380							
me	職	正 規 職 嘱 託 職	員	스	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01							
	員	嘱 託 職 職 時 職	員	ᄉ											
	数	臨 時 職 合	員計	ᄉ	0, 01	0, 01	0. 01	0, 01							
状	<i>~</i>		数	人	V. U1	0.01	0.01	0.01							
			致 (b)												
Н			(b)	円	_	_	_	_	_						
況															
176					_	_	21 00	1 00	_						
		<u> </u>					1	1	1						
		見直し回数	実績					0							
$\overline{}$	汗		達成率	%	_	_	100.00	0.00	_						
	白新		目標												
	元 受益者負担額 円 市民一人当たりのコスト 円 ー ー 21.00 1.00 目標 実績 ロ 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0														
D	Pailon														
	慓		目標	-											
		_	実績												
			達成率	%	_	_	_	_	_						
0	_	_,	目標	%				100	100						
	成	改定率	実績	1.7				0							
	果指		達成率	%		_	_	0. 00							
\rightarrow	扫		目標 実績	_											
	標	_	夫 傾 達成率	0/					_						
		亚弗10年申季	连戍平	%	_	_	_	_	_						
	1/用	平成19年度改訂 平成24年度改訂(平成 平成27年度に地図面追	25年3.加。次	月追加	ページ93-96作成) J予定は平成29年度	Ē.									

				貴(防災	ガイド	ブック	改訂)	事業						事業	業期間	平月	戈 24	^	3 1	年	度 整	理番号	0108	30108
担当	当部	图署 /	機管理	里室		防災	《対策器	·		防災対	策係			作月	找担当	者名	平	澤	浩	=	運	車絡先	1	36
	期				目標						実	: 績								誀	見 題			
疋	第 1 期			ガイドブッ 対する。	ック更新	ic向t	大構成	や更	防災ガイ	ドブック	ク更新内	容の	検討	+								に高額必要と		
	第 2 期	新内容		ガイドブッ 対する。F					実施計 実施計 平成27	画用の	見積書						込みが	が必要	₹。₩-		るため	kう、ペ- 、4の倍		
	第 3 期			ガイドブッ 対する。	ック更新	に向け	大構成	や更	実施計 当初予								高騰し	てい	る。必		頁の絞	:成時(H り込みを		
<u>ا</u>	第 4 期			ガイドブッ 対する。	ック更新	iに向け	片、構成	や更	実施計	画の実	施年度	変更						成し、	その			先に防 ・たガイ		
o l										事	中	a	į	価										
				約6ヶ								今	成	拡	充	5			2		⑤		7	レ
	恐 ► 情報	リにボリ 日を1冊	っれいこ人 トで確認	ちから、™ Bしたいと	平成243	F度版 望をい	ルカイト ただくこ	とが多	モリ以降 い。ガイ	FI〜JEJ/I ドブック	いるなに	後	果の	現物	犬維持	ŧ			3		6		9	
管	が必	必要で	5る。									の	方	縮	/]				4		8		10	
		÷	· 年	の実施言	井 画	予 質	少主话	5 (24) ž	吉。沙鱼	生生)			向.						•		•		UV	
理	防災			改訂につ							実施計	方	性	111	廃业	`								
		計上し		町理事者	本中で	生1-Rt	· ₩₽ ₩	フィント	た佐は	ZO	内容太	向			/		当	減	縮		現物		拡	大
				ブックを					でTFRC	、ての	MAC	性					⊐	ス	۲	投 .	入 σ.	方	向	性
	1	評価年	度	2	当年度																			
	初		Ī	妥	当	,	生		有	効	性			交	h	率	ı	性		総	合 i	評 価	判	定
評	評価	面の観	点 1	2	3	4	判定	1	2	3	判定		1	2	3	4	判	定			Б			
ш							4				ν	3						4				B ごおり事		
~	チェック 4 レ 3 防災ガイドブックを情報提供の重要な道具としているため、市民へ配布した後の啓発活動が5年周期の改訂であるが災害危険箇所等の変更が随時あるため、電子地図等を活用した更新 総 細 施 策 価 前 細 施 総災に必要な情報を、定期的に見直し、啓発していく。 庁内GISの地図データとして取り入れたい。 減災に必要な情報を、庁内GISの地図データとして取り入れたい。															が望ま	しい) - ()	の C 定 義 D 前年度	: 事業規 の見 : 事業の : 事業が を : 計 : 記 : 記 : 記 : 記 : 記 : 記 : 記 : 記 : 記 : 記	D進め方 見模・内 直しが必 D統合、 必要 平価判算	容・実要休・廃	施主体 止の検 B	
н			細	拼	Ē	策	1	评	価	į	ij			細		施		策					後	
E C K	C																							
改	_		細	拼	ti.	ii			細		施		策		評	ſď	Б	後						
革	今 細 施 策 評 価 前 3 成 拡 充 ② ⑤ ⑦													拡	<u></u>						Ţ,			<u></u> レ
改	である																							-
善善	の	の方					の 方		犬維持						-									
の	方	向	縮	小)		<i>力</i> 向 .	縮	小	`					ļ									
方向	向	性	休	廃止			性	休	廃止			_												
Adl					ξ .	_		_		皆	減	縮			犬維持	拡	大							
ACTIO	改革・改	本 クを活用する。 クを活用する。 地図情報システムのデータ作成を行う。 地図情 改 防災ア成する														のデ	を作り 一タ f	成を	戸配	布し、 。	避難記) 方 川練等に ミガイ	こガイ	ドブッ
	** *																							
= u	な証	価年	3 P	平成29	在5日1	9 P	最 級	証 征	i 責 任	老		"		R片SSS	対策調	4				I	東	城	Ä)
最級	AT.	ш Т)	Ţ	1 75420	TVA	- H	4人 小ミ	ні іш	ل ټر ال	П				WJ 24	// / / / / / / / / / / / / / / / / / /	↑X					*	75%		_

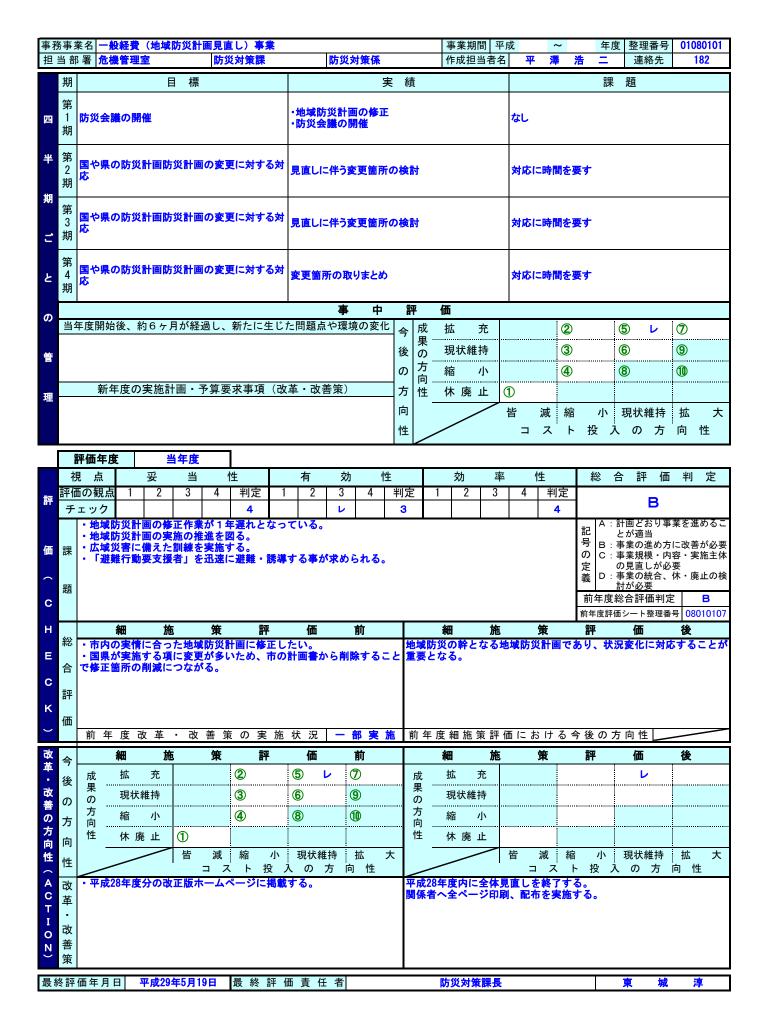
事	務事	業名	一般経費(防災	気象性	青報ミ	ノステ	<u>시</u>	事業						事業期間	平成	23	~		年度	整理番号	01080102
担	当剖	署	危機管理室			R	方災大	策課			防災対	対策係			作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	182
計画	お事	第	プランに位置づけ 事業名	防災	经気象	情報	シス・シス・	事務 テム 管 テムを	理 費	05 01 06 06	風水害	が災害	害に強高揚・情報扱	強い、安 是供事業 活動体制	ある高原 全で明る	会計強化し	づく! コード ン被害	° 00°		09 : 止する		05 事業 05
	現 (状ど	と 背 景うして)	近年	₽の記	録的	短時	間大雨	や台属	鼠等の₺	長雨に	よる±	L砂災 ^特	害防止対	策が必要	そである	5.					
P	目的	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける) 意図 な状態にしたいか)		同量を			る気象 災害予		達難判	新に役:	立てる	5.									
L	システムにより、災害予知・避難判断に役立てる。															断に役立て						
			行政活動の	結果	からつ	つく!	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・言	算式	・目标	票値設	定の≉	きえ方など	最終目標値
N	評価指	活動指標	防災気象情	報シ	ステュ	ム運用	Ħ			システ	・ム運り	Ħ		式								1
)	指標の作成	成果	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称								きえ方など	最終目標値
		指標	防災気象情	戦W	E B [到寬力	(WEE	5阅覧。	人数		人/月	年間関	更人数	(÷12=	=月平	- 写閱]	見人 数		5, 000

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		事業費等	(a)	円	3, 515, 651	3, 140, 159	2, 647, 697	4, 755, 140	13, 547, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	3, 515, 651	3, 140, 159	2, 647, 697	4, 755, 140	13, 547, 000
施	職	正規職	員	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
*	>		数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	63. 00	56. 00	47. 00	86. 00	249. 00
			目標	式	1	1	1	1	1
		システム運用	実績		1	1	1	1	1
	活		達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	100.00
	動		目標	_					
	指	-	実績						
D	標		達成率	%	_	_	-	_	_
	尓		目標	_					
		-	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標 実績	人/月	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000
	戍	WEB閲覧人数			7, 015	3, 914	4, 363	4, 391	4, 500
	果		達成率	%	140. 30	78. 28	87. 26	87. 82	90.00
\cup	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備	平成23年度事業費は現 新「防災気象情報システ	!在のシ ム」σ	ノステム)運用に	a 「茅野市降雨情報等 は平成24年10月1日と	F収集分析装置」の運 なりました。	用費です。		

			-般経動 5機管理	t(防災 重室	気象性		くテム) 炎対策			防災対	策係				業期間 成担当				_	年 二	度 整理番 連絡分	-	182
	期				目標						身	€ 糸	責							課	題		
四	第 1 期	開始		大定による条件報					・携帯電 な情報を		5		まする	ることに	こより、	正確	との話	めが	間に	合わず	をするべき、委託契約	を締結で	できな
·	第 2 期	茅野市	おけれる おおり	レの登録 気象情 報 こ備え、:	の画面の	面閲覧	者を増 ^る D画面開	やす 開発を	・各区長 してもら ・ポイント	えるよう	に話を	する	た	,	ールの	登録	る。 業務	を託か	第2		ニ対する意言 わりになっ こと。		
期ご	3	茅野፣	5防災9	レの登録 気象情報 の運用開	の画面	曽やす 面閲覧	者を増・	やす	・各区長 してもら: ・ポイント	えるよう	に話を	した。					からの	ラデー った。	タ提 不測	供が間 の事態	末日であっ に合わず、 に備え、エ	工期延長	とするこ
٤	第 4 期	茅野市	市防災勢	レの登録 気象情報 の運用限	の画面		者を増っ	やす	・ポイント れに伴い							. ت	画より	大幅	に遅		り、運用の きった。業務 どった。		
Ø										事	中		Ŧ	価									
•									た問題点			今	成		. 3	3			2	レ	5	7	
	しか	気象性	育報を計	測する	ことが・	できなし	\。災害	時のも	犬況の記録	录になっ	たり、	後	果の		状維持	寺			3		6	9	
_	災害	『の予》 ├+15年	則に役3 に1度	立つため	い、そうし があり、	いった 平成2	機器の 9年度	設置が に検定	必要であ を受ける!	る。既存 必要が;	Fの雨 ある。	の	方		1	ļ١			4		8	10	
_		휭	f年度 <i>G</i>	の実施詞	計画・	予算要	求事項	頁(改	革・改割	善策)		方	向性		廃」	E (D						
理				温湿度計 C実施計				計、日	射計の新	設、既不	字雨量	向					 皆	減	縮	小	現状維持	寺 拡	大
	B1 V	71XXL1		C >C // (10 in 1		120/2	••					性					_ 	ス	۱. ا	· 投 .			性
							1							_									
	評価の観点 1 2 3 4 判定 日本の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 日本の観点 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 1 3 1 4 1 1 2 1 3 1 4 1 1 1 2 1 3 1 4 1 1 2 1 3 1 4 1 1 2 1 3 1 4 1 1 2 1 3 1 4																						
			占 1					7 1				_	1 1				_	÷	総	合 評	価 判	足	
評					3	4		- '				+	'		J	4		_		В			
		O雨i	データ			炎対策	果の専	用端末	に限定さ	1 (分ご	とであ	9.	緊急時	の状況	兄	A :		事業を追	重めるこ			
価(

	市 おり	民	危機管理室			B	災対	·쑢理															_	
	おり	民						**			防災対	捷係			作	成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	;	182
計	~	ナる	プ ラ ン に o 位 置 づ け	有	政	策体	系	施 細 旅事務		05 02	第5章第5節防災体	りの	害に 充実		安全	る高原をで明るし			J					
	ᅲ	質	事業名	地垣	防防災	計画	推准	事物	尹木	VI	*6**** (V.	J 90 EI	四元	E CT:	*		会計	コード	001	款	09	項 01	■ 0 !	5 事業 01
画			「業の概要	・い日災だ	域最びの少	災状成えく が現る方な	幹とが に ち 年 り を 防 よ	なも2月基分	す。 9 日に 本方金 策の-	日本ガ 改訂さ けとし、 -層のヂ	た まれました。 たと で実を	な <i>どの</i> した。 え被災 図る。	大規 し ≫	模災害 された とって	の一もい	E験を教 『分は≪ L命が失 Eす。そ	れてい 訓に、 特に、 われな	vます。 「長野! 災害! いこ。 成防災!	、社会 県地域 時の被 と画	状況 対害を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	変化計量しました。	に応じ版 が平成2 する、 た 経済的 、計画を	時年の被実	直しを行 2月15 るでできる 性のある
			と 背 景うして)													を行いたる				(≣J (⊂'	つざま	UT 1	2百世	をとる中
P	目	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	市月職員		災関	係機関	y																
	的	(どん	意図										7 Int. 1-10	mL /// = 1										
L A	意図(とんな状態にしたいか) 特別の変化に対応した地域防災計画の作成 手段・方法(どうやって) 行政活動の結果からつくりだすものは何? 指標 名称 単位 算出方法・計算式・目標値設定の考え方なる																							
			行政活動の	結果	からつ	こくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単	位	算出方法	法・言	算式	• 目標	標値設	定の着	きえ方な	ど最	終目標値
N	埀	活動	毎年1回の	見直	L					見直し	クロ数			<u> </u>]	見直し	回数							1
	価指	指標	防災会議の	開催						開催费	k .			<u> </u>]									1
~	標の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単	位	算出方法	法・計	算式	• 目標	票値設	定のネ	きえ方な	ど最	終目標値
	成	果指標	地域防災計	画作.	成					見直し	率			94	6	見直し	支映箇	所/全	見直し	箇所				100

	J	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	19	事業費等	(a)	円	48, 000	38, 400	44, 800	45, 152	201, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	48, 000	38, 400	44, 800	45, 152	201, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50	0. 50
1/		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	1. 00	1.00	1.00	1.00	72. 00
			目標		1]	1	1	1
		見直し回数	実績		100.00	100.00	1 100 00	100.00	1 100 00
	活		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動	MM ALL MA	目標		2		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
	動指	開催数	実績達成率	%	FO 00	100.00	100.00	100.00	100.00
D	標			%	50.00	100.00	100. 00	100.00	100. 00
	1224		目標実績	_					
		_	<u>夫</u> 根	%	_	_	_	_	_
0			目標		100	100	100	100	100
O	成	見直し率	実績	%	100	100	100	100	100
	鱼	元直じ年	達成率	%	100.00	100, 00	100, 00	100.00	100, 00
	果指		目標	/0	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	標	_	実績	-					
	गर		達成率	%	_	_	_	_	_
	/++-	平成26年度は災害対策基			東日本大震災の数割	を踏まえ全面改正を	実施した。		
	備	平成26年度は災害対策基 平成27年度は防災会議後	に県の	防災調	+画が変更となったた	め、改正及び印刷を	実施できなかった。		
	考	平成28年度は平成27年度	に県の	防災調	†画が変更となった部	『分を改正した。			



			防災行政無	線デ	ジタノ		•								事業期間		戈 23	~		年度	整理番号	
担:	当部	署	危機管理室				防災対	策課			防災対	対策保	Ŕ.		作成担当	当者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
			プランに 位置づけ	有	政:	策位	本系		策 策 施 策 事業	05 05 02 02	第5章第5節	ち ジャ制の	後害に の充実	安らぎの 強い、安 備事業				Ŋ				
計	子	笛	事業名	R片質	と無線	間道	(書	717	于不	UL.	N) X I	JAKN	W WAX III	# *		수 i	 	ا ^د ا 00	1 款	09	項 01 目	05 事業 04
画			· 業の概要 ・ * かりゃすく)	防常所【同	行政語の記録を	(無続 信手) 小災	老段と学時	して活 13箇所 に、全	用する 、笹	ため、 保育 ・緊急	昭和 國、八 画報 「	59年 ヶ岳 こう	度から 総合博 ほうち	物館へ、 の」を行	用して また、 うため	助系】 います 多科等 昭和	災害時 。無籍 の管理 60年度	におし機は 事務 から	ナる的 也区コ 折9箇月	確かつ ユニティセ: 新など れ167	迅速な情報 シター10箇所 に配備して 基の屋外拡	
			と背景うして)						ります		炎行政	無線	の老杯	化に伴う	機器の	更新が	課題と	なるフ	が、完	全デジ	タル化の!	め向を見なが
•	目	対	受益者(誰のために)	市月老科		た防	災行	政無翁	Į													
P		象	対象 (直接働きかける) 	デシ	シタル	化に	更新	するこ	とにも	より地は	或防災	カの	向上を	·図る								
L	的	(どん	意図な状態にしたいか)					成28年	度まで	きの3 4	年間で	更新	する。	平成26年	度当初	実施設	計、そ	·の後	多動 系	、同輔	聚、中継	司、屋外子
A			・ 方 法 やって)	局で	密備	127	ক .															
			行政活動の紀	結果:	からつ	つく!	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出プ	法・	計算式	・目	標値割	段定の	考え方など	最終目標値
N	評	活動	他の移動系統	無線	の研究	究 (4	幾器等	F)		研究構	機器数			機								0
	価	指標	デジタル化し	こ向	けたね	食討:	숝			検討会	数											0
	標の		デジタル化	整備.	工事。	定例:	e			開催数	b											12
	作	成	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出プ	法・記	計算式	• 目	摽値討	段定の	考え方など	最終目標値
		果指	同報系子局(の更	新率					子局更	夏新率			%	更新数	t/180j	3					100
		100	移動系無線	農の	更新	丰				無線板	雙更新2	率		%	更新数	t/220t	幾					100

								平成28年度(予算	平成29年度							
	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	又は決算額)	事業計画(予算)							
	1	, ,, ,,	(a)	円	6, 810, 000	209, 004, 781	535, 950, 679	281, 507, 652	10, 933, 000							
	財	国庫支出	金	丑												
実	源	県 支 出	金	田												
	内	地方	債	円			485, 600, 000	222, 160, 000								
		その他特定財		田			45, 700, 000	50, 540, 000								
	訳	一 般 財	源	円	6, 810, 000	209, 004, 781	4, 650, 679	8, 807, 652	10, 933, 000							
施	職	正規職	員	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20							
	員	嘱 託 職	員	人												
		臨 時 職	員	人												
状	数	白	計	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20							
1/		対象 (者)数 (b)														
		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			_	_	_	_	_							
況																
	Ī	市民一人当たりのコス		円				·	225. 00							
			目標	##				•	0							
		研究機器数						•								
	活			%												
			目標			12		•	0							
	指	研究機器数 実績 100.00 100.00 100.00 100.00 #DIV/0! 動指標標準 日標度 0 7 12 0 達成率 % 0.00 58.33 100.00 #DIV/0! 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12														
D	捶	研究機器数 実績 機 2 2 2 0 達成率 % 100.00 100.00 100.00 #DIV/0! 技術会数 目標 回 12 12 12 0 実績 回 0 7 12 0 達成率 % 0.00 58.33 100.00 #DIV/0! 12 12 13 14 15 15														
			目標						0							
		開催数	実績					12								
			達成率	%	_	_	_	100.00	_							
0	-		目標	%	167	180	180	180	0							
	成	子局更新率	実績		0	0	158	185								
	果		達成率	%	0.00	0.00	87. 78	102. 78	_							
<u> </u>	指		目標	%	64	183	183	220	0							
	標	無線機更新率	実績		0	0	155	220								
			達成率	%	0.00	0.00	84. 70	100. 00	_							
	備	・防災行政無線のデジタ	ル波へ	の移行	すは、平成26年度~平	・成28年度実施する。										
	17112	・緊急通報の多様化に向	け、平	成245	‡に「緊急速報メール	ノ(エリアメール等)	」、平成25年に「公	共情報コモンズ」に。	「るLアラートの配							
	有	信が可能となりました。	平成28	中度	いらば、コモンズとオ	マームページの運動も	開始しました。									

				政無 理室	線デ	ジタル	レ化事 防:	業 災対策	課		防	災対策	传係					間 平 当者名		23 平	~ 澤	浩	年 二	~	理番号 基絡先		36 36
	期				E	書 標							実	: 約	ŧ								課	題			
四	第 1 期	めてし	いく。 女送オ	卡整備			化工事		帯なく進 きかけ	- 移動	系無	線屋外線中線 設備の	局の	建築	確認	2	b		局		可と強				い地域が 早く運用		
	第 2 期	めてし	いく。 女送ま	と 整備			化工事		帯なく道 きかけ	·同報 局)	系無	線中線線屋外 線屋外 設備の	子局	の新	設(鳴沢自			め	、使月 継局	F 方法	説明	1も含め	りて配	いない施 開を急 運用開	ぐこと。	
期ご	第 3 期	落ちた	がない	かを記	青負	業者と	枚を確う 共に確 情を完	認する		・木舟・ゲリー	·再送 ·ンレル	線中線 信局を なっし 設備の	設(オッジ子)	·舟= 号の	大 移割	沢) と									いない施 開を急		
٤	第 4 期	る。	系、同	報系列			業者と まま配信		権認す 設へ配	- 同報	系戸	線機の 別受信 設備の	機の	配備					担る		以外も	操作	乍できる	るよう	操作訓練	練が必	要であ
o,												事	中	Ī	Ŧ	価											
										た問題となる。				今	成果			充			2	2)		⑤	レ	7	
and a	らな	かった		管理	費用・	世間す	の増設	とに伴	う電気	は、通信 は、通信	費の	増額な	「見込	後	の		状維	持			(3	3)		6		9	
		る。 は起	債事	業で交	付税	充当	があった	こが、	新年度	から市の	の単書	となる	it:	の	方向		i	小			4	D		8		110	
理										女革・2				方	性		廃	止	1								
-	保司	子管理 :	費用、	電気	料、i	色信費	の増加	見込	み額を	実施計i	画に言	け上しれ	Ė.	向					皆	j	咸 糸	宿	小	現物	大維持	拡	大
														性						⊐ .	ス	۲	投え	ζ σ.	方	向	性
		50 /HC /H	- ofe			/ /-		1																			
															1		効	率	:	性			総	合 i	评 価	判	定
- Acres				1				-	定		2			判定	?	1	2	3		4	- 判定	+	TARES	<u> </u>		Ti	Æ
評	チ	エック	ל					4				V		3							4				В		
価(C	課題	チェック 4 レ 3 <td 2"="" <="" color="block" rowspan="2" th=""></td>																									
改		נימ	+ 13	き 改	施		策	R 07	評	状质		未前		+	- נינ	細			施	ІШ 1	_ g5			後のフ 評	/J J		後
革	今	<u></u>	拉		充	5	収	2	PΤ	<u>1</u> 2	u レ	7		+	ᆄ	拉		充		Я	K		ЯT		<u>リ</u> レ	194	
改	後	成果		記状維				3							成果		【状維										
善	の	の方								6		9			の方												
の方	方	向	絲		小 			4		8		10			向	絲	-	小								<u> </u>	
向	向	性		卜廃 .	止 	(1)	- 1	6上	.1.	TEU	<u> </u>	. 1.			性		. 廃	止	-		+	6 ⇔	,I,	TEL.	1. 4 <i>1</i> . 1. 1.	14	
性(性					皆	減 コ <i>フ</i>	縮 ス ト	小 投	現り 入 の	・維持 方							-	皆	』 二		縮 ト	小 投 <i>〕</i>		大維持 · 方	拡向性	大
4 C T I O Z)	改革・改善等							し、利		同報系			丁事	7	くる マ年	。H 2	27年 は、	~ H 2 正確な	28 よ運	年で [:] 用と(子局の 保守管	移)工 (理	が系、 事とな が必要	同報達 る。	る。保 ⁵	継局のこ	工事に
	策													1													
最終	冬評	価年	月日	平	成29	年5月	19日	最	終評	価 責	任	者				防	泛対策	課長						東	城	涓	

事務	务事第	き名	防災用備蓄	事業													事	業期間	平	成	15	~		左	F度	整理	理番号	010	080114
担:	当 部	署	危機管理室				防災対	対策課	ļ			防災	対策	係			作月		4者名		平	澤	浩	=		連	絡先		136
								政	策	Į.	05	第5	章	快i	適で安	らぎの	ある	6高原	都市	づく	IJ								
	市	民 :	プランに	有	πh s		* 系	施	策	Į.	05	第5	節	災	書に強	い、安	全で	き明る	いま	ちづ	5 < 1	J							
	おし	ナる	位置づけ	177	以.	來 14	↑ A	細	施策	빤	02	防災	体制	の ³	充実														
_								事利	务事業	¥	04	市防	災倉	庫	防災資	機材及	び信	品蓄制											
計	予	算	事 業 名		押備		•															00							事業 03
)資機 二備蓄			· 簡	易トイ	ノレ	医	薬品)	や非	常	食料	(アル:	ファ	化米	・ビス	、ケ、	ット	• 飲	4水)	を.	、災	書時	に備え	えるた	:め計画
	事	务 事	業の概要	нэнч	- MA 188	0.0	• • •																						
画	(100	·殊 1~ /	7 10 9 10 9 1 7																										
	_			床盒	4 活	物省	- (1	料水	• 萬子	^ደ /የጎ	7 . 1	上型. 。	里坡	7 -	レトル	レト食品	1.生) [=-	21.17	14.		△億億	ります	ħ.	_	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚	: <u>がの</u> .	上拉	定を締
			と背景うして)	結し	てい	るか	、発	災後、	速や	うかし	こ避り	維所等	作権	ĬH	れられ	たない	စ	と予測	りする	Ξį	とか	ら計画	町的に	こ備	蓄を	して	いき	ŧす。	- A-C
~	`	_		-terto ecc		سل مادا.																							
	目	対	受 益 者	1枚少	₹ し 75	吧場	住民																						
	1		対象	応急	資機	材	毛布	・簡剔	易トイ	ノレ	医	薬品)	· #	常	食料	(アル:	ファ	化米	・ピス	ケ	ット	・飲料	4水)						
Р		象	ハ 多 (直接働きかける)																										
•				緊急	時の	災害	にお	いて、	応急	負債	農材。	や非常	食を	充	実さも	せる。													
	的	(どん	意図な状態にしたいか)																										
				· #	一面的	i (= id	急資	機材・	かま党	t chi	出本目	購入す	-る.																
L				· î	いつで	も浸	用で	きる。	ように	適	E &	維持管	理を	す	る。														
			• 方法																										
	((とつ	やって)																										
Α																													
			行政活動の	結果:	からつ) (りだす	もの	は何	?	指	標	名	i	称	単位	ī J	単出力	法・	計算	草式	目標	票値割	没定	の≉	きえこ	方など	最終	目標値
		活	非常食料の	購入						į	常1	2料備	善数	ι		数	6	報警	入数	十贯	存值	蓄数	(= 絶	対必	少要	数		2	20, 593
Ν	評価	動指	大兵海州 县。		,					_	- 4 2	子機材	- Add: :00	-		***		He shirt mil	7 44			e =te= 44	40	44.8	· == 4	**			6. 235
	指	標	応急資機材(の順						М	>思]	€ (使べ)	佣者	蚁		数	1/1	棋蓄崩	人致	+ 10	(17 1)	音型	(- 12	XT L	少安?	N.			0, 230
	標の		防災倉庫の	管理						ß	频道	そ機材	点検	数	·		Ħ	也区院	災倉	庫14	箇月	斤を 年	2 🗓	点核	t				2
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?		指	標	名	i	称	単位	Z J	単出力	· 法·	計算	草式	· 目	票値	没定	のき	きえた	方など	最終	目標値
	成	果指	非常食料の	充実						(f	蓄品	食料	充足	率		%	¥	見在勢	/絶対		要数								100
		梧標	応急資機材(の購	人					ű	書品	品資機	村充	足	率	%	¥	見在数	(/絶対	寸必 !	要数								100
					•																								

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	=	事業費等	(a)	円	1, 163, 985	1, 338, 838	1, 219, 881	3, 957, 859	1, 683, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円	4 400 000				1 000
施		一般財	源	円	1, 163, 985	1, 338, 838	1, 219, 881	3, 957, 859	1, 683, 000
旭	職	正規職	員	ᄉ	0. 20	0. 20	0.10	0. 10	0.10
	員	嘱 託 職	員	ᄉ			0. 20	0. 20	0. 20
	数	臨 時 職	員計	人	0. 20	0.00	0. 30	0. 30	0.20
状		合 対象(者)	数		0. 20	0. 20	0.30	0. 30	0. 30
-		延利用(者)数	致 (b)						
			(b)	円	_	_		_	_
況		受益者負担	額	円					
1)6		大民一人当たりのコス 100円		円	21. 00	24. 00	22, 00	71.00	53. 00
			目標		10, 299	10, 299	10, 299	10, 299	10, 299
		非常食料備蓄数	実績	数	1, 810	,	1, 178	1, 178	1, 178
$\widehat{}$	活		達成率	%	17. 57	_	11. 44	11. 44	11. 44
			目標	数	6, 235	6, 235	6, 235	6, 235	6, 235
	動指	応急資機材備蓄数	実績				6, 235	6, 235	6, 235
D	標		達成率	%	_	_	100. 00	100.00	100.00
	尓		目標		2	2	2	2	2
		防災資機材点検数	実績	, <u> </u>	2	2	2	2	2
			達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
0	ct;	## D & W + D #	目標 実績	%	100	100	20, 593	20, 593	20, 593 20, 593
	成果	備蓄品食料充足率	<u>夫</u> 根	%	_	_	20, 500 99, 55	20, 500 99, 55	100, 00
	木指		目標		100	100	6, 235	6, 235	6, 235
$\overline{}$		備蓄品資機材充足率	実績	%	100	100	6, 235	6, 235	6, 235
	177	NO DE MI PUNCTO JUNCTO	達成率	%	100, 00	100.00	100.00	100.00	100.00
	備	非常食絶対必要数とは、えなければならない全応	人口の	概ねり	5%の人口で2食分の				の基本避難所で備

務事業	名	用備蓄事	ŧ								事	業期間	平瓦	t 15	~	左	F度 3	整理番号	010	8011
当 部 :	署 危機	管理室		防災	災対策課		防災	対策係			作	成担当	者名	平	澤	浩 二		連絡先		136
期			目 標						実	績						į	果 題	Į		
第 1 期	備蓄食村	の数量確					倉庫のそれした間	確認 ≹池の入	れ替:	え				配備し ⁻ ある	ている	資機材で	数量	が不足し	ている	5 もの
期		iする非常1 Iパーテーション		注(9月	月納期)	アレ	レギータ	品目を検 す 応食の -テーション(サン		取り寄せ	Ł.		第2期で	発注	すること	ができ	なかった		
		↑の見直し ♪パーテーション	'の配布((各防)	炎倉庫)			品の検討 -テーション(布(各	·防災倉	庫)				の種類を ·ギー対応			料を増・	やして
	検討結묏 更新備書	!の反映 『する非常』	医料の発	注(2)	月納期)		度備蓄。 食料の	品の確定 納品	Ē						る時は	こ心がけ t、27品目 いく		レギー対	応食の	の備書
							事			評	価									
当年		後、約6ヶ								今日		充			2)	5	レ	7	
		プライバシー Modes						ヴ俊も		, 男 g		.状維持	:		3)	6		9	
						·			0	ת ל	, 第	小			4		8		10	
	新年	度の実施	計画・-	予算要	求事項	(改革・i	改善策)	_	。 与 性	ī]	廃止)	,				Ŭ	
!										, 句		· / ·			或 糸	ė л.	. 18	小卡 %件 +土	+r÷	
) 生		/	Ē					状維持 の 方	拡向	
									13	±	_				^	下 权	<u> </u>	0) /3	IΗJ	1±
語	F価年 度		当年度																	
視	点	妥	当	,	性	有	Ź	ነ	性			効	率	性		総	合	評価	判	定
	の観点	1 2	3	4	判定	1 2	2 3		+	定	1	2	3	4	判定			В		
チュ	ェック	年9月2日			4			レ		3				Acto 1	4		=1 ==	ぎおり事	- 	# 14 °
課題	育館に選 レ用… 資材、コ ・訓練等	では同日。 難所を開 イレット・ 具類】 で使う中 災害を想	設しまし ペーパー で必要な	ンた。言 −② 避 ∮ にものる	訓練の反復 維所修繕、 を洗い出し	皆として 発電機技 ン、早急!	欠の装備 操作、 h こ市内1	情品を至 ∙イレ組 6箇所の	急追立、防災	加立入 倉庫	ていた 禁止区 に <u>追</u> 加	だきた 域の設 資機 材	ハ。 定な と を配値	①簡易 子に必要 情したし	トイ な… 、。	の 定 義	: 事業 : 事業 の事業 : 事計	i適当 iの進めが 規模しが iの統要 imm imm imm imm imm imm imm im	羽容・実 必要 休・原	実施主
		h-m-		-			_	- * *		1	Am							-ト整理都		0101
総		細 :従い非常:	施 全は事業	策	アンスが	(1) 		前しけた	,	. 1	細	といまる世	施金件	寛 ・・・		評 るが、i		価 生の目	後 在 L I+	
合評価	5 年前 名	変わって (度 改 革		- 基 領	もの実	施状;		部実	施			わって			ける	今後の	方向	1 性		
7 ^			施	策	評	ſi		前			細		施	9		評		価	後	
7 -	成	拡充	Ī	-10	2	5	レ	7		成		. 充				H 1		レ		
後	果 *****	現状維持			3	6	-	9		果		!状維持							-	
の	の 方					i				の方										
方	向	縮小			4	8		10		向										
向	性 —	休廃止	1							性	休 	廃止						15.40		
性			皆	減 コ ス			大維持) 方	拡 向 性	大					当 ii	或 ス	宿 小 ト 投		状維持 の 方	拡向が	· 性
改	避難所にる。	必要な資				オを全避り			र्	避難る。	所に必	要な資	機材	を精査		加資材				
英革・改																				
革・																				

事務	事業	名	一般経費(自主	防災組	織の資	負機木	才整備	事	業						事業	期間	平原	芃	13	~		年月	度	整理	番号	0108	30104
担当	当部	署	危機管理室			防	災対領	き課			防災	対策	係			作成	担当	者名	3	7	澤	浩	=		連絡	格先	1	82
	市 . おけ	民ご	プランに 位置づけ	有	政策	€体:	系 —	政 施 細 施 事務等		05 05 02 05	第 5 防災	節体制	災害	実	ら <i>ぎの</i> い、安 実・強	全で	明る											
計	子	笛	事業名	白章	防災網	旧締汪				- 00		. W.J. J.C.	ALL PROP	U))L:	× 15	10-7-	*	슾	 -	- K	00	款	09	項	01	目	05 4	業 07
	事務	多事	業の概要	自主を防災	防災に対している。	組織(予算の オ=情	行政範囲	内で	自治会補助金	を交 当火用	付しま	ます。 女出来	炇護避	難用	具・カ	女送施		ため	、必	要	防约	逢資楊	材を	整值	サ	る際に	交付:	
			と 背 景		tの防災 ・自																							ていな ませ
(目	対	受 益 者 (誰のために)	市民自主	防災網	相織																						
Р		象	対象 (直接働きかける)							Lm -r	- 1 2 2	- 4	, . .	ni- ///	São Jak J	1 de de		7										
	的	(どん	意図な状態にしたいか)		けった				村に関	5災沽	切かて	ਾ ਦੇ ∢	らよっ	防災	賞機	すを 允	美さ	せる	•									
L A			・ 方 法 やって)	各自	主防災	災組織	₹ (区	・自治	治会)	に対	し、	区長会	会や防	災講	演会	ょどの	場で	補助	金の	制度	を説 り	月と補	助金	活用	用の付	依頼を	行う。	
			行政活動の紀	結果:	からつ	くりか	だすも	っのは	何?	指	標	名	3 形	尓	単位	算	出方	法·	計算	式	・目标	票値記	设定σ)考	え方	など	最終	目標値
N	評	動し	自主防災組織	載防	災資機	材購力	人又に	整備	İ		设立・ 会の実		か金交	付	地区	組織	載設.	立・神	制力	金交	付の	説明	会					10
	価指標	指標	防災リーダ-	一育	成依頼					区長	会への)依朝	Į		地区	10:	地区											10
)	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	5 彩	尓	単位	算	出方	法・	計算	式	・目标	票値記	设定 <i>σ</i>)考	え方	など	最終	目標値
		扫	防災意識の							補助:	金交付	団体	の割	合	%	補」	功金	交付]体	枚/	设立	日体数	ţ					95
		標	自主防災ア 者)	ドバ	イザー	へ推薦	ii (y	人、委	嘱	アド	ベイザ	r− 3	發者	•	人	各:	也区	1名										10

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
	=	事業費等	(a)	円	3, 257, 000	3, 239, 000	6, 340, 442	1, 791, 012	15, 200, 000
	財	国庫支出	金	円	0,20.,000	0,200,000	5,515,112	1,101,012	10/200/000
	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内			円					
	訳	一 般 財	源	円	3, 257, 000	3, 239, 000	6, 340, 442	1, 791, 012	15, 200, 000
施	職	正規職	員	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
-100	7		数						
			(b)						
	į	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円	F0 00	FA 66	111.00	00.00	077 00
		市民一人当たりのコス		円	58. 00	58.00	114.00	32.00	277. 00
		組織設立・補助金交付	目標 実績	地区	10 10	10 10	10 10	10 10	10 10
		説明会の実施	夫 根 達成率	%	100, 00	100.00	100, 00	100, 00	100, 00
	活		目標		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動指	区長会への依頼	実績	地区	10	10	10 10	10	10
	指	四及五一 00000	達成率	%	100.00	100.00	100, 00	100, 00	100, 00
D	標		目標	/0	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	%	92	92	92	95	95
	成	補助金交付団体の割合	実績	90	25	17	15	15	15
	果		達成率	%	27. 17	18. 48	16. 30	15. 79	15. 79
	指		目標	人	10	10	10	10	10
	標	アドバイザー登録者	実績		2	2	2	2	2
			達成率	%	20.00	20.00	20.00	20. 00	20.00
	備	〇補助金を使用したこと //その他(防災倉庫等)	がある	組織書	門合(95組織中):	備品(情報伝達・消	火・救出救護避難用	具)未使用19組織	表、終了12組織
	+	//その他(防災倉庫等)	未使用	-4	3 組織、終了一27組	1職//備品及びその他	(両方)未使用1	5組織、終了9組織	
	亐	〇自主防災アドバイザー		の所属	■組載:宮川矛野1	人、ひはりケ丘―1	<u> </u>		

##	•	•			を費(自 ・理室	主防	方災組		を を を を を を を を を を を を を を を を を り を り		事業	防	災対領	传係					間 当者:		13 平	~ 澤	洋			整理番号 連絡先		80104 182
自		期				目	標							実	· 新	責								ii.	果品	題		
2 外年度要望地区への黄機村補助	卫	1	他団	体の	方災資格	能材 有	補助金	記制度(の情報	収集	·区-5	そので	の説明	会を写	実施					き	があ	る。以	災	意識向.	上の	ために、	より情	
第 補助金素望地区への質機材補助		2	昨年	度要望	型地区へ	、の す	負機を	才補助			•補助	か金申	請を行	った区	【・自	治:	会に補	助金	を交付	解	され	ていな	よい	区・自治	台会力	がある。割	明方	『が理 法や説
4 相助金要型他区への黄機料補助	期 ご	3	補助	金要	型地区へ	、の す	貨機材	材補助			•補耳	力金申	請を行	iった⊠	【・自	治:	会に補	助金	を交付	解	され	ていな	よい	区・自治	台会力	がある。割	明方	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題はや環境の変化 5 所以行権機能デンタルと工業が過かる原元が立むに上が見込まする。 5 所以行権機能デンタルと工業が今年度で発了することで、水布度から放発 2 例 3 ⑥ ② の の 方 向 性 外 字 度 表	٤	4	補助	金要	型地区へ	〜の す	負機を	才補助										助金	を交	解	され	ていれ	よい	区・自治	台会力	がある。討	明方	
新音を上い今降落者作があり、補助金の定用からないとなります。 筋災行政機能学が少れに工業が合生度で第7であるとで、次年度はその分の予 素質度が必要となる。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 次年度に区内放送者入予定区の観機と戸別受債機分を当初予算に計上す。 の 方 向 性	の												_		Ī	_												
防災付益無輪デンタルに工事が今年度で発了することで、次年度から放送。 ② ③ ③ ③ ③ ③ ④ ④ ④ ④ ④															今				充			(2		5)	7	レ
# (#	防约	炎行政	無線	デジタル	化工	□事が	今年月	きで完	了する	ことで、	次年	隻から	放送	後			と おおり とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう おいま おいま おいま しょう はい しょう はい しょう	持			(3		6)	9	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 次年度に区内放送導入予定区の機機と戸別受信機分を当初予算に計上する。 「性 休 廃 止 ①						刃金:	交付制	削度に	戻る。	そのた	め、次:	牛度は	その	かり	の			i	小			(4		8)	10	
特別の	理														方			廃	止	1								
性				区内)	放送導力	で	定区0	り親機の	と戸別	受信機	分を当	初予!	単に計	上す	向					皆		減	縮	小	玗	状維持	拡	大
現点															性		/				⊐	ス	۲	投	入	の方	向	性
現点			=a: /ac /			NI/	/= d=		1																			
Fill (大) (本度) (本度) (本度) (本度) (本度) (本度) (本度) (本度		-			7	-			性		有		効	性				効	25	盔	杪	‡		総	合	評 侃	1 半川	定
・ 本のとの対別事がなかなかとがらない。 (未使用率・150%。 銭ア率・9%) ・ 本のとの対別を対別事がなかなかとがらない。 (未使用率・150%。 銭ア率・9%) 記記	= 376					2				定 1						Ē	1						Ē	1110				~_
EAN 放送整備が補助金交付制度に戻るため、予算措置が必要となる。	aï'	チ	-	-										_	_							4						
B : 事業規模、内容・実施主 で			・補	助金(内放)	り利用率 美勢備か	≧がた く補目	なかた h会な	こか上に と付制に	がらな きに買	い。	(未使月). 予1	月率 食措置	159が必要	6、終 要とな	了率		9%)							記			業を追	重めるこ
たまの	価	課	-		- 11E 9/0 **	1110-4		-13.03.							•													
類が必要 割が必要 割が必要 同年度総合評価判定 日 前年度評価シーを聖番号 ○801011 報 施 策 評 価 後 名自主防災組織に必要な防災資機材を宣伝していきたい。																								定	のり	見直しが必	少要	
新年度評価シート整理番号 0801011 20		題																					ŀ	72	討 <i>t</i>	が必要		
名自主防災組織に必要な防災資機材を宣伝していきたい。 各自主防災組織に必要な防災資機材を宣伝していきたい。 合 評価 前年度改革・改善策の実施状況 前年度細施策評価における今後の方向性 本	С																						-					
名自主防災組織に必要な防災資機材を宣伝していきたい。 各自主防災組織に必要な防災資機材を宣伝していきたい。 合 評価 前年度改革・改善策の実施状況 前年度細施策評価における今後の方向性 本	н			細		施		策		評	ſï	6	前				細		施	į	9	衰	_					
		総	各自	主防犯	災組織に		更な関		農材を		てい	きたい			4	f≢	主防災	と組織			防災	資機	材を		してし	いきたい		
評価 前年度改革・改善策の実施状況 前年度細施策評価における今後の方向性 例	_	合																										
前年度改革・改善策の実施状況 前年度細施策評価における今後の方向性	С	≘क																										
前年度改革・改善策の実施状況 前年度細施策評価における今後の方向性 数 会 細 施 策 評 価 後 成 拡 充 ② ⑤ ② 現状維持 ③ ⑥ ⑨ 方向性 体廃止 ① 個 小 現状維持 性 体廃止 個 小 現状維持 本使用組織の防災資機材整備状況を調査し、必要な機材を整備するよう指導する。平成29年度の整備計画へ反映したい。	K	計																										
##	_	価	<u> </u>	左日	≒ ⊐ <i>b</i> 1	±		羊鱼	± Λ	+	4± 2	- 			4	<u> </u>	左 庄 4	m +⁄c	<u>⇔</u> = = =	/III I	- +>	14 7		34 A	+ -	5 ##		
成 拡 充 ② ⑤ レ ⑦ 成 拡 充 図 現状維持 ③ ⑥ ⑨ 現状維持 ⑤ 项 現状維持 ⑤ 项 現状維持 ⑤ 项 項	ᅪ		FIJ				· LX		R U)				45		+	Al) ·							7		יו כל		144	
(を の の 現状維持 ③ ⑥ ⑨ の 方 向 縮 小 ④ ⑧ ⑩ 向 向 幅 小 向 性 休 廃 止 ① 性 休 廃 止 ⑤ が 向 性 休 廃 止 ⑤ が 向 性 休 廃 止 ⑥ が 向 性 休 廃 止 ⑥ が で で で で で で で で で で で で で で で で で で	革	今			<u> </u>			束	@	評	-	<u> </u>	-:							! 		朿		計	-		伎	
の 方向 編 小 ④ ⑧ ⑪ か 方向 権 小 世 休 廃 止 ① 世 休 廃 止 ① 世 休 廃 止 ① 世 休 廃 止 ① サー 大使用組織の防災資機材整備状況を調査し、必要な機材を整備するよう指導する。 平成29年度の整備計画へ反映したい。 マ成29年度の整備計画へ反映したい。	247	後							. j			<u> </u>														ν		
方向性 休廃止 (1) <td< th=""><th>改善</th><th>の</th><th>の</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></td<>	改善	の	の																									
同性性 皆 減 縮 小 現状維持 拡 大コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 改 未使用組織の防災資機材整備状況を調査し、必要な機材を整備するよう指導する。 平成29年度の整備計画へ反映したい。 ひ 善策	の方	方	向						4)		(8)		(10)			向											ļ	
性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト 投入の方向性 カスト 投入の方向性 カスト 投入の方向性 カスト 投入の方向性 カスト 投入の方向性 カス・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・	向	向	性		木 廃 止			. *				b &" · ·				性		廃	止				4 -1			7 1 5 7 7 7 7		
改 未使用組織の防災資機材整備状況を調査し、必要な機材を整備するよう指導する。 平成29年度の整備計画へ反映したい。 改 善 策	性	性					皆			-							_	_		皆				-				
章 う指導する。 平成29年度の整備計画へ反映したい。 改善 策	A	改				資 核	農材畫								よき	人	用組織	他の間	災資	機材								
· 改 善 策	C					計画	画へ反	え映し7	たい。										を備計	画へ	反映	した	い。					
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	İ	2h							_						1					•		_	-					
策	O N																											
}終評価年月日 平成29年5月19日 最終評価責任者 階級対策課長 電 域 資	<u>N</u>																											
	長 終	冬証	価年	月日	亚克	29年	E5 🛭 1	9 FI	最 4	久 証	価 青	任 き	当				Rh	% 44 4	安理上	,					7	i tet		享

市		危機管理室			R±1	***	-																			
	民:				103.	火刈3	策課			Ŋ,	5災対	策係				作成担当	当者名	3	平	澤	浩	=	追	極先	1	82
နာ	ける	プランに 位置づけ	有耳	女 策	体:	系 —		策 策 施 策 练事業	05 05 02 06	第 以	第5章 第5節 5災体 で内放	類の	害に	強い	、安:	ある高原 全で明る										
計予	算	事 業 名	防災無	線関	連書		T 1.	<i>7</i>			-1 1/2/	ALL 116	, IIV. IE	PATRO I I II			숲	計コ	ード	001	款	09	項	01 目	05 3	事業 04
事	務事	: 業の概要 phかりゃすく)	市内名して、度)	区· 補助 (2)	自治	会 (付累 受信	計名機 1	質の上 機当た	限をた	はく補助	し (1)基準)補額(助対象個別	象施 受信	設かは機1	に併せ、 ら個別受 幾当たり ていま	信機の整	を除	いた	もの	z成29 の整値	年度 精費を	を観	の間の特 (1107	寺例措 5円を	置と限
		と背景うして)	区内・新に伊新して	せて	:、#	縁続し	ノて有	甫助し	ていく	必	要がも	ありま	を朽化ます。	がまた	≛み、 と、区	機器の 内放送	更新だけ	を検 でな	対して く防ジ	Cいる と行政	区・ 大無線	自治会	きもなくこと	あります このでき	ト。機 きる施	器の更 設に更
	対	受益者 (誰のために)	自主防																							
Р	象	対象(直接働きかける)							# 4 ()	जा दे ।	h 1	≠ 8 12.=	₽	= 455 -	h 水(南)	上する	- L									
的	(どん	意図な状態にしたいか)																								
		· 方 法 やって)	各目主	防災	と組 稿	(⊠		自治会 。) [こ ヌ	対し、	、制度	EO	説明を	行し	、放	送施設(か 導 .	人を	進めて	(t e	, 7 .					
		行政活動の約	結果か	らつ	くりが	だすも	もの	は何?	4	指	標	名	称		単 位	算出力	法	• 計算	算式	• 目標	票値設	定の	考え	方など	最終	目標値
N 評	動	放送施設整備		L. 48.	7 ±	7 16:5	n. He	机砂油	織労	t i			助組		組織											
価 指 標	指標	防災無線で 補助(新設)	11 × C	⊆ນໍ	<u>ਦਰ</u>	の心部	议虺	改 雅 伽	補助	く無報 り組制	帯の国	17 6	施設	+	組織	交付組	織	新割	₹)							7
の作成	成	成果	• 3	功 :	果	は	何	?	‡	指	標	名	称		単位	算出力	法	• 計算	算式	• 目標	票値設	定の	考え	方など	最終	目標値
八	果 指標	放送施設のきる施設)	龙 英 (が災!	無報 7	יםים 💮	ς <u>-</u>	とかて	整備	率					%	実施組	横/	9 4								100

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円	19, 338, 000	1, 339, 000	526, 500, 000	272, 700, 000	15, 200, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財		円					
	訳	一般財	源	円	19, 338, 000	1, 339, 000	526, 500, 000	272, 700, 000	15, 200, 000
施	職	正規職	員	人	0. 07	0. 07	0. 07	0. 07	0.07
		嘱託職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人					
4.6	数	合	計	人	0. 07	0. 07	0. 07	0. 07	0. 07
状	3	対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況	5	· 益 者 負 担	額	円					
7,0	Ī	市民一人当たりのコス		円	344. 00	24. 00	9, 440. 00	4, 912. 00	284. 00
		100/010特別	目標	40 644					
		100分の10補助組	目標 実績	組織					
$\overline{}$	活	織数	達成率	%	-	_	_	_	_
		防災無線の聞ける施設	目標	組織	7	7	7	7	7
		が火無線の同りる爬設 補助組織数	実績	701 PW	7	12	13	7	7
D	扣	THI 50 REL WAX 3X	達成率	%	100.00	171. 43	185. 71	100.00	100.00
ט	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	%	94	94	100	100	100
	成	整備率	実績	70	42	52	65	77	80
	果指		達成率	%	44. 68	55. 32	65. 00	77. 00	80.00
	指		目標						
	標	_	実績						
			達成率	%	I	_	_	_	_
	備	防災行政無線デジタル化	:工事の)中で	を備をしていく。(平	成28年度工事完了)			
	考								

事務	§事	業名				区内	放送	拖設	整備	補助) 🚪	業								事業	期間	平	成	25	~	2	9 4	年度	整理都	番号	0108	0105
担:	当 音	『署	危機	管理	里室				防災	対策	課			防	災対	策係				作成	担当	者名		Y	澤	浩	-	-	連絡	·先	18	32
	期					E	目相	票								ᢖ	尾 糸	ŧ										課	題			
凹	第 1 期						金制 関係を									助金制 行った		未	設置図	ヹ・自	治会	など	各区	Σ• ϳ	治金	ŧσβ	防災 1	意識	の温度	差が	ある。	
非	第 2 期						金制。 関格									、自治 行った		ŧξ	医防災	組織	使会へ	整				導入 'ある		5 戸	別受信	幾の	台数が	伸び
期ご	第 3 期						会の			施、为	7年月					治会に ついて						きの	年を必要		₹る†	きめ、	新区	₹長•	·自治会	長に	再度訪	明が
٤	第 4 期	未認	置区	· 🛊	冶会	に重	を備の	説明	月を	実施			也区区 施。	⋜長会	で補	助金制			(る旨)	の説	明を	実					区で ² .見込		.。 D数の把	2握が	パ困難-	であっ
g O				.,											事	中		Ŧ		Hi												
																の変化	_ ~			拡	弁	Ē			(2	レ	(5		7	
管	年月	きでコ	事カ	完	了す	るた	め、カ	マ年月	しか	ら補具	り金	交付的	制度(こ戻る	0		後		₹ D :	現状	維持	ŧ			(3		(6		9	
	そのる。	つ <i>たと</i>)、制	度カ	バ切り	替才	つるこ	とを:	児区	長と	灰期	区長	へ説	男する	必要	と が あ	の		与 与	縮	/]	`			(4		(8		10	
理												(改革			(美)		方		-	休息	桑 山	= (D	•••••								
-	8 3	EIDTS	泛粗報	防	災活	助強	化事	業補	助的	定です	, J.	要求を	行う	•			向		_				皆	沂	戓	縮	/]	١,	現状維	持	拡	大
																	性			/			=	1 .	ス	۲	投	入	の	方	向(生
		=w /ac	年度			31	4年月	-		1								_														
			牛皮 点		-		1 1 		1	<u></u> 生			有		効	性	‡			効		率		性			総	슫	: 評	価	判	定
Str		西の都		1	T	2	3		4	半川	定	1	2	T	3	4	判员	2	1		2	3	4		判员	Ē	1140				13	~_
評	チ	エッ	ク							4						ν	3								4				E	3		
し) 動	課題	る†	算指		が課	娘と	なる	•																			の定義に	3:300000000000000000000000000000000000	こります という という ままり ままり ままり ままり まい とう こう とう いっぱい とう とう とう とう とう とう とう とう とう とう とう とう とう	・内 が必 合、 判定	容・実 要 休・廃.	施主体 止の検 B
н			i	細		施	į	Ś	策		評		価	i	Ħ	ή			á	細		施		策	ŧ		評		価		後	
ш с к	総合評価	せ、	7各区 平成・ でる必	25:	年度:	から	自主平成	防災	組制	to	おし	いて、	放送利措置	施設 tとし	の <u>整</u> た。	備に併	<u>₹</u> t	ŧ,		25年	F度カ	ハら平					おい		放送施 引措置と			
)		前	年	度	改	革	. 5	女 善	策	の	実	施:	伏 汅]				前	年 度	細力	施策	評値	西に	お	ける	今	後 O	う方	向性			
財母	今		i	囲		施	į	5	策		評	- :	価	i	À				á	細		施		策	ŧ		評		価		後	
	後	成果		拡		Ť				2		(5	レ	7)		成果	•	拡	充						レ					
改善	の	の		現丬	犬維扌	寺 	 			3		(6		9)		0		現状	維持	È										
0	方	方向		縮	1	ļ١				4		1	8		1)		方向		縮	小	`										
方向	向	性		休	廃」	Ł	1											性		休月	廃 止	: "	••••									
性	性						皆		減っ			小		維持			大		_	_			皆	源		縮	/J.		現状維		拡	大
Â	改	申請	憎、	特	こ大	きな	集落		ス 施し			と よ、プ			向費の	性 増がま	5 E		槽.	特に	大き	*な#	落か		ス をし:	ト た場			の : <mark>幅な事</mark>		句 性 の増ま	
С	以革	る。			•	_ •		^										5.										•				
T																																
0	改美																															
Z)	善策																															
旦 4		 			TT -	t oo	& F F	10.5	_		(夕 =	1 / 1 −	主	/T .=	₽.		I		p.	F«« -	LL Adv =						1		*	4-4	-	
<u>-</u> ¥	ぐ評	伽年	月日	1	平月	x ,29	年5月	19 E	1	菆 ;	於 言	平 価	頁	1± 1	≦				Į\$	可災求	対策	未長							東	城	淳	

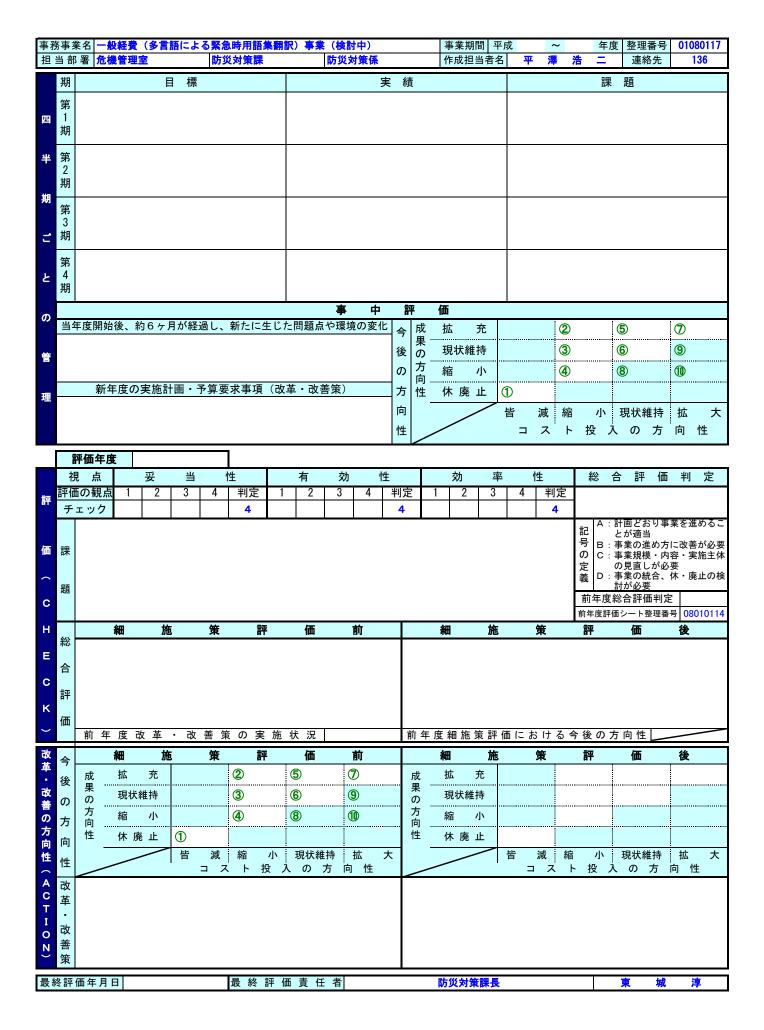
			一般経費(『	方災(体制制										事業期間	平成	23	~		年度	整理番号	
担	当部	署	危機管理室			B	方災灾	策課			防災対	対策係			作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
計	お事	ける		現在	t防災 Eある	防災	推進機器	事務事業費	計、個	05 02 01	第5個防災位地域即	市 災 体制の 方災計	書に強 充実 画見直	らざの aい、安全 「し事業 ・)の維持	とで明る	いまた	ゴくリ	÷ 00				05 事業 01 るか予知で
	現(状ど	と 育 京 う し て) 受 益 者		機材									でもいつ である。	地震など	の災!	書が発	生する	るのか	分から	ない。その	かためには、
P	目的	対象	対象 (直接働きかける) 一 図	同上災害		生し	た時に	こ、値	ちに使	用でき	きる状況	態にす	る。									
L	手	段	な状態にしたいか)							F理を行 必要な		つい	ては、	時宜を∂	みて更新	<u>を</u> 行う	•					
			行政活動の約 行政活動の約	古里:	からつ	つくし	しだす	±.חו	ナ何?	指	標	名	称	単位	質出方	法•1	十首式	• 日 t	三 値割	定のま	きぇ 方かど	最終目標値
N	評	活動指	防災システム				,,,,,	0 0 7 1	σ ₁ , 1	システ			13.	式	3FILI/3	<i>7</i> 4	19720		ж IE II	()	J 72 / J · G · C	1
	価指標の	招標																				
	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・詞	†算式	・目标	票値割	定の参	きえ方など	最終目標値
	成	果指標	地震計などの	D誤	作動的	方止				地震計 なし	異常	(誤作	動)	B								365
		小小																				

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	1	, ,, ,,	(a)	円	1, 623, 745	1, 608, 259	3, 190, 410	1, 502, 300	1, 388, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円					
444		一 般 財	源	円	1, 623, 745	1, 608, 259	3, 190, 410	1, 502, 300	1, 388, 000
施	職	正規職	員	人	0. 33	0. 28	0. 28	0. 28	0. 28
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 33	0. 28	0. 28	0. 28	0. 28
	Ż		数						
		<u>延利用(者)数</u>	(b)						
	È		(b)		_	_	_	_	_
況	Š		額	円	00.00	00.00	F7 00	07.00	00.00
		市民一人当たりのコス		円	29. 00	29. 00	57. 00	27. 00	63. 00
		5 1 ARAL	目標	式		<u>.</u>		!	
		システム維持	実績達成率	%	100.00	100.00	100.00	100, 00	100.00
	活			%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動指	_	目標 実績	_					
	指		達成率	%	_	_	-	_	_
D	標		目標	90		_	_	_	
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	-	_	_
0					365	365	365	365	365
O		地震計異常(誤作動)	目標実績	B	365	365	363	330	365
	単	なし	達成率	%	100.00	100, 00	99. 45	90, 41	100, 00
	果指		目標	,,	100.00		55. 10	30.41	100.00
)	標	_	実績	_					
	JAK		達成率	%	_	_	_	_	_
	/±±			-					
	備								
	考								

			一般経 危機管		防災	体制約		事業 災対 第	課			防災対	策係					間 当者4		23 平	~ 澤	浩	年月二		理番号 連絡先	0108	
	期				E	目標							9	尾 糸	漬								課	題			
浬	第 1 期	·E7	常な作り	助状態	きる。	主認				·異	常作	動なし											作動も 険を実			るよう定	期的
-	第 2 期	•正7	常な作り	助状態	きを確	主認				· 異	常作!	動なし											作動物 険を実			るよう定	≝期的
期 ご	第 3 期		常な作! 野県衛!				線更新	f工事	の実施				の故障 防災行						すな	ること	がでるた	きな	かった	。交換	部品の	震度を研算を 製造中 を検討す	止と
ع	第 4 期	•正7	常な作り	助状態	きを確	主認				· 異	常作!	動なし								野県 必要。		系防!	災行政	無線	の操作	方法の	習熟
の												事	中		評	価											
													の変化	今	. 成	拉拉		充			C	2)		⑤	V	7	
			■度に 長器の操							史新山	_争か	・美他さ	ะสเจ.	後	果の	· , 現	状維	持			(3)		6		9	
Ħ,														の	力			小			(4	<u></u>		8		10	••••••
100			新年度	の実	施計	ー画・	予算要	要求事	項(改革·	·改善	詩策)		方	向		廃	止	1								
哩														向					皆	源	t i	縮	小	現北	犬維持	拡	大
														性			/						-		方	向(
			年度	<u> </u>		4年度		Let					Le							ы			40	Δ :	I	alest.	
		見		<u> </u>	ź	当	4	性割	<u> </u>	1 1	<u></u> 2	<u>勃</u>	4	E 判定	5	1 1	効 2	3		性 4	判定	,	総	台	評価	判	定
Ŧ		エツ	_	<u> </u>		J	4	+11		-		<u> レ</u>	4	+17. 3		'		3	+ '	4	十リル 4	-			В		
		地震	計の部										が通行	i する	5 <i>t</i> =1	びに地	農が	発生し	したも	態に	なる	i	A :			業を進	めるこ
画	課	ため	、正確	な数	値を	得る	ことが	できな	zu,	対応に	問題	がある	•									두	B:		 の進め方	に改善	
Щ	誄																					<i>0</i> .			現模・内 直しが必	容・実 要	施主体
~	FX																					拿			の統合、	休・廃.	止の検
С	題																					Ē	前年度		平価判定	Ē	В
							-						•													号 010	80112
Н	総	555 ≡	細盤生性	1=1±	施		策を	生音:	評		価かい		前 <u> 終</u> 王日	ا ط ا	※宝	細盤生態	1=15	施		策しま			評		111001	後 で連絡=	上映レ
E		して	衛星携	帯電	話や	衛星	FAX	等は必	必要不	可欠で	ある	。また	:、地震	E#H	して	衛星排	帯電	話や	衛星	FA)	(等)	は必り	更不可	欠で	ある。ま	また、均	也震計
С	台		直場所には必				まめる	אינג	也展発	生時に	-矛對	中の漫	ほ医を形			直場がには必				まめ を	ימ כ	吧。	喪完生	時に	を動中の	の震度を	と把握
	評																										
K	価																										
)	ш	前	年 度	改	革	• 改	善	策の	実力	拖 状	況	— a	事実力	施	前名	年度糸	田施	策 評	価に	こおり	ナる	今~	後のこ	方向	性		_
改	今		細		施	<u> </u>	策		評		価	1	前			細		施		策	:	i	評	ſi	6	後	
革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		成	拡		充			2		5	L	, (7)		成	拉		充							レ		
改	後の	果の		状維	持			3		6		(9)		果の		状維	持						ļ			
善の	の	方	縮		小 小			4		8		1			方	縮		小									
方	方	向 性		: 廃 .		(1)		<u> </u>		•		ų.			向性		' : 廃										
向	向	,_		. نادر .	_	皆	減	縮	/]	\ TE	大維:	持	拡 :	<u> </u>	,_		· 17ť	_	皆	洞	ì	縮	/J\	珀和	大維持	拡	大
性(性					=			-	入			性		_								-			向性	
	改												あるが													かであるが出来な	
C T	革		有主切																						以扱いな		, v ' L
Ī	改																										
	善善																										
	策																										
長級	> 評	価年	月日	亚	或29:	年5月	19日	最 :	終誕	価 責	手 仟	者		•		防禁	います	食課長						東	城	淳	
+ ·I··	- HI			- ' '		/1		-1^	. ¬ н1	و بسب		-				HF 3	40.33							_	7776		

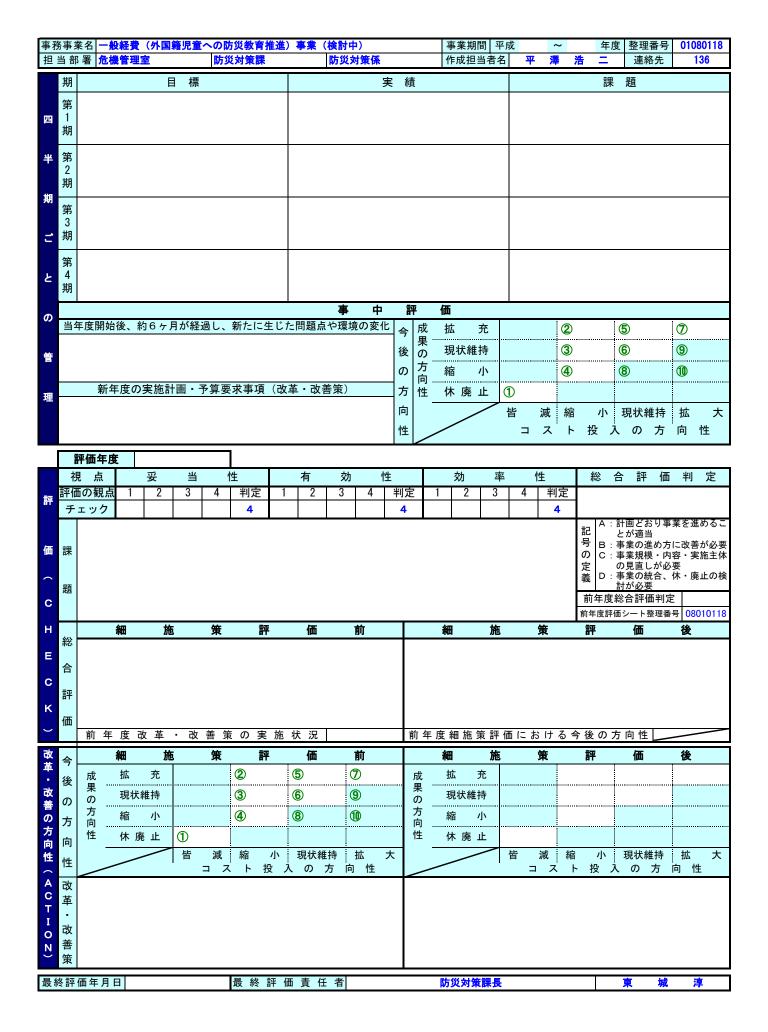
			一般経費		語に。				長翻訳.						=	F業期間	引平	成		~			整	理番号		80117
担:	当 部	署	危機管理	<u> </u>		R	5災対	策課			防災対	付策係			1	F成担当	当者名	2	7 %	#	浩	=	追	基絡先	•	136
								政	策	05	第51	東 快	適です	よらぎ	のま	る高原	都市	づくり	·J							
	市	民	プランに	有	形分	策体	玄	施	策		第51			負い、	安全	で明る	いま	ちづり	(9							
	おり	ナる	位置づり	† "	L	ж гт			拖 策		防災体															
el.								事務	事業	80	外国第	音市 民	向け	が災ガ	<u>イド</u>	作成面							_			
計	予	算	事業名			-			A	- sim Su		***	na et mak					計コ-		001				01 目	05	事業 01
				1000	引時に	必要	な用	治を、	多言語	で翻割	せし、	災害的	完 年時	に活用	lL'	Ceb	フたの	の多	言語!	تۍ	る翻	訳争業	C 3	٠,		
	事	務 事	業の概要	要																						
画	(181	<i>3</i> % 1 ← 4	0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	,																						
				*** =	2.84.	마 사	国练:	七尺七	<u> </u>	: B.にも	+12 73	キスト	以各用	1111日本	7 2 1 4	は敷焼・	+ +1 7	- 45 &	-j* I	取名	中 の	本 足 #		プラ 作コ		ながり
			と背景	まる	力。緊	急時	の用	リ氏の 吾を集	めた解	説が	要に	なり	を備す	品の所る必要	が	ありまっ	す。	. <i>6</i> 0 '5	9 . :	米心	, ug UJ	ويطنانا		- ^ 165 1	ر ۱۱۰	4.7.9
((٠ ح	うして)																							
,		д.	受益 を		国人住	民お	よびi	市民																		
	目	対			引人住	民お	よびi	市民																		
		象	対象				_																			
P					5 n± /-	37.00		,																		
	的		意 図		動時に	酒州	65	o .																		
		(どん	な状態にしたいた																							
L				緊急	動時に	必要	となる	る用語	をピッ	クアッ	プし	、多	言語翻	訳する												
	=	EΤ	· 方 法																							
	((どう	せって)	`																						
Α																										
1																										
			行政活動(の結果	からつ	o くり	リだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単	位	算出力	法・	計算	式・	目標	値設	定の≉	きえ:	方など	最終	目標値
		活																								
Z	評	動指																								
	価指	標																								
	標																									
)	の	_ь	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単	位	質出す	5法・	計算	;; •	日桿	値設	定のま	₹ え '	方など	最終	目標値
	作成	成果	/A A		-73	/ \	,,,	''		,,,	1275	Н	1.3	7-	_	J. III /	- /	A1 2T	- •	12		.,,		,, ,, _	-1.1.	
		指																								
		標																								
																L									L	

	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	Iuli.		(a)	円					
	財	国 庫 支 出	金	田					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
444	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人					
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人					
	Ż	才 象 (者)	数						
	3	正 利 用 (者) 数 ((b)						
	È		(b)	日	_	_	_	_	_
況	5		額	円					
	Г	「民一人当たりのコス		円	_	_	_	-	
			目標	_					
			実績	0.4					
	活		達成率	%	-		-	-	_
	動		目標	_					
	動指	_	実績 達成率	0/					
D	標			%	_	_	_	_	_
		_	目標 実績	_					
		_	達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	70					
0	成	_	実績	_					
	単		達成率	%	_		_	_	_
	果指		目標	/0					
	標	_	実績	_					
	小示		達成率	%	_	_	_	_	_
	1-44-			, 0					
	備								
	考								
	-								



			一般経費		国籍児				推進)						=	事業期間	平月	<u> </u>	~		年度	整理番号	
担:	当部	署	危機管理	室			防災対	対策課			防災対	対策係			1	F成担当:	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
			プラン l 位置づ		政	策(本系	施 細 #	策 策 施 策	01	第71 第11 2	市 外	豊かた 国籍で で育応払	市民の	生活		を創る	8					
	05 1	, 0		.,					事業							進事業							
計	予	算	事業名	3													会記	+=-	ド 00	1 款	(<mark>09</mark>)	項 01 目	05 事業 01
				外	国籍!	見童に	対し	て、防	災に関	目する教	育を	推進し	します	•						•			
画			· 業 の 概 · ^{わかりやすく})																			
	現(状 ど・	と背景	2			対し	、防災	後関係に	に関する	情報	の伝え	重がで	きてし	ゝま	せん。防	災意	識を高	「めて ・	663	ための	教育が必要	更です。
•	目	対	受 益 i		国籍!	尼童																	
P		象	対象	శ్)	上																		
	的	(どん	意図な状態にしたい	か)			揚を																
L				1	31:	ニケー	-ショ	ンがと	:れる体	制を整	え、	外国籍	着児童	の集ま	まる [‡]	易所への	出前	講座・	防災	青演 会	の開催		
A			・方 ½ やって																				
			 行政活動	の結り	₽から	つく	りだす	- ‡ ,の(は何?	指	標	名	称	単	位	复出方:	法•	計質된	t • 目 :	煙値言	ひ定のま	きえ方など	最終目標値
		活	13-57/11-20	***	14.70	- ,	,,,,,	0 071		711	175				_	эг ш / у		H1 3F E			X,C **	37273 0- 2	42.17 11 13.11
N		動																					
	価指	指標																					
	標																						
)	の作	成	成 男	Į .	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単	位	算出方	法・	計算式	・目	摽値訁	没定の≉	きえ方など	最終目標値
	成	果指							•														
		標																					
																l							1

	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	Iuli.		(a)	円					
	財	国 庫 支 出	金	田					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
444	訳	一 般 財	源	円					
施	職	正規職	員	人					
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人					
	Ż	才 象 (者)	数						
	3	正 利 用 (者) 数 ((b)						
	È		(b)	日	_	_	_	_	_
況	5		額	円					
	Г	「民一人当たりのコス		円	_	_	_	-	
			目標	_					
			実績	0.4					
	活		達成率	%	-		-	-	_
	動		目標	_					
	動指	_	実績 達成率	0/					
D	標			%	_	_	_	_	_
		_	目標 実績	_					
		_	達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	70					
0	成	_	実績	_					
	単		達成率	%	_		_	_	_
	果指		目標	/0					
	標	_	実績	_					
	小示		達成率	%	_	_	_	_	_
	1-44-			, 0					
	備								
	考								
	-								



事務	事事	Ě名	ICTによる情	報务	e信·	· 伝達	事事	ŧ										事業基	期間	平成	ζ 2	23	~		年度	惠	整理番号	0108	0111
担	当部	署	危機管理室				防災	対領	き課			防	災対	策係				作成技	旦当者	者名	3	<u>7</u>	澤	浩	=		連絡先	13	6
	市 おり	民 : ナる	プランに 位置づけ	有	政	策(本 系		政施 細族		08 02 01 01	第 I	2節 Tを	豊活用	かなした	生活 安全	環境 安心	情報文 の実現 な市民	ŧ			J							
計	₹.	竺	事業名	₩ =	2 data ±	8伝道			事務	争耒	UI	1		を の	阳火	减火	対策	争来		스티		_ L°	001	±h	7 00	т古	01 🖪	Λ <u>Ε</u> ±	₩ 06
画	事	<u>··</u> 務事	業の概要	・が 技術 ・ I	書手 所)を CT (られて	を生ま 上活月 Info	まの住 目しま rmat r 「I	主民 ます ion T」	への 。 and とほ	Comi ぼ同れ	nunic 兼の意	atio 味て	on Te き用し	echno いらオ	ology いるも	رن ان	:は、 で、	情報 「IT」	· 通信	び避けれる	難状 関連 表現	記等する	技術	记报 一般		手段	01 目 等にICT あり、初		通信
			と背景うして)	• 1	t規模 CT (莫災署 情報	子が名 通信	予地 技術	で発: 析) を	生し、	防災 した	青報	がい 伝達	- 対す 手段	が求	i民(めら	D関心 れて	が高 います	まっ - 。	てい	ます	•							
^	目	対	受益者			『市 P 報通																							
P		象	対象 (直接働きかける)						1- L		((ede Joi	e de la constant	<i>!</i> 1 =		e 7														
	的	(どん	意図な状態にしたいか)								災害情																		
L			・ 方 法 やって)	・放大が・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5災行 女送局 を行す −度σ	T政策 動のスプログラフ 動のプラクリアの生	乗線なく くち マントラブ	がジー人复開オ客力旧	こかなど などよっ を する	に送って、	ハ "屋 するこ またま 多様	内と被な	と で と と だ し ディ	"車中 宇舎 <i>の</i> 三居台 ィアヤ	P"に り被災 さわせ き端オ	こも、 とで とた に	でき 方災行 国内外 一元的	伝されたの情報	情が人が	報がたたる	届なによくくもう	よな情にす	に事態を伝	見にも まえる		る 。			
			行政活動の約	洁果	から					は何?	排	i i	標	名	称		単 位	算出	出方》	去・言	計算	式·	目標	票値言	设定の	考え	方など	最終目	標値
Z	評	活動	臨時災害放抗				備				臨災						件	LCV	(臨	災局	設置	者)	٤0	がい	時協	定の	締結		1
	価指	指標	公共情報コー	Eン.	ズの	活用					公共	情報	₹⊐∓	ンス	(公共	も情幸	₹⊐ T	∃ンス	くの	テス	卜配	信				2
~	標の		緊急速報メー	ール							緊急						<u> </u>			リメー						4			2
	作成	成	成果	•	効	果	la	ţ	何	?	排	i :	標	名	称		単位	算出	占方法	去・言	計算	式·	目相	票値言	设定の	考え	方など	最終目	標値
	肞	果指	ICTを活用し	たダ	害怕	育報の	提供	<u>#</u>			ICT	舌用:	伏況				%	提供	開東	台した	= ICT	技術	厅/提	供可	能な」	CT技	術		100
		標																											

	J	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	PII.	事業費等	(a)	円		110, 160	110, 160	110, 160	111, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円		110, 160	110, 160	110, 160	111, 000
施	職	正規職	員	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
- 100		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	_	市民一人当たりのコス		円		2. 00	2. 00	2. 00	5. 00
			目標	件]]		1	1
		臨災局	実績		100.00	100.00	1 100 00	100.00	100.00
	活		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
	動	A	目標		2	2	2	2	2
	動指	公共情報コモンズ	実績		0	0	0	0	0 00
D	標		達成率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	IN	SO A Market of the	目標		2	2	2	2	2
		緊急速報メール	実績	0.4	0	0	0	0	0
			達成率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
0	成	IATE HAND	目標	%	3	3	3	3	3
	果	ICT活用状況	実績達成率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	未指		目標	9⁄0	0.00	0.00	0.00	U. 00	U. UU
$\overline{}$			実績	_					
	標	_	<u>夫</u> 根	%	_	_			_
		 							
	備	今後期待できるICT…「V— 平成26年度からは公共情報	コモン	プの利	「1)以込」「女王女儿 用料が必要となります。	· ホール(オンレノンヤ 、現在契約している「4	一寺/ 」「/ ノート/ 公共情報コモンズ入力+	一ル(阿灰刈寒間報ン) ナービス」が平成28年度	へノムノ」 「に「L'mo入力サービ
	老	ス」と名称が変更になりま	した。		, in process (100 / 00 / 00 / 00 / 00 / 00 / 00 / 00	, 50 E State 6 C C C C C C C C C C C C C C C C C C			
	ָר								

	当部	署 危機管		E16 12		対策課		防災対	等			▶耒期间 F成担当	_	火 23	~	维	干及	登理1 連絡			136
15		1 101%			W 1 50	AI AK IA		N) XX				F/X/15 =	11111			/ <u> </u>	_		176		
	期			目 標					実	績								題			
	第													使いこた。	なすま	टाटाउ	時间	ימימיט	ること	מלימ:	かつ
四		公共情報=	Iモンズ(L	mo入力	サービ	ス)のテス	くト こうほう	ちの連携	リール画	己信				防災担	当者し	か使用	目する	ことが	できな	いた	め、広
	期													報担当	課にも	・使用ブ	方法を	レクチー	ヤーす	る必	要があ
	**													a ,							
半	第 2	公共情報=	コモンズ(L [®]	mo入力	サービ	ス)、緊急	-3E3	たの油料	リスール画	2/音				テスト	配信を	借り返	し、本	番に使	いこな	ょすこ	とが必
	期	速報メール	のテスト面	己信				5WE	57 /VB	LIA				要							
期																					
	第	公共情報=	エンプロ	mo 1 +	·#12	7) 駅舎															
	3	速報メール			19 -L	个/、来心	こうほう	ちの連携	リスティア	己信				テスト	配信が	実施で	きなた	いった			
ij	期																				
	第	公共情報=	コモンズ(L'	mo入力	サービ	ス)、緊急	l .							_7L	ロルが	実施で	ede de d	n-+-			
ے	4	速報メール	のテスト面	建			こうほう	ちの連携	タール画	己信			- 54 00	広報相	当当課人	人の説	明は事	いつに B旅でき	たが	、消防	方署に
_	期	広報担当 明	未へのLimo	人刀サ		使用力法	記 仏教担	当味への)L'mo人	л - -	-6.49	用力法	說明	も説明	する必	要があ	5る。				
	Н	93						事	中	評	価										
Ø	14 <i>년</i>	生年閏仏後	%1 G ←	日 お紋又)	'Д :	☆に <i>+_ ! ー /</i> +	じた問題点		o == #. I				_				: .		:	_	
		平及用妇伎 炎害放送						ド塚児	い文化		或	ь <u>Э</u>	仓		(2	<u>4</u>)	(5)	<u>ر</u>	7	
ACC	halli had	,火百以还/	・ルマン 同文副	中本で大	(C) (C) (B)	×27 37 N '00)	·••				未 の ^現	!状維!	寺		(3	<u> </u>	(6		9	
管											// 方 紹		<u>ا</u>		(2		1	8)		(10)	
		*r /	エの中サ =	Lier :	2 th ==	光声平	(3h to 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34 34	生体、		ا (`	句				و	5 /		9		w	
理	165 PH						(改革・改善人でいる。		E度I-	方 1	生 <u>/</u>	· 廃 」	E (D							
		別練を実施				ノ加ルこで料	1/0 (0.00.	T 144,23-	一人	向			/	皆	減	宿	小	現状維	辪	拡	大
										性				コ	ス	ト投	、入	の	方	向	性
										<u>'</u>	_										
		評価年度	1	当年度																	
	裑	見点	妥	当	1 4	ŧ	有	効	性			効	率	1	生	彩	% 合	` 評	価	判	定
評	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	1 2	3	4 #	钊定	1	2	3	4	判定	:					
計	チ	ェック				4		ν		3					4				3		
							ティFMを開									記				業を進	めるこ
_		・公共情報	製コモンズ	の運用	には、	県内どこ	にいてもそ 加だと、「	の地域	の災害関	連情	報が入	手でき	る状	態にあ	ること			: が適当 : 業の進		こ改善	が必要
価	課	か女主女に				שיף וובוו	7,1472 C \	, , _ ,	W.Y.) C	- 10 C	01/4.0	一姓舞	刊刊	у-щ С	U 174.	の	C:事	業規模	・内	容・実	施主体
							KDDI・ソフ			€信し	なけれ	ばなら	ない	•		定義)見直し 事業の結			産止の検
	題	・レアラー	- トの活用	につい	て、戦	道機関等	と協議する	必要が	ある。							3~	Ē	が必要	į		124
С																		合評価			В
		A																	を理番	-1	010117
Н	緃	細	抗	<u> </u>	策	評	価	il.	ıj	170	細		施		策 <u>+ /// = </u>	評		価	I Labor	後	N
Е	1/VCs	なってきて	進信技術が	の進る	かは火1	計算報光1	信には欠か	せない	501-			通信技		ル進季	よ火音	1月 牧光		よ火か	ይ ሌ (טפיי)I_
	合																				
С																					
	評																				
K	価																				
\smile	ΙШ	前年度	き 改 革	• 7.⁄s	善等	の宝	施状況	_ #	3 実施	前	年度:	細施第	き 評 布	折にお	ける	今 後	の 눋	向 性			
改		<u></u>			策	評	価		<u> </u>	19-9	細		施		策	評		価		後	
革	今	. 1		5											ж.	計			:	夜	
•	後	成 ^折 果	充			2	⑤ 1	レ ⑦			•	ኔ 3	Ċ					レ			
改	の	・ の り	見状維持			3	6	9)	σ,	· I	見状維持	寺								
善の		方 紛	計 小			4	8	10)	7		宿 /	١								
の方向	方	向		A						向 性]										
向	向	II 17	ト廃 止	(1)		A-1-				┛¨	- 1	木 廃 」		LL.		. _		-m 11 - 11	112		
性	l-1					w .	小 現状維	[持 : 打	太 大				_	皆	減 ;	縮	小	現状維	持	拡	大
	性			皆	減って				h /-				ı	_	-				- -	- 1	4
$\overline{}$	性	◇土棒却-	1 <u> = 1</u> / ±	٠ :	コス	ト 投	入の	方 向	性・市ホー	- M	土権却・	1 =				ト 投	人	の			
Â	性改	公共情報コムページ		活用し	コ ス 、 <mark>緊急</mark>	ト 投 速報メ ー		方 向	-	- 公共 ム/	ページ	コモン: へ情報 配	配信す	用し、 るシス	緊急 を	ト 投 軽報メー D構築。	と 入 ール・	市防災	<u> </u>	ル・	市ホー
$\overline{}$	性			活用し	コ ス 、 <mark>緊急</mark>	ト 投 速報メ ー	入の	方 向	-	平月	ページ 丸284	ト情報 年度か	配信す らL'mo	用し、 るシス 入力サ	緊急 返 テムの	ト 投 軽報メー の構築。 なが市っ	と 入 ール・ ホーム	の 市防災 ペーシ	ジと連	ル・動し	市ホー
ACTI	性改革・			活用し	コ ス 、 <mark>緊急</mark>	ト 投 速報メ ー	入の	方 向	-	平月	ページ 丸284	へ情報	配信す らL'mo	用し、 るシス 入力サ	緊急 返 テムの	ト 投 軽報メー の構築。 なが市っ	と 入 ール・ ホーム	の 市防災 ペーシ	ジと連	ル・動し	市ホー
(ACTIO	性改革・改			活用し	コ ス 、 <mark>緊急</mark>	ト 投 速報メ ー	入の	方 向	-	平月	ページ 丸284	ト情報 年度か	配信す らL'mo	用し、 るシス 入力サ	緊急 返 テムの	ト 投 軽報メー の構築。 なが市っ	と 入 ール・ ホーム	の 市防災 ペーシ	ジと連	ル・動し	市ホー
ACTI	性の革・改善			活用し	コ ス 、 <mark>緊急</mark>	ト 投 速報メ ー	入の	方 向	-	平月	ページ 丸284	ト情報 年度か	配信す らL'mo	用し、 るシス 入力サ	緊急 返 テムの	ト 投 軽報メー の構築。 なが市っ	と 入 ール・ ホーム	の 市防災 ペーシ	ジと連	ル・動し	市ホー
(ACTION)	性の革・改善策			活用しけるシ	コ ス 、 <mark>緊急</mark> ステム	ト 投 速報メー の 構築	入の	方 向 {メール	-	平月	ページル 成28 ⁴ した内 ⁴	ト情報 年度か	記信す らL'mc ホーム	用し、 るシス 入力サ	緊急 返 テムの	ト 投 軽報メー の構築。 なが市っ	と 入 ール・ ホーム	の 市防災 ペーシ	ジと連	ル・動し	市ホー

事務	事業	美名	一般経	費(ダ	害	仓険 籄	所謂:	査)	事業							事業期間	平成		~		年度	整理番号	01080110
担:	当部	署	危機管	理室			防	災対	策課			防災対	対策保	Ř.		作成担当	者名	平	澤	浩	=	連絡先	136
	市おり	民 ナる	プ ラ ン 5 位 置 1	っ じ げ	有	政贸	6 体	系 -	政 施 細 施 事務事		05 05 03 01	第5章 災害の	市 ジ の未名	災害に引	強い、安	ある高原: 全で明る			,				
計	予	算	事 業	名													会計	コード	00	款	09	項 01 目	05 事業 01
画	事績	務 事	『業の 相かりゃす	. 要	毎年要に	応じ	域の災 整備し	害危	を 映画 に	折調査 も整備	(5月 要望	中旬) をして	を 多 いま	€施し、 す。	急傾斜	地、がけ	崩れ、	土石流	や地	すべり	力危険	箇所の把握	を行い、必
			と 背 うして	京					トるたる Eがあっ			き続き	危険	箇所を	調査しず	7民へ周知	し、累	を急性 (の高し	いもの	は、豊	を備、あるい	いは国県へ整
	目	対	受益(誰のたる	めに)	市民		害危険	· (45 7)	=														
P		象	対(直接働きだ	象かける)																			
	的	(E A	意図	こいか)					捜害の														
L	_				毎年	1 📵	、市関	係音	₿局と1	合同で	災害力	危険箇	所調	査を実	施する。								
			・方やって																				
Α																							
		汪	行政活					だす	ものは		指		名	称	単 位		法・計	算式	・目標	票値設	定の	考え方など	最終目標値
N	評	活動	災害危	険箇月	「調 3	查実施	Ī				調査3	尾施回	数		1	年1回							1
	価指	指標	土砂災!	害訓紀	の	実施					訓練习	と施回	数		1								1
	標の																						
	作	成	成	果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目相	票値設	定の	考え方など	最終目標値
	成	果指	災害の	未然队	址				•		調査될	E施率		•	%	調査箇	所/調査	上対象	箇所		•		100
		標																					

		Į	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
			(a)	日					
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	I					
	訳	その他特定財	源	円					
tete		一般財	源	·田					A 44
施	職	正規職	員	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02	0. 02
	12		数						
			(b)						
	È	1 —	(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	_	市民一人当たりのコス		円	- ,		_	_	3. 00
		April	目標	1]	1		1	1
		調査実施回数	実績		100.00	100.00	100 00	100.00	100.00
	活		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動		目標	1]			1
	動指	訓練実施回数	実績	-	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
D	標		達成率	%	100. 00	100.00	100. 00	100.00	100. 00
	IXX		目標	_					
		_	実績	0.4					
			達成率	%	_	_	_	-	-
0	_t ;	99 de chate da	目標	%	59 59	59 59	66	64 64	64 64
	成	調査実施率	実績	0.			66		
	果指		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
\sim	扫		目標	_					
	標	_	実績達成率	0/		_			_
		立式0.7年度細末により	達 成 平	%	田泊加了做完 多级在	ー <u>ー</u> 食箇所数37箇所	_	_	_
	備				規追加7箇所、最終危 箇所:新規追加4箇所、		is al-		
			ハルルー	いルス	国川・利水温ルチョル、	一枚転心機画の数と3個	H 171		

担当	ᅮᅎ	卡石	用 X.中工	J	C D <i>N</i>	3 天 国		E) 事	未						事	業期間	平月	灭	^	~	年月	芟 狴	理番号	0108	0110
	部	署尤	機管	理室			防災	炎対策	課		防災	対策係			作月		者名	平	澤	浩	i =	į	基絡先	13	36
其	明				月	標						<u> </u>	₹ 績	į							課	題			
第 型 1 期	第	5月中	に災	害危険			の実施	i		市内の 5月12)調査等 日:各班	建設事務	多、茅 香報	野誓					ない	。危险	て調査	に出る		t危険値 て把握し	
半 第 2 期	2	調査値	固所の	整理						調査票	lと写真	の整理						変化がいため	がない う、写	∖箇所 真がī	につい	ては、 听があ	写真を る。	撮影して	ていな
期 第 3 プ リ	3	市内允	危険個	所の竹	青報4	汉集				建設課	₹、農林	課から情	報収	ķ				なし							
第 4 期	4	次年月	きへ反	映						次回防	j災会 <mark>請</mark>	に向けて	の整	理							の並び! 要が あ る		整理を	行い、お	台帳と
o 🗌											事	中	i	Ŧ	価										
=												境の変化	今	成	拡	冇	2			2		⑤	レ	7	
-	市お	計画	凶に危 所を#	「険箇」	サをき ていま	客とし ればよ	て、各i いが.	班の地 その₩	図とし	ている。 比詳細な	回る班	を経験し わかりづ	後	果の	現	犬維持	‡			3		6		9	
<u> </u>	L	•						() ,	JE C.	- MI - HM - O	-9017170	1010) -	の	方	縮	/]				4		8		10	
佳	毛	地図						+ 古	舌 /35	革・改	主生生		_ `	向						4)		0		W	
理 平	成									とし込む			方	性	- 体	廃业	<u> </u>	D							
			~		•		'	_,,,,_					向		_	/	•	皆	減	縮	小	現物	犬維持	拡	大
													性	_	/			⊐	ス	۲	投	λ σ.	方	向 化	性
	=	评価年	r FF		<u> 114</u>	年度		1																	
	祷		T	妥		当		<u> </u>		有	対	性	•		交	ክ	率		性		総	合 :	評 価	判	定
氫		の観	点		2	3	4	判员	2 1	1 2	3	1 4 1	- 判定	?	1	2	3	4	半	定	140			13	~_
**		エック						4			レ		3	T						1			В		
価 課		くなる										危険箇所									の C: 定 D:	事業規の見述	見模・内 直しが必 D統合、 必要	休・廃.	施主体
C 是	頁																				前年度				10116
	頁		細		施		告		評	価		前			細		施		告		前年度評	価シー	ト整理番	号 080	1011
C	念 47 平								またい 実施			前						調査時		F確保	前年度評 評 したい	価シー 仮 。	ト整理番		10110
C H E C K) 数	念 全 平 面		年 度	協力(革	· 改	善 第	きの	実施	状 況					部署と		で、評価	調査は	計画を	を確保	前年度評評したい	^{価シー} 。 方向	性	後	10116
C H E C N	念 全 平 面	前:	年度 細	改。	革 施	· 改	時間	ŧ o	したい	状況		前	育	前年	部署と 無無	施策	で、 … 施	調査は	情間を	を確保	前年度評 評 したい	価シー の 方向	性	号 080	10116
C H E C K) 改革·	念 子 平 五		年 度 加 拡	改善	革 施	· 改	善 第	₹ <i>0</i>	実施	* 状 況 価 ⑤	ν ν	前 ⑦	育		部署と 細 拡	施策	で、 施	調査は	計画を	を確保	前年度評評したい	価シー の 方向	性	後	10116
C H E C K)改革	念 子 平 五 子 矣	前成果の	年 度 加 拡	改。	革 施	· 改	善 第	き の ② ③	実施	数 级 伍 ⑤	ν ν	前 ⑦ ⑨	育	前年成果の	部署と 細 拡	施策	で、 施	調査は	計画を	を確保	前年度評評したい	価シー の 方向	性	後	10116
CHECK)改革・改善の一条を引用している。	念 今 平 西 一 今 後 D	前成果	年 度 加 拡	改	革 施	· 改	善 第	₹ <i>0</i>	実施	* 状 況 価 ⑤	ν ν	前 ⑦	育	前年成果	部署と 細 拡	施策	で、 施	調査は	計画を	を確保	前年度評評したい	価シー の 方向	性	後	10116
C H E C K) 改革・改善の方	念 合 平 西 一 今 後 D ケ	前成果の方	年 度 加 拡 現 縮	改	革施	· 改	善 第	き の ② ③	実施	数 级 伍 ⑤	ν ν	前 ⑦ ⑨	f	前は成果の方	部署と 無知 拡現 線	施 策	評価 施	調査は	計画を	を確保	前年度評評したい	価シー の 方向	性	後	10116
C H E C K) 改革・改善の方向!	念 合 平 西 一 今 後 り 与 句	前成果の方向	年 度 加 拡 現 縮	改	革施	• 改	善 第	き の ② ③	実施	数 级 伍 ⑤	ν ν	前 ⑦ ⑨	f	新 成果の方向	部署と 無知 拡現 線	施 策	評値	調査は	計画を	を確保	前年度評評したい	価シー f f	性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	後	大
C H E C K) 改革・改善の方向性() 編 合 語 価 今 後 の 方 向 性	念 合 平 西 一 今 後 り 与 句	前成果の方向性	年 知 拡 現 縮 休	改	革 施 た	① 皆	善等策	② ③ ④ 縮ト	実施かり	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	レル維持	前 ⑦ ⑨	<u></u>	前 成果の方向性 人	第署と 無額 が <th>施 策</th> <th>施</th> <th>調査に ま</th> <th>持聞を ※</th> <th>る今</th> <th>前年度評 評したい 後の 評 小 投</th> <th>画シー f f f f f f f f f f</th> <th>性した</th> <th>後 後</th> <th>大</th>	施 策	施	調査に ま	持聞を ※	る今	前年度評 評したい 後の 評 小 投	画シー f f f f f f f f f f	性した	後 後	大
C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION) 無 合 評 価 (合 後 の 方 向 性)改革・改善	念 A 平 西 一 今 後 D 与 句 生 女直 - 女喜	前成果の方向性を	本日 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	状維持が廃し	本 施 た	· 改 ① 皆	善等策	② ③ ④ 縮ト 東を作	実施評・小	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	レル維持	前 ⑦ ⑨ ⑩	有	前は果の方向性は危機が	部署と 無土 無土 無土 無土 無土 無土 無土 無土 無土 無土 無土 無土 無土	施策 大維持 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で、 評価 施 に に に に に に に に に に に か に に に か に に か に に か に に か	調査を開発した。	情間 らけ 策 減 変 が 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	を確保る今日をおいています。	前年度評したい 後 評 小投する	画シー f f f f f f f f f f	性に対ける場合を関する。	後	
CHECK)改革·改善の方向生(ACTION)	窓 介 平 田 一 今 後 り 与 句 生 女直・女善度	前成果の方向性を	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	水米維持が廃し、	で、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 改 ① 皆	善策	② ② ③ ④ 編ト作。	<u>実施</u> か 投する	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	維持方で	前 ⑦ ⑨ ⑩	有	前は果の方向性は危機が	第 度 細 拡 現 縮 休 所年よ	施策 大維持 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	評価施	調査を開発した。	情間 らけ 策 減 変 が 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	を確保る今日をおいています。	前年度評したい 後 評 小投する	画シー f f f f f f f f f f	性に対ける場合を関する。	号 080 後 人 人 人	大

事	務事	集名	消防団運営	事業											事業期間	平成		~		年度	整理番号	10010101
担	当部	署	企画総務部			消	防課				消防係	Ŕ			作成担当	者名	篠	原	其	=	連絡先	678
			プランに 位置づけ	有	政分	策体	系	政 施 細が		05 05 04 01	第5章 第5節 消防体	ち 災 に制 の	害に強	い、安	ある高原 全で明る			J				
Ħ	予	質	事業名	消防	団運	世書		7-10	T A	_ <u> </u>	ALI MATE		- DI T			会計	コード	00	款	09	項 01 目	02 事業 02
画	事	務事	業の概要 hかりやすく)	消队	団の	互助:	会や4 方学	各分団 交入校	の運営 事業。	費の	支給、	福利原	₹生の₹	事業。		1		1 **		1 1	<u> </u>	
	現(状ど	と 背 景うして)	消队公务	団員 影災害	に消ゆ	方学村		校して		い、団! らない。		しての	基礎知識	を習得し	てもら	5 5 .					
	目	対	受益者		団員																	
P		象	対象(直接働きかける)				+ 2 +	5 H/M	経費か	化水面												
	的	(どん	意図 な状態にしたいか)	消防公務	团員 災害	として対し	ての ? し補(舌動に 賞する	対する 。	知識	の習得。	•										
A	手 (方法やって)	消队公司	学校 8災害	に入れ	交しまして補作	基礎知	支払う	得し	支給。 消防団	員 とし	して活	助しても	65							
			行政活動の	結果	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・討	算式	目标	票値部	定のを	きえ方など	最終目標値
N		活動	消防学校入	交						入校	者数			人	訓練礼 性消防	式科 5 隊科 1	人ラ: 名	パ科	5人	操法科	20人女	31
	価指標	指標																				
_	作の作成	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・討	算式	・目标	票値割	定のす	考え方など	最終目標値
	以	果指	福祉共済請認	求						福祉	共済交付	寸率		%	請求人	数/交付	寸人数	× 100)			100
		標																				

		B	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算	平成29年度
		1	–	1777 - 172		172 7 12	又は決算額)	事業計画(予算)
		(a)	円	5, 800, 100	5, 697, 000	6, 383, 304	5, 981, 490	5, 967, 000
貝	★ 国庫支出	金	円					
実	ฐ│ 県 支 出	金	円					
7	_ 地 万	債	円					
	[ての他特定期		円					
ī	/JX 77]	源	円	5, 800, 100	5, 697, 000	6, 383, 304	5, 981, 490	5, 967, 000
施罪	雅	員	人	0. 38	0. 38	0. 38	0. 38	
į	嘱託職	員	人					
**************************************	, 品 時 職	員	人					
状		計	人	0. 38	0. 38	0. 38	0. 38	
	対象(者)	数						
		(b)						
		(b)	円	_	-	_	_	-
況	受益者負担	額	円	100.00	100.00	111 00	100.00	100.00
_	市民一人当たりのコス		円	103. 00	102.00	114. 00	108.00	108.00
	2 44 44 44	目標	人		32	31	31	31
	入校者数	実績			32	31	31	31
7	手	達成率	%	_	100.00	100.00	100.00	100. 00
重	л	目標実績	_					
重	i _	達成率	%	_	_	_	_	_
D #	—	目標	90		_		_	
	_	実績	-					
		達成率	%	_	_		_	_
0		目標			100	100	100	100
Б	^戊 福祉共済交付率	実績	%		100	100	100	100
月	E	達成率	%	_	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00
· · · · ·		目標			100.00	100.00	100.00	100.00
U d	<u> </u>	実績	_					
12		達成率	%	_	_	_	_	_
I:	±							
仿								
#	⋚							

			访団運営	事業		l sale m	4.00			Lvar	nt er					美期間			~			度	整理番号		10101
		3 署 企	画総務部				方課			泪	防係		- /-		作的	过 担当者	名	篠	原				連絡先		678
	期			E	目標							美	績								誀	見 是	且		
四	第 1 期		け金の送 校入校(を給準	满 。				付完了 (法科)		入核	ŧ		;	操法等	訓網	によ	る公務	災害	が発生し	こている	5.
	第 2 期		費の支給 の請求準		i.					営穂の 学校入		備訓網	礼式	科及	び女性	生消防 隊	*	操法等	訓網	によ	る公務	災害	が発生し	している	6.
期ご	3		の請求事 校入校(記		礼式科	及び女	性消	方隊			、校訓! は入材		科。女	で性対	肖防隊	科は都		消防学 のが難			性消防	方隊和	料に入校	していた	ただく
ے	第 4 期	消防団 部長以	互助会総 上会議の	会の 実施	実施				消防師部長」	団互助 以上会	会総 議の	会の実 実施	施					消防学 のが難			性消防	方隊和	半に入校	してい	ただく
Ø											事	中	評		価										
			台後、約 の公務災										今	成	拡	充				2		⑤		7	
管	宋江	A DI I 和水 P寸	いム物外	. .	・元工4	+÷W·(□)	ى رن. ن	火土官	~포V/1	K NEW Y	心安。		後	果 の	現場	弋維持		*****		3		6	レ	9	
_														方	縮	小				4		8		10	
188			年度の実											向 	休」	廃止	1)							
	来年い。	F度消防	学校入校	(操	法科)	こ制限	がかか	り全て	の分団	からフ	人校で	きな	向	-			뒽		減	縮	小	現	状維持	拡	大
	• •												性	_	/		-		ス	<u>۱</u>	投		の方	向	
							1							_											
	_	評価年月			当年度		.heL				- 1	Jul			4.1	_		ılı.			(I)	^	=a: /m	- vlat	_
	初 証析	見 点 画の観点		妥 2	当 3	4	性制質	₽ 1	有 2		効 3	性 4	判定	-	<u>対</u>		率 3	性 4 I	E 判》	÷	総	合	評価	判	定
評		ェック			<u> </u>	1	4	<u>- </u>		· '		7	4	1	'	_		7	4				Α		
		女性消	防団員が	少な	いた	が消防	学校女	性消防	隊科人	校が	難しし	١,				<u> </u>		!		1	記 A		可どおり事 「適当	業を進	上めるこ
価	課	公務災	害0を目	指す	ために	こ訓練、	、災害	現場で	の安全	管理	が必要	₹.									号 B	: 事業	の進めた		
1,000	₽ ^																				定	の見	┊規模・戍 見直しが必	必要	
^	題																				義 D		美の統合、 「必要	休・廃	産止の検
С	2																			-			評価判別		Α
н			細	施	E	策		評	個		前				細		施	4	衰		前年度評		一ト整理都 価	後	
	総	訓練時	和 の公務災				<u> </u>	āΤ	Щ	4	BU		訓	練時		5災害 <i>が</i>				•	ПT		ТЩ	妆	
E	合																								
С																									
	評																								
K	価																								
)		前年	度改	革	• 改	善角	き の	実 施	状 涉	7			前	年	度 細	施策	平価	にお	ける	る今	後の	方向]性		_
改	今		細	施	Ē	策		評	個	ī	前				細	į	施	Ś	衰		評		価	後	
革・	′	成	拡	充			2		⑤		7			ţ	拡	充									
改		果の	現状維	持			3		6	レ	9		9		現状	比維持							V		
善の	ර †	方	縮	小 小			4		8		10		7	5	縮	小									
方向	方	向 性	休廃		1						3		 性			 廃 止									
向性	向	_	11. 156	_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡	<u></u> ナ		-	ri* i		Ę	当 ;	減	縮	小	Ŧ		拡	
Н	性					コス	١ ٢	投 .	入の	方	向	性		_	_		ı	⊐	ス	۲	投	入	の方	向 性	±
A	改		害の発生 実施をし				各分	団訓練	等での	安全	管理、	準備	運公	務災	害の発生を	き生を》 として:	あっ	すため	E,	各分	団訓網	等で	の安全	管理、	準備運
C	革	-W 47' U/:	天地でし		, -J , J ₀								30	4V)	大心で			<i>,</i>							
I	· 改																								
0 Z	善善																								
O.	策																								
最終	*評	価年月	日平	成29	年5月	19日	最終	冬評(価 責	任者	当				消	防課長							東城	源	
		//	•		/ .		-A T		,						*171								A14.634	*****	

事	事務事業名 消防団活動支援事業													事業期間	平成		~		年度	整理番号	10010102	
担	当部	署	企画総務部			消	防課			消防係					作成担当	作成担当者名 篠				原 真 二 連絡先		
			プランに 位置づけ	有	政策	策体	系	政 施 細 旅 事務	策策策	05 04	第5章 第5節 消防体	が数	害に強 充実		ある高原 全で明る(J				
計	予	算	事 業 名	消取	団活	動支担	賽事 事		T A		717 NJ 14	4714	100 101 21	(10+*		会計	コード	001	款	09 I	頁 01 目	02 事業 03
画	消防団の負担軽減の検討。 適防団活動を中全に行える。 消防団の負担が大きいためその経済を図る																					
			と 背 景うして)	ポン	ノプ操	法大约	会にと	出場し	上部大	会を目	指す	ことっ	で、技1	めその軽 術の向上 上を図る	- 士気の	高揚が	(望め	る 。				
	目	受益者 消防団員																				
P		象対象(直接働きかける)																				
	的 意図 消防団員が活動中に安全で安心してできるようにする。 消防団員が、正確かつ安全で迅速な消火活動の成果として上部大会に出場する。																					
活動服の貸与。																						
			行政活動の約	丁政活動の結果からつくりだすものは何?							標	名	称	単 位	算出方	法・討	算式	・目標	值設定	この考	え方など	最終目標値
N	評	活動	活動服整備	舌動服整備							ι		-	人	貸与者							949
IN	価指	指標	防寒ジャン	寒ジャンパー整備						貸与数人			人	貸与者数							949	
J	標 の																					
	作成	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・討	算式	・目標	値設定	三の考	え方など	最終目標値
	以	果指!	出初式参加	首						出初式	参加图	<u>k</u>		%	出初式参加者数 (967-132残留人) /835×100							100
		標																				

						1			
	J	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	1	事業費等	(a)	円	3, 340, 000	4, 134, 000	2, 571, 025	16, 543, 830	2, 614, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
\sim		地方	債	円					
	内	その他特定財		円					
	訳	一般財	源	円	3, 340, 000	4, 134, 000	2, 571, 025	16, 543, 830	2, 614, 000
施	TI-bb	正規職	員	人	2. 06	2.06	2.06	2.06	2, 011, 000
	職	属託職	員	Ĵ	2.00	2.00		2.00	
	員	<u></u> 臨 時 職	員	Ĵ					
	数	合	計	Ĵ	2. 06	2. 06	2. 06	2. 06	
状		対象 (者)	数		2.00	2.00	2. 00	2.00	
-			(b)						
-			(b)	円	_	_		_	_
況		中 四 	額	円					
<i>11</i> 6		<u> </u>		円	59. 00	74, 00	46, 00	298, 00	47. 00
-		73777	目標			7 00	940	949	949
	活動	貸与数	実績	人			940	949	949
$\overline{}$		~~~	達成率	%	_	_	100, 00	100, 00	100, 00
			目標	-				949	949
		貸与数	実績	人				949	949
			達成率	%	_	_	_	100.00	100, 00
D			目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	%		100	100	100	100
	成	出初式参加率	実績	70		92	94	95	95
	果		達成率	%	_	91. 98	94. 01	95. 00	95. 00
	果指		目標						
	標	_	実績	_					
	1-3-		達成率	%	_	-	_	_	_
	備	平成28年度消防団防寒ジ	ヤンバ	「一購」	〜 967着×@13	3, 176円			
	考								

	事務事業名消防団活動支援事業												事業期間 平成 本度 整理番号 10010											
担当部署 企画総務部 消防課 消防係													11	成担当	者名	篠	原	<u>Į</u> =		連絡先	67	/8		
	期 目標 実																	語	果題	į				
				-												DAN KZS								
	第				A 24 H				- mw							団員の負担軽減について随時検討が必要。								
四	1 期	茅野市村	ドンフリ	法大:	芸準備	•		7	野巾不.	ンプ操法	小长!	Uπ	代表か	犬疋		団貝の	担料	に減につい	いて随	時 梗 討刀	心要。			
	州																							
半	第	団員の負	担軽減	載に向	け事業	終了後	とに見直し	」を 調	訪地区	ポンプ操	法大会	・ラ	・ラッパ吹奏大会でラッ											
_	2	行い次年	F度の記	一画に	反映す	る。				部が優勝						団員の値	担朝	滅につし	ハて随	時検討か	《必要》			
	期	防寒ジャ	אטי	の購り	人华順				担軽減 警日数	について の滅	いカロ	1大学	でで	āT										
期										-7 494						+								
							とに見直し				、分団	長会	護で検	Ħ										
		行い次年	F度のi	+画に	反映す	る。			警日数	の滅 防寒ジャ:		±#=				団員の負担軽減について随時検討が必要。								
ij	期							- -	四貝へ	の本ンで	<i></i>	Z	. •											
	第 団員の負担軽減に向け事業終了後に見直しを 会担軽減について 公田長																							
ع													護で検	া		団員の値	相解	滅につし	ハで随	時検討か	《必要》			
ے	期															団員の負担軽減について随時検討が必要。								
	Н									-tr	_	===	huc											
Ø	.15.6		*** **				±=1			•	中	評	価											
							新たに生				发化		成 拡	充	;		2)	⑤		7			
	冶剪	別収の資	チについ	いく補	元、スト	マツグ等	について	い検討	か必要				果 ·········· の 現	現状維持			3	3		レ	9			
管													→						6	-				
												U)	ク 向	小			4)	8		10			
理	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)									策)				廃止	. (1	D								
	編み上げ安全靴の採寸時期についても検討が必要。											向			_ I	当 源	技 統	計 小	Ŧ目、	 状維持	拡	大		
													_		ŀ	コス		-						
											性				7	・投入の方		n n	向 忺	性				
	-	评価年度		<u>M</u>	4年度		1																	
	_						ᄔ		+	÷L	性			 L		性		<i>6</i> //\	^	= π /π:	shi	_		
	視点 妥 当 性 有 効											/II —	1	効	率		VII	祁	総合評価判定					
評									3 4	+	钊定	- '	2	3	4 判定			A						
		エック					4					4					4		=1		ML -L 14.			
		消防団剣	の負担	旦を軽	滅して	いく	必要があ	る 。										記る		どおり事 適当	業を進め	めるこ		
価	課																		: 事業	の進め方				
imi	卟木																	の C 定		規模・内 直しが必		施主体		
~																			: 事業	の統合、		止の検		
	題																	前在自	計が	必要 評価判定	,	_		
С																			~	- 卜整理番		Α		
н	\vdash		細	施		策	評	;	価	前			細		施	策		評		価	後			
	総						売き検討					224						計 検討する			1交			
Е	1,10	AH IV) EU S	「見い見る	三千土 #实	,I = H] I /	2164		7 60 80	3€ 10.00%	۰ د		/191	の国員で	人员担牲	1961~	M17 71 C	49G C	י ל נים אלו	S POPE	ທ.ໝ.໑.				
	合																							
С																								
	評																							
K	価																							
\smile	Ш	前 年	度改	革	• 7⁄5	姜笋	この 実	施业	:			前	年 使 4	用施等	評価	i におり	ナス	今後の	方向	性				
74												נים						今後の方向性						
改革	今		細	施	1	策	評		価	前			細		施	策		評	- 1	価	後			
	後	成	拡	充			2	Œ	5)	7		Fi.		充										
改善		果の	現状約	掛			3	Œ)	9		- J		状維持						V				
	の	。 方						i		j <u>-</u>		7	······											
の士	方	向	縮	小			4	(8	ע	10		ſ	j ¹⁹¹											
力	向	性	休 廃	止	1							性	· 甘	廃止										
の方向性	性	上							大					皆 減 縮 小 現状維持 拡					拡	大				
$\widehat{}$	注						ト担			向性			コスト投入の方向性											
A	改	ポンプ	≹法の4	予地区	大会の	運営	こついて	検討が	必要。			ポ	ンプ操え	の各地	区大	会の運営	につ	いて検討	すが必	要。				
C	革																							
T																								
0	改																							
) Z	善																							
	策																							
	策	価年月日	=	r clt oo	年5月1	0 🗖	最 終	<u>=</u> 1==	害に	李				肖防課長				T		東城	ie.			

平成28年度事務事業評価シート (一般事務事業用)

事系	务事等		消防団	加入化	建	事業										事業期間	平成		~		年度	整理番	引0 0	010103
担	当 部	署	企画総	務部			洋	防課				消防係	Ķ.			作成担当	者名	篠	原	其	=	連絡先		678
	市おり	民 ナる	プラン 位置つ	・にづけ	有	政贸	策 体	系	施 細 が 事務		05 04	第 5 章 第 5 章 消 防 6 消 防 6	市 災 本制の	と 注字に う 充実		ある高原 全で明る)					
計	予	算	事 業			団加.												コード					02	事業 04
画			· 業 の 根 ^{わかりやす}	既要	住民 退団	:の安: 者へ	全安の報	ひを5 賞金の	守る消 の支給	防団の 、記念)重要性 は品等を	iをア i贈る	ピー <i>)</i> 。	ルし消	防団員募	集パンプ	ソレッ	トを作り	求し入	団の事	集を	行う。		
			と 背 うして	京	サラ る。	リー	マン	可員(の増加	に伴い	八、消防	団員	の確何	保が難	しい。そ	のため、	パンフ	フレッ	トの作	成や幸	设賞金	を支給し	確保に	役立て
^	目	対	受益(誰のたる	カに)	消防	団員																		
P		象	対(直接働きが	象 ハける)																				
	的	(どん	意 区	[]							るを確保													
L A			・ 方 やって	法	LCV- 消防	-FM/=	よる 力事	消防日 業所で	団活動 を増や	の紹介)作成∜ ↑。消散	ち団サ	種行 ³ ポー	事で消 ト事業	i防団をPi cへの協 <mark>制</mark>	Rし加入仮 t店舗を増	進する やす。	5.						
			行政活動	動の約	ま果7	からつ	くり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	値設定	定の≉	きえ方な	ビ 最終	目標値
N		活動指	退職報	賞金							支給率	<u> </u>			%	支給し	た人数	÷支約	人数	× 100				100
	価指標の	標																						
	作	成	成	果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	十算式	・目標	值設定	定の≉	きえ方な.	ど 最終	目標値
	成	果指標	団員数								充足率				%	実員数	÷定数	× 100						100

	J	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円	3, 340, 000	4, 134, 000	24, 759, 789	17, 260, 304	25, 912, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
		地 方	債	円					
	内		源	円			21, 378, 000	14, 593, 000	20, 974, 000
	訳	一 般 財	源	田	3, 340, 000	4, 134, 000	3, 381, 789	2, 667, 304	4, 938, 000
施	職	正 規 職	員	人	2. 06	2. 06	1. 50	1. 50	
	員	嘱託職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	2. 06	2. 06	1. 50	1. 50	
7		対象(者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	59.00	74. 00	444. 00	311.00	468. 00
			目標	%	100	100	100	100	100
		支給率	実績	1.7	100	100	100	100	100
	活		達成率	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	-	_	_	_
	יזגו		目標	_					
		-	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	-		目標	%	100	100	100	100	100
	成	充足率	実績		97	98	97	98	98
	果		達成率	%	96. 79	97. 93	97. 21	98. 00	98. 00
)	指		目標	_					
	標	-	実績	0/					
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								
	7								

事務	事業	業名	防団	加入促	進事業									事	業期	間 平月	戓	^	~	年月	度 整理	里番号	10010	103
担当	当部	『署 ₫	と 画総	務部		消	方課			消防値	系			作	成担的	当者名	篠	原	į	=	連	絡先	67	8
	期				目相	Ē.					事	:	Ī							課	題			
四	第 1	退団	きへの	一の集 記念品 確保96	十 準備	K			退団記念	念品配	の集計終	7					消防	可員(の確保	が難し				
半期	2 期	サポ- 退職	ート店(報 賞 金	回りに。 の募集と 請求準	:団員居 備。	知		開始	サポート 頼	・店の事	りによるL 募集と団 求をし支	見周知	112	分団長			広報 ^会 口座	等して 振替化	こいるが 衣頼 <mark>書</mark>	が団員で の提出	確保に が期限	と と と ない と ない と は ない と は ない と は り に と り に り に り り に り り に り り に り り に り	ない。。 出てこな	ıv.
		退職	報償金	の募集総 支払 員募集			頼		退職報	賞金請	求をし支	払い	終	7.						が団員の確保に				
٤	第 4 期	来年月	隻の団	員募集	につい	で検討			ホーム	ページの	の維持管	理。					ホーム	ムペ ー	ージが	確保に	つながれ	ればい	い。	
Ø										事	中	ř	F	価										
,							新たに	こ生じ	た問題点	や環境	竟の変化	今	成			充			2		⑤	レ	7	
	北山	山分団	白樺湖	部の今	後につ	いて						後	果の		状維:	 持			3		6		9	
管												o o	方								8		10	
		*	r左曲	<u>Ф</u> #	-=1 727	7 44 #		·K /76	₩ 76	¥ / \		-	向]		小			4		0		W	
理		韦	「千茂	の美施	計画。		长 水争。	貝(以	革・改善	普 東)		方	性	· 休	廃.	止 (D							
												向					皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大
												性	_	/			⊐	ス	۲	投	入の	方	向 性	ŧ
		評価年			当年月		1																	
	裑		- 及	妥	<u> </u>		<u> </u>	T	有	効	性		- 1	-	効	率		性		総	合 評	4 価	判	定
		五の観	占	女 1		1 4	判定	2 1	1 2	3	判定	,	1	2	3	4		定	形心	合 評	- 1W	十リ	止	
評		エック		1 2		7	4	- '		4	+	'		- 0	7		4			Α				
				て、サ	ポート	事業を	実施し	たが団	員確保に	しい						<u> </u>		A :			業を進め	りるこ		
														記 ´` 号 _R .	とが適		に改善が	(心亜						
価	課															- 1	の c :	事業規	模・内	容・実施				
<u> </u>														定 義 D:	の見直事業の		要 休・廃』	Lの検						
	題												.~	討が必		, I								
С																		_	前年度評			_	4	
н			細		施	策		評	価		前			細		施		策		評	価		後	
	総	消防							するが異			行	· 事		しも		ている	717	員負	担軽減				
Е		行事(の見直	しも検	討して	いるが	司様で	ある。																
С	合																							
	評																							
K	/ 																							
)	価	前	年 度	改革	. 2	7 盖 🤄	ŧ Λ	宝 施	状 況			-	ifi 1	宇 唐 糾	抽色	套 証 右	Hi /- ‡	: 1+	ス合	後のこ	方向性	ŧ I		_
⊒kr		13.3									前	+	,,		1 // 2								14.	
改革	今		細		施	策		評	価				_	細		施		策	:	評	価		後	
	後	成果	拡	充			2		5		7		成果	拡	3	充								
改善	の	の	現	状維持			3		6	レ(9		の	現	状維持	寺					L			
の	方	方向	縮	小			4		8	(10		方向	縮	1	/ \								
方		性	休	廃止	(1)								性	休	廃」	Ŀ								
向性	向				皆	減	縮	小	現状維	持	拡 ナ	\exists					뱜	減	縮	小	現状	維持	拡	大
性(性		_			<i>"</i> %			入の		」性	`				l		<i>"</i> ス		投力	:			, (
Α	改	茅野市	节消防	団ホー	ムペー	ジの充	実。消	防団サ	ポート	業への	の協賛店			市消防						u			e alla e e	
C	革	を増り	Pす。											団サポ が団員							県とし	ても	業を立	ち上
T I	•											- [''	-	W DEL PR	HPL PT	- 50 11	J C1	/ 10	. ∪ <u>X</u>	•				
0	改																							
N	善																							
	策																							
最終	冬評	価年丿	月日	平成2	29年5月	19日	最 終	評	西 責 任	音者				Ä	防課	長						東城	源	
		「													_									

事務	事業	名	消防施設・フ	水利	整備事	業										事業	期間	平成	Ž.	~		年月	度 整	理番号	100	010104
担当	当部	署	消防署			洋	防課				消队	方係				作成	担当	者名	篠	原	真	=	;	連絡先		677
			プランに 位置づけ	有	政策	策体	系		策 策 施 策 務事業	05 05 04 05	第5	5 節 5体制	災害 の充	に強 実	らぎの い、多 維持管	全で	明る!			h						
計	予	算	事 業 名		施設														· – – I					01 目		事業 01
画	事務	多事 ポート	業 の 概要 ゕ゙゙゚゚゚゚ゕゕ゚゚゙゚゙゙゙゙゙゙゙゙゚ゕ゚゙゚゚゚゙゚゚゚゙゚゚゚゙゚゚	槽)	を設	置及	び消収	方团员	【に維持	诗管理	を委	託して	ている	5.	な初期: 補助金										全・関	火貯水
			と 背 景	近生消	F、宅 持有効 抗施設	地造 に消 等の	成や(f 火活動 充実 <i>(</i> f	主宅 りが りた	建築の うえる。 りに、	増加に よう維 補助金	伴い 持管 を交	、消防 理を行 付して	方水利ラって	りのな こいる ら。	ない場i る。	所があ	る。	適切	な位置	に消り	火栓と	:防火	貯水	槽を設け	tl.	火災発
•	目	対	受益者	市民	自治	<u> </u>																				
P		象	対象 (直接働きかける)	Δ.	H / B	*																				
	的	(どん	意図な状態にしたいか)		水利 施設					漕)の	充実	を図り	J • ii	正	は維持り	管理に	より	有効	舌用で	きる	犬態に	する	0			
L A			・ 方 法 やって)	消防消防	水利	が充めが消	足され 防水和	れて 利の点	いない	箇所は実施し	、区	• 自治	会に	消	设置す 防水利 修繕及	設置に	つい を迅	て呼(速に	び掛け 行う 。	*3 .						
			行政活動の約	吉果:	からこ	つくり	だす	もの	は何?	指	1 模	票 名	3 1	尓	単化	立 算	出方	法・詞	†算式	・目標	票値言	殳定の)考え	方など	最終	目標値
N		活動	消火栓の新記	没を	計画す	トる				新設	消火	全計画	数		基	新	没消:	火栓計	画数							6
	価	+15	消防水利点	食数						点検	基数				基		公設	肖火杉 防火門	(24) 水槽	33基) 数(32	25基)					2, 758
)	·標 の																									
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	1 標	票 名	3 F	尓	単化	立算	出方	法・言	†算式	・目標	票値言	役定の)考え	方など	最終	目標値
	成	果指	消火栓を新	2設	置する	5				新設	消火	全設置	率		%	設情	置数	/計画	数×10	00						100
		標	消防水利(ク を常に使用 ^っ					火貯	水槽)	修繕	・補信	修実施	率		%	修	善・	補修基	数/修	繕・	補修业	必要基	数×	100		100

26年度 平成27年度 平成29年度 スは決算額) 平成29年度 マル29年度 平成29年度 マル29年度 マル29年度 マル29年度 マル29年度 マル29年度 マル29年度 マル29年度 マルス・ション・マルス・ション・マルス・マルス・マルス・マルス・マルス・マルス・マルス・マルス・マルス・マルス	平成26年度	平成25年度	単位	目	項
18, 749, 762	18, 749, 762	16, 276, 520	円	業費等(a)	事
			円	国庫支出金	財
			円	県 支 出 金	源 _
			円	地 方 債	内
			円	その他特定財源	
	18, 749, 762	16, 276, 520	円	一 般 財源	訳
5. 80 1. 00 1. 00	5. 80	5. 70	人	正 規 職 員	職
			人	嘱 託 職 員	員 -
			人	臨 時 職 員	
5. 80 1. 00 1. 00	5. 80	5. 70	人	合 計	数
				象 (者)数	刈
				利用(者)数(b)	延
	_	_	円	位 コ ス ト (a)/(b)	単
			円	益 者 負 担 額	受
335.00 344.00 398.00 407.00		290. 00	円	ミー人当たりのコスト	市
6 6 6		9	*	目標	
6 6 6	-	8		設消火栓計画数 実績	*
100.00 100.00 100.00 100.00		88. 89		達成率	活 _
2, 746 2, 753 2, 758 2, 758		2, 732	基	目標	動
2, 746 2, 753 2, 758 2, 758		2, 732		検基数 実績	動指
100.00 100.00 100.00 100.00	100.00	100.00		達成率	標-
				目標	1275
				実績	-
		_		達成率	
100 100 100 100		100	%	目標	<u>_</u>
100 100 100 100		100		設消火栓設置率 実績	成 :
100.00 100.00 100.00 100.00		100.00		達成率	果
100 100 100 100		100	%	目標	指
61 60 65 65		69		に	標
61. 00 60. 00 65. 00 65. 00		69. 00		達成率	
託料」が加わっている。	管理委託料」が加わ	助金」と「消防施設	関する神	予算には「消防施設整備に関	備 2

		業名 消防		水利	整備事				Laste					事業期			~		度 整理番号	10010104
担:	当部	署消防	署			消队	方課		消	防係				作成担	当者名	篠	原	<u> </u>	連絡先	677
	期			E	標						実	績						課	題	
四	第 1 期	区•自治 書送付。					の決定证	五知 区	፟፟፟፟【•自治会· ፟፟፟፟፟፟፟፟፟	への消防 団との委	施設等	等補約終	助金 <i>0</i> 了。	の決定通	知書	消火栓	等の設	置要望か	《予算以上に	あり苦慮す
半期	第 2 期	各分団で 区・自治	での消 会の神	火栓点 輔助金甲	検実施 申請事	i 務			肖火栓点棱 ☑•自治会(申請	事務	実施			消火栓	等の修	繕や要望	望があり苦慮す	⁻る。
₹ 1	第 3 期	各分団で 区・自治	きの消: 会の神	火栓点 補助金	検実施 申請事	i 務			肖火栓点榜 ☑•自治会(申請	事務	実施			消火栓	等の修	繕や要望	≧があり苦慮す	⁻శం
٤	第 4 期	各分団で 区・自治	での消 会の神	火栓点 輔助金	検実施 申請事	i 務			肖火栓点検 【・自治会(事務	実施			消火栓	等の修	繕や要望	≧があり苦慮す	⁻శం
_O										事中	þ	評	個	5						
									問題点や		化』			拡	充		2	l	5	⑦
									なできてい ·応に苦慮			, :	果	現状維持	 娃		3		⑥ レ	9
管	小連	の本書が	J•/omi	mb/T/	子い・地口	ひから	の安主ル	נא ה כסי	心に古思	9 6 0.			"							_
											0	_	// 向	縮	小		4		8	10
理	+								・改善策		7	5	性	休廃.	止($\mathfrak D$				
	要。	消火性の	り惨理	サルル	えてき	ている	。計画的	川〜洞火	栓の取り	受えか 必	[i	句				皆 ;	或 縮	小	現状維持	拡大
											th:	生				_	スト	· 投 .	入の方	向 性
													_							
	_	评価年度	Ę		当年度															
		点		妥	当		性			効	性			効	率	性		総	合 評 価	判定
評		師観点	1	2	3	4	判定	1	2	3 4	+	定	1	2	3	4	判定	4	A	
		ェック	al rate aby	# T =	/n -= +=	114984	4	* + '#	は フ が 帯	12 + 7		4 	Park de 4	A 72. 70.3	2.4T //-	286 ala 444 /	4	ΙΛ.	: 計画どおり事	*************************************
		海の小で	りいて	安小司 、水道	管布部	替え	だして手 C事に併	来で進せて取	める必要 替える必	かめる。 要がある	71		「計画)		54716	/月八代 (k350	記	とが適当	
価	課																-	: 事業の進め方 : 事業規模・内		
																		定 義 D:	の見直しが必 事業の統合、	
	題																	72	討が必要	
С																			「総合評価判別 「価シート整理番	_
н			細	施	.	策	割	F .	価	前			4	a	施	Ħ	<u> </u>	削平度計	価シート登理角	^万 後
	総										自治	Ţ,								る。区・自治
Е	^	会の要望	ૄと地:	域の実	情にあ	うわせが	:消防水	利を設	置するこ	とにより	、火	会	の要望	と地域	の実情	にあわ	せた消	防水利を	設置すること	とにより、火
С	台	災策生権		有効な	彻州准	火及(} 消火活	馴ぞ9	る必要か	<i>ත ත 1</i> = ¢.	种税		充生時 て行う		初るも	別別八人	又ひ消	火活動を	する必要があ	りるため転続
	評											•								
K												ĺ								
)	価	前年	度改	女 革	. ⊋h	盖 4	きの 実	旃巾	犬 況			盐	年 帝	細体等	新 10 1	ボルか	け ス・	今後の	方向性	
改			細	施		策			価	前		0.0		州山 710 2	施	<u> </u>		評	<u>価</u>	後
革	今				s 	ж										Я	•	AT.	іш	122
- 	後	成 果 ^{·····}	拡	充			2		5	7		月	Ĩ		充				_	
改善	の	の	現状	維持			3		6) レ	9		0)	現状維持	守				V	
の	方	方 向	縮	小			4	(B	10		ブ 点		縮	'J\					
方向	向	性	休廃	赴	1	***************************************						性		休廃.	上					
性	性				皆	減	縮	小	現状維持	拡	大					皆 派	或 統	诸 小	現状維持	拡大
~					и -	コス		殳 入		向 性		بـا		P.I. A				ト 投 .		向 性
A C	改	火災から 要望によ			体・財 情を図				る。区・ ながら消					「生命 り地域	・身体の実権	・財産」 『を踏ま』	を守 え関係		ある。区・E しながら消収	
T	革	する。ま	たた。	有効な	水利か	ない			水利の設			す	る。ま	た、有	効な水	利がなり	ハ地域	を調査し	、水利の設置	が可能か、
I		区・自治引続き消					を実施し	、継続	して維持	管理を行	٠ ٥ ٠	区	・目治 読き消	宏関係 防団昌	有と協 による	議する。	をを実	施し、釧	続して維持領	連を行う 。
	改 引続き消防団員による水利調査を実施し、継続して維持管理を行う。 引続き消防団員によ 軽微な修繕及び補修は署員が実施し、コストを削減を図る。 軽微な修繕及び補修																			
()	策																			
最終	冬評	価年月日	3 3	平成29	年5月1	9₿	最 終	評価	責任者	<u> </u>				消防課	Æ				東城	<u></u>
~~ /I	, H1	/ / 1			/41		, i.	~, jm	~ <u> </u>	-				*1.4 (4.4 (4.4)					A-386	******

平成28年度事務事業評価シート(一般事務事業用)

事	務事訓	業名	消防機械整備	甫事	業									事業期間	平成		~		年度	整理番号	10010105
担	当部	署	消防署			消防調	#			消防係				作成担当	者名	篠	原	真 .	=	連絡先	677
=1.	お	ける	プランに 位置づけ	有			政 施 細 施 事務事		05 05 04 05	第 5 章 第 5 節 消防体 消防機	が	害に強 充実		ある高原 全で明る 理事業	いまち	づくり					
計	予	算	事 業 名		5機械整			sale mil			• 14 1	1 4 %	to make take data			コード				頁 01 目	03 事業 02
画	事:	務事	「 業の概要 わかりゃすく)	うに 147	二維持管 台(消配	理する fポンフ	。市民の プ自動車	の安全 [17台、	のた。 小型	め、消 ₨ !動力ポ	方団、 シプ	行政区 積載車	⊠の消防 48台、/.	機械等が	長期間ポンプ	 使用 82台)	できる	ように	二維持	管理を行う	
			と 背 景うして)	経生	F劣化等	により	活動に	支障が	ある	ものから	う更新	fしてい	いく。ま	た、長期	間有象	加活用 [·]	できる	よう絹	持管	理を適正に	□行う。
	目	対	受益者		内のすべ 5団、行		•	両及び	小型	めカポン	ンプ。										
Р		象	対象(直接働きかける)									经证明	7 th is 10	要望と併	++ 面至	6 左 行	<u>م</u>				
	的	(どん	意図,な状態にしたいか)					_ ,													
L A			・ 方 法 やって)	消队	万 団貝等	による	里	陝、栗	者にも	よる法ス	正点移	《放 び7	ドンフ点	検を実施	iL, 1	、具合 (個別が	あれに	基金 備	উ	
			行政活動の組	結果	からつく	りだす	トものは	何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目標	値設定	定の考	きえ方など	最終目標値
N	評	活動的	ポンプ点検(の実	施				ポンフ	プ点検写	【施台	数	台		坊ポン	プ・ル	∖型動:	カポン			147
	価指標	指標	不具合箇所	を早	急に整備	する			整備和	静 率			%	整備箇	听/不	具合智	m×1	00			100
<u> </u>	の作成	成田	成 果ポンプ車両					?	指			称									最終目標値
	19.	果指標	強化する。	C X	を	- C I ~ d	トッ/FIVI	111E	車両夏	更新達 成	本		%	更新車	両数/	20年以	以上 経	過した	ポン	プ数×100	100

								正式 0.0 左左 / 2 左	
	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	Į.	71 20 3	(a)	円	10, 860, 432	13, 646, 845	9, 750, 193	6, 025, 206	5, 700, 000
	饵	国 庫 支 出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	田	5, 300, 000	13, 400, 000	6, 000, 000	2, 900, 000	1, 600, 000
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	5, 560, 432	246, 845	3, 750, 193	3, 125, 206	4, 100, 000
施	職	正規 職	員	人	0. 26	0. 35	0. 35	0. 35	
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 26	0. 35	0. 35	0. 35	
	7		数						
	3		(b)	_					
	È		(b)	円	_	-	_	_	_
況	Š		額	円	100.00	044.00	175.00	100.00	100.00
	_	5民一人当たりのコス		円	193. 00 147	244. 00 147	175. 00 147	109. 00 147	103. 00 147
		ポンプ点検実施台数	<u>目標</u> 実績	台	103	103	105	105	105
		ハンノ点使失旭百数	達成率	%	70, 07	70, 07	71, 43	71, 43	71, 43
	活		目標	70	100	100	100	100	100
1	動指	整備補修率	実績	%	100	100	100	100	100
3	指		達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00
D ;	標		目標	/0	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		100	100	100	100	100
	成	車両更新達成率	実績	%	5	2	2	2	2
	果		達成率	%	4. 55	2. 33	2. 00	2. 00	2. 00
	指		目標						
7	標	_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備		<u> </u>				•		
	考								

	業名消		整備爭	莱										業期間			~		年度	整理番号	
担当的	部署 消	5署			消队	方課			消防	孫			作	成担当	4者名	篠	原	其	=	連絡先	677
期			F	標							実	績							課	題	
第 _四 1	平成28		(要望に	こより、		原田区/i の打ち合		米沢埴原	東田区				1台を開	入。配	.備	長期間等の整					極両、ポンプ
半 第 2 期	カポンプ					部区小型)打ち合材		宮川高部	祁区小	型動力	ポン	プ1:	台を購り	人。配信	į	長期間 等の整			うに、彳	各分団に重	極両、ポンプ
期第3期	各分団	カポン	プ等の』	点検計	画。			業者によ	はるポン	ンプ点板	食の多	実施				長期間 等の整			うに、彳	各分団に重	車両、ポンプ
第 4 期									_												
0									事	中		評	価								
当	年度開始										Ł	今 5		3	Ť		2		(5		7
消 管 (金	防団の組 対鉄的補助	職はあ けについ	るが、 いて)	責載車	、ポンフ	プを所持し	してし	いない分	団につ	いて。	í	, 後 カ) 	!状維持	寺 \		3		6		9
	± c./	- E Λ	ᆂᄹᆌ	Lian :	マ 竺 田	北市市	/ Jh	보 과 호	έ ⁄⁄⊏\		_ [Ī	引		·		4		U	<i>y</i>	119
理典	年度は小					求事項 ある。	(CX	平 " 以 ?	苦東)	方 作	生 <u>休</u>	· 廃 」	E (D							
	7,210-1	<u> </u>								白生/		/			咸 糸ス			見状維持 の 方	拡 大向性		
	評価年月	ŧ	7	当年度		1															
_	III 		妥	当		<u> </u>		有		効	率	性	:	级	合	評価	判定				
≣亚./	価の観点	1	2	3	4	判定	1	1 2	<u>勃</u>	定	1	2	3	1 4 1	判定				17 70		
## T	ニェック					4			レ	3					4			В			
	市の消	方車両	は、ポ	ンプ車	、 普i	五積載車	、軽	積載車の	3種で	上様(車両を	・配備	してし	14.		=7	A:計	画どおり事	業を進めるこ		
価 課																	B:事 C:事		「に改善が必要 容・実施主体 要		
つ 題 C															義	D:事 討		休・廃止の根			
																前年	き評価 シ		号 0901011		
H	. Sale and I	細	施		策	評		価				細		施	ラ		評		価	後	
		の強化 使用状	20 6 3	慮して	更新	を図るたり 日安を超									・考慮	して更	新目安				適正に行い耳 ら実施計画に
合 C		可戍・ 画の基		継続男		o。 D更新対	象 の.	見直しが	必要。	•		更新	行計画の	まり とり とり とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう とうしゅう しゅうしゅう しゅう		と続実施 、車両		新対象	たの見i	直しが必要	更。
評						D必要性 購入する:					日吉									て検討が	必要。 金割合を見∎
K _	すこと	小心要	_										ことも必		5/1/ <u>4</u>	ミルンフ	で帰り	১ গ তাৰ		ムの貝担:	正制 古で元
一価	車両の	维持管	理につ						導し	ていく	•	車市	の維持	管理						的に指導	ていく。
	前年		女 革			きの 実 				-14		削				西にお			V) /]		
改革		細	施	3	策	評		価		前			細		施	9	ŧ	評		価	後
- 後	成	拡	充			2		⑤	(7		成		5 3	3						
改	未	現状	維持			3 1	<u>ر</u>	6	(9		果の		状維持	ŧ					V	
善の方	方	縮	小			4		8	(10		方向	絲	3 /	١						
方	杜	休 勇	·····································	①								性		、廃 山	 E						
向作性性			_	皆	減	縮	小			拡	大					皆 》				見状維持	拡大
		4 1.6			コス			し の :		<u>性</u>		بيا	19.4*	40-4-4	+ 14. W						向性
A C E	中ナル			寺を考	滅しが	ヒポンプ	の配	備を定め	る必!	妛かあ	り、)規模、 ・作成す		寸性等	で考慮	したホ	シブの	ノ配備	で疋のる!	必要があり、
T 革	市民の	生命、	身体及	び財産	を守る	5ため、	行政	区からの	中期	的な要	望聴	市具	の生命	7、身体							明的な要望啊
ᅶ		他計画 こ、現	に基づ 在、軍	き事業施して	を継続	売してい 点検に加	く。 え 適 ・	また、常 切な管理	に有っ	郊活用 けた指:	でき										有効活用でき 句けた指導を
<u> </u>			_ , _		w n		1		I.A.	18				~ LL (~:n!		₩ 73°	~ i ~ i on / i	- 42 71'	J 2 -2 (4)	
	ン 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大																				
		- I	W clt or	ÆF₽4	0.0	旦幼	≣ 亚 /⁻	工 主 14	±			-		₩ Dir-sm				T		787 1-8	Stea
取終 計	[価年月		平成29	牛5月1	яĦ	最 終	計 化	可 貢 任	首				,	肖防課·	反					東城	源

平成28年度事務事業評価シート(一般事務事業用)

事務	事業	名	水防事	業													事為	美期間	平成	Ì.	~		年度	整理	里番号	10010	106
担当	当部	署	消防署				į	肖防調	Į			消队	「係				作月	找担当	者名	篠	原	其	=	連	絡先	678	3
計	おり	ナる	プラン位置で	づけ	有		策体	系		策 策 施 策 務事業	05 05 04 01		節	災 を リのチ	事に強	らぎ <i>の</i> い、3 業			いまち	らづく		1 +	7 00	TE 0	4 0	04 = #	5 01
RI	ヹ	昇	事 業			事業		**	<u>∿₩.</u>	1 M \$ 2	<u> </u>	一庙	田士	Z +	rt 海 t	+ £	表 内 :	+ ~ ~		ーコ <i>ー</i>		-		項 0		04 事業	
画			: 業の 概 _{わかりやす}	要																							
			と 背 うして	京)	れた	水防	資材	が配		軽減で					な水阪	方活動	が必	更にな	. b 、	そのた	めに	t. J	り身込	丘な場	所に適	切に管	理さ
(目	対	受益(誰のため	カに)	市内	すべ	ての	人																			
P		象	対(直接働きか	象 いける)			DL 97	SL 12.		, r = 1		(1 da 1	· C - 4 - 1	8 =c	1 — **** Li	mı — ddc:	700 J. J		m4- 342.	H 48 T	Mile ale a		, tales (74).	L n± 1-	14 44	ماسية يعد	D4- 202
	的	(どん	意図	:いか)	材を	使用	でき	る状態	態にす	する。				B PJT	に廻り	川一官	理され	した水	. 的 寅·	Maria	in ca	(L.)]	(音光)	E呀I〜	は、誰	でも水	的實
L A			・ 方 やって	法						は検整値 資材を通				る 。													
			行政活動	動の絹	集7	からつ	ر ا	りだす	もの	は何?	指	持	₹ 1	ጀ	称	単(位 第	出方	法・詞	计算式	・目	標値言	役定の:	考えた	ちなど	最終目	標値
N	評		水防活動 数量の				資材等	等の点	検整	備及び	水防流	倉庫· 実施[資材 回数	の点	検整			検整の			× 2 4	·箇所	(水防	倉庫	·±		144
	価指標	標																									
)	の作成	成	成	果	•	効	果	は	何	?	指	有	 4	ጀ	称	単(立 第	凹方	法・詞	計算式	・目	標値言	没定の:	考えた	ちなど	最終目	標値
	肞	果指	市内各均	也への	٦ (±の:) I 🤆	の配備	i		±の	う配信	構数			個	ā	備数	配備	目標値	数					11,	700
		標	水防資	材の補	充						水防 足率	資材(の基準	準数 (の充	%	<mark>가</mark>	防資	材現本	数/水	防資	材基 线	e数×1	00			100

	Ĭ	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	leili		(a)	円	435 , 537	470, 000	326, 709	153, 115	271, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	435, 537	470, 000	326, 709	153, 115	271, 000
施	職	正規職	員	人	0. 18	0. 18	0. 18	0. 18	
	ā	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 18	0. 18	0. 18	0. 18	
- 100		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	8. 00	8. 00	6. 00	3. 00	5. 00
		水防倉庫・資材の点検整	目標		144	144	144	144	144
		備の実施回数	実績		144	144	144	144	144
	活		達成率	%	100.00	100. 00	100. 00	100. 00	100. 00
	動指		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	1214		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	11 700	11 700	11 700	11 700	11 700
0	成	上のこれ体制	目標	個	11, 700	11, 700 11, 585	11, 700	11, 700	11, 700
	果	土のう配備数	実績	0/	11, 824 101, 06		11, 700	11, 700	11, 700
	未指		達成率	%	101.06	99. 02 100	100. 00 100	100. 00 100	100.00
<u> </u>	1986	水防資材の基準数の充	目標実績	%	101	100	100	100	100
	િ示	足率	達成率	%	100, 58	99, 69	100, 00	100.00	100, 00
		北昨舎庫五パ北昨谷廿の	上人	70 Z##1+ 4		・度から河流な活動が			D > (久 F ∩ 岱 A
	備	水防倉庫及び水防資材の 計3550袋)を配備し ら成果指標を水防資材の	が、一次登り	と聞いる 4	こり7月1年に天祀。24年 日レート・十のう配は	- 皮パ゚りル还な心動パ	7」んるよう中内合地 話)け相弁の21年	近いセグランIF成工V 新(Q150垈)レオ	ス 平成22年度か
	考	このことで表)を配備し こ成単指揮を水防資料の	其准数	かのから	4とした。エのノ配備 2家とした。近年ゲリ	17回の双(中で音座物) ラ裏雨が増え水吹客	対の其准数を目直し	水防咨匙材其准数!	で。 TMLLT皮が
	3	の表外に表の方を見るの	~ +×	K 47 J L A	と中とした。近年プラ	フ索 Min 相 れ 小 例 貝	物の金牛奴を充匪し	、小树具面物态牛蚁	7.54 C .04.00 o

	-	業名 水瓜														間 平		~		年月	度 整理番号	1 100	10106
担	当 部	署消	署			消隆	方課			消防	持係			1	成担	当者名	篠	原	真	Ξ	連絡先		678
	期				目 標						9	実 :	結							課	題		
					コ 1示						7	_	小貝							环	咫		
四	第 1 期	水防訓練	東の実	施					水防訓 各水防		施。 の資材の	確認	•				水防道 に依頼				について、」	太域消	防職員
半	第																						
	2期	水防資	オの管	理					水防資	材の作	管理						水防道に依頼				について、) 。	広域消	防職員
期ご	第 3 期	水防資	すの管	理					水防資	材の作	管理						水防道に依頼				について、」	太域消	防職員
٤	第 4 期	水防資	すの管	理					水防資	材の作	管理						水防道に依頼				について、」	広域消	防職員
										4	中		評	価									
0	44.4	王度盟始	後 糸	56 A	日が経	温1.	新たに	生じた	・問題・	占わ程	境の変化	_	÷			/-			<u> </u>		A	(A)	
		職員に					1917212		- IHJ K27	III 1 24	(5,00)	4		果	١ .	充			2		⑤	7	レ
管												後		の現	状維	持		(3		6	9	
H												σ.		方 編	ŝ ,	小		(4)		8	10	
理							求事項								· 廃 .	止(D						
		清庫の 費用、推					الاحالا	く、相	なでは	断中 。)	卢]				皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	•						性	ŧ l					ス	-	投力	への 方	向	性
												-		_					•				-
	Ī	评価年度	Ę	3	当年度																		
	裑	見点		妥	当	ı	性		有	交	<u></u>			効	率	1	生		総	合 評 値	11 判	定	
-	評価	面の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判	定	1	2	3	4	判员	2		_		
評		ェック					4					4	,					4			Α		
	Ė	市民の	「±の	う」使	用頻度	39.	更なる	需要に	あるため	事業に	は継続	しなけ	ればな		A:	計画どおり	事業を近	≛めるこ					
		らない。								1. 84. 14			mL 1. s				記号		とが適当 事業の進め:	七1一3h含	自然心 西		
価	課										₹材防資器 ≾は2棟)			ノート	, –	フ、和	σ		事業規模・				
		このうち	ち、横	内通勤	パイパ	ペス人	ノロ横に	ある	「ちの	水防倉	庫」と、	邪化	呆健福祉	サート	ごスセ	ンター	裏にま	· 克		の見直しが事業の統合		をよりお	
	題	る「宮」	水防	倉庫」	は上川	の右	半、左岸	に相	対して	建って	おり、戸業にも危	曽ス	k時の資	器材料	慢出に	危険が	伴う。	彰	₹ 0.	計が必要	. 1/1 - 13	モエリ大	
С	Į	り、車	「の反	小阶层 転場所	厚とも がなし	連路がため、	リス とうしゅう はいしょう かいまい はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう かいしょう かいしょう はいしょ しゅう はいしょう はいまま しゅう はいしょう いしょう はいしょう はいしょ はいしょう はいしょう はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ はいしょ	貝懐	付語の 約1km	込み们 も進行	F来にもル うしなけれ	3映7 1ば3	いり	Fいまり 自点に出	。まり れなし	こ、一 ハ状況	ク理行 となっ	につ!: てい	Î	前年度	総合評価判	定	Α
		3 .																			価シート整理		010120
Н	4//		細	拼		策		平	価		前			細		施		策		抨	一 個	後	
E																					加、回覧で ており、更		
_		える必要	更があ	るため	事業は	継続	しなけれ	ばな	らない	•			え	る必要な	がある	ため事	業は維	続し	なけれ	んぱな	らない。		
С		平成は	23年	から水 を実施	防資材	の基準	早数によ	る予	算ペー を維持	スとな	いい、水間は緩寒にも	資	#	平成23の購13	3年か	ら水防電体に	資材の	基準	数によった。	よる予: は推業	算ベースと を維持して	なり、水災事	水防資
14	評	する。		さ大爪	5 U /L 0	710	こい種	一双	C. 中土 1寸	U C/1	、火舌にど	3 116	ずす	る。		大心し	·/-0 7	Ø.	_	5千双	ご 神正1寸 し し	小火百	1-V1W
K	価																						
)		前年	度。	女 革	· 改	善角	きの身	施	状 況				前	年度	细施多	<u>策</u> 評(西にお	<u>け</u> る	今 往	後 の フ	方向性		
改	_		細	拼	ħ	策	1	平	価		前			細		施		策	-	评	価	後	
革	今	成	拡	<u> </u>			2		<u></u>		7			11- 龙	'	元					-		ν
改	後	成 果					į				ļ			Ž									
善善	の	စ 	現状網	唯持			3		6	レ 	9			<i>'</i>	1状維	守							
Ø	方	方 向	縮	小			4		8		10			与 句	首 ,	<u>را</u> ر							
方向	向	性	休廃	上	1										ト廃 .	止							
性		_		_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大					皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
~	性				•	コス		投え			向 性		_					ス		投え		向(
A	改	経年経過	風によ	り老杯	化した	:水防1	庫もあ	59、	補修や	更新を	・見据えて	計	近ノ	年局地的	りに豪	雨が角	生して	いる	ため、	水防	資材配備数 年数が長い	を維持	してい
C	革	画来で1 また、i	F級し 近年局:	地的に	。 -豪雨カ	・ 発生 に	している	ため	、水防	資材面	己備数を針	排	ì	こ代に、 変更し7	カ化 こいく	<i>い・放</i> えし 。	, v ·FEII	いつ	文で、	MJ 713	年数が長い	UVI	いり被
Ī	-,	してい	くと共	に、劣	化が湯	tしいF	E土のう	袋を	、耐用	年数カ	長いしく	/±											
0	~ .	のう袋!	-変更	してい	٠, ٠																		
Z)																							
	來																						
是名	タ 証	価年月		IZ ⊨世20	在5日1	0 🗆	是 終	証 右	事 書 ,	エータ				-	消防課	E		_			東城	165	

± 44, 45,00

事務	事業	纟名	建築物耐震	女修	足進事	業											事	業期	間	平成	1	5	~		左	F度	整	理番号	05	03030	3
担:	当部	署	都市建設部			都	市計	画課				建築係	Ŕ				作	成担	当者	名	竹	村	Ţ	[-	- 1	耶	連	絡先		534	
			プランに 位置づけ	有	政贸	策 体	系		策 策 策 第事業	į (05 : 07 :	第 5 章 第 5 复 建 築 物	ī į	災害!	こ強し	N. 5	安全	で明・													
計	予	算	事 業 名	建築	物耐	農改化	多促进	生事	ŧ											会計	<u> </u>	・ド	001	款	ا 0	8 I	頁 ()5 目	02	事業	02
画	事系	多事	·業の概要 っかりゃすく)	1 2 2 3 2	15 6: めの めの よす	用途(用途(用途(は住 ⁵ はホ・	さで、テルヤ	耐震	診りなと	の無の多	料受	診と	診断利用	費用する	の補 建物	助、 で、	及び耐震	耐震診路	関補	歯工 補助	事等をし	の補 ます	助を	し	ます	•	震診	新費月	月の補	助
			と 背 景うして)	近年対し	大きての	な地類知識を	<mark>要が</mark> を高る	多くst めると	き生し	たい	vるに 具体	もか	かわ 対策	らず を行	、地 うこ	<mark>震災</mark> とで	害に災害	-対す 時の	る値被害	また:	まな; 長小	かな限に	か進 抑え	行し るこ	と	が望	況でまれ	ある	ため、 ます。	災害	に
. σ	目	対 象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	計画昭和	156年 『で区 156年 『で区	· 自》 5月以	台会の	が避り	性集合 した	場 1 戸	建て	, てさ: の住宅	れた 所	公民有者、	館、	<u>及び</u> テルヤ	市局	。 院な。													
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	る強	156年 物 に	つい	ては、	耐力	異補強	工事	や建	て替	えに	より	地震	災害	に強	いま	ちた	が形り	載さ	hτ	いる	•							
∟			方法やって)		物、てい																						. व	でに	耐震語	参断を	実
			行政活動の紀	吉果:	からつ	くり	だす	もの	は何′	?	指	標	名	称	ī	単	位	算出	方法	. 1	†算:	式·	目標	種語	设定	の考	え	方なと	最終	冬目標	値
N	評	活動指	区長宛文書(こよ・	る年間	回覧	回数			年	間回	覧回	数					年間(の実	施目	標値	を	设定								3
	価指標の	標																													_
	作	成	/// //	•	,,,	果	は	何	?		指	標	名	称		単(-							最終	冬目標	値
	成		地震災害に。減少	よる	到壊の	危険	性が	ある	住宅の	の民	間住	宅のi	耐震	化率		%		耐震 く) ³	性能平成	がま 27年	を使え	: 目:	/住 票	宅総	数	(別)	ŧě	除		9	0

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	Iuli.		(a)	円	6, 671, 000	2, 626, 000	16, 976, 640	6, 984, 000	19, 026, 000
	財	国 庫 支 出	金	円	2, 913, 000	1, 213, 000	8, 284, 000	2, 628, 000	6, 999, 000
実	源	県 支 出	金	円	1, 816, 000	598, 000	4, 326, 700	1, 231, 000	4, 699, 000
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	1, 942, 000	815, 000	4, 365, 940	3, 125, 000	7, 328, 000
施	職	正規職	員	人	0. 50	0. 50	0. 60	0. 50	0. 50
		嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	白	計	人	0. 50	0. 50	0. 60	0. 50	0. 50
11	Ż		数		34	19	30	25	66
			(b)		34	19	30	25	66
			(b)	円	196, 206	138, 211	565, 888	279, 360	345, 294
況		受益者負担	額	円	12, 911, 000	3, 744, 000	13, 623, 200		
	Γ	市民一人当たりのコス		円	119.00	47. 00	304. 00	126. 00	411.00
			目標		2	2	<u> 2</u>	2	2
		年間回覧回数	実績	,	1	1	4	2	2
	活		達成率	%	50.00	50. 00	200. 00	100. 00	100.00
	動		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	示		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_			_	_
0	-		目標	%	90	90	90	90	90
	成	民間住宅の耐震化率	実績		81. 31	82. 06	82. 90	83. 84	84
	果		達成率	%	90. 34	91. 18	92. 11	93. 16	93. 33
)	指		目標	_					
	標	_	実績						
		0F000040 F± 1± 15 ± 1=1=	達成率	%	D 0000011 F-1-1-11				
	備	05030310「木造住宅耐震	移町号	来」	205030311 「不遺任名	「町展補強補助争業」	を見直し、平成2/年	度から1事業として評	他 。

	帝事業名 <mark>建築物耐震改修促進事業</mark> 当 部 署 都市建設部 都市計画課 建築係													業期間	平原											
担	当 部	署 都r	建設	部		都下	計画課		建築	系			作月	找担当	者名	竹	村真	[-]	郎	連絡先		534				
	期			E	標					ᢖ	€ 稍	ŧ							課題	Į						
四	第 1 期		重要性	や補助	制度に	ついて	通知等で 「PRを行 を募る	で耐 ネルと い、・木造 件 ・木造	回覧に。 住宅耐震 住宅耐震	kりPR 関診断12 関心修工	件/ 事14	事についてヒーナチャン 耐震診断において、現時点の申請件数が昨年より少ない 11件 耐震診断と改修工事をPR														
半期	第 2 期	再度、市件数を予				案内を	行い、申	清 *木造化 診断14 震診断 ・木造化	・ナヤン不 主宅耐震 牛(累計2 1件(累計 主宅耐震 耐度化累	診断2件(件)/特5 -1件) 改修工事	果計 2既有 2件(4件 耐震 累計:) /避難 ほ不適格 3件)	施設 建築物	耐	耐震診断において、相談はあるが、申請件数が増えない										
2	第 3 期	について・新年度	の検 から0	討 D助成制	制度につ	いて	プログラ』 の検討 プログラ』	ム」 の 作成 ・新年 ・ <u>本造</u>	作成 新年度からの助成制度拡充の(案)作成 大造住宅耐震診断4性(累計18件) 主宅耐震化繁急促進アグションプロクラムの策											OPF	が必					
٢	第 4 期	について	の策	定			まえた要	ン」 定 ・新年	度からの 市建築物 	助成制	充に	よる要	調改正		要		り助成制!			のPF	が必					
Ø	当年	F度開始	後、約	約6ヶ)	月が経	過し、	新たにな	生じた問題	点や環境	成		弁			2)	5		7	レ						
管	ラム	」を作成。 県から	するこ	とで、面	村震改作	補助	金が30万	化緊急促進 行用加算され いら100万円	る制度が	が設けら		《果の方向	現物	犬維持	F		3)	6		9					
理	グラ の <u>報</u>	の耐震 ム」を作 合を図り	化率を 成し各	向上さ 戸訪問	せるた。 lを行う	めに、	住宅耐加工、長野県	(改革・改 と化緊急促 は整備して ことで、耐震	進アクシ いる助/	ず制度と		性		廃业				宿 小		状維持の方	拡向	大性				
	りた						1				-															
	Ī	评価年月	ŧ		4年度																					
	初	•		妥	当		性	有	効	性		交	_	率	4 l	生 	総	合	評価	判	定					
評		の観点	1	2	3	4	判定 4	1 2	3	4	判定 4	-	1	2 3			判定 4	_		Α						
価(c	課題	ピーナ	チャン	ネルな	どでP	Rを	いて、相 Sこなっ	 談はあるが ても、申込 め、拡充の	み件数が	が増えな	かな い。							記号の定義前年	と事事の事討総 () () () () () () ()	ど適の規直の必評 トラック おり めいがら 押 整 手 方内心、	で改善というできます。	きが必要 ミ施主体 軽止の検 B				
н	40		細	施	Ī	策	割	運		前			細		施		策	評		価	後					
E C K)	総合評価	るためで 加等、 に に に に に に に に に に	か建制で 対象の 対象で 対象で 対象で 対象で 対象で 対象で 対象で 対象で 対象で 対象で	えて 定き 震楽し 進また	を補助 充す。 格建築 、	対象(ことが 物の (の効!	こ追加や ができた 1 施設や 果があり	直、事のとは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	の対象(度以降(施設に [*] を実施(に別荘を の耐震化 ついて、	追の昨だ	た等特度に	めの建 、助成 定 成 で で と が で	替えてをおります。	事拡適業た	補助対 する 建築内の	象に追 とがで の 1 放 効果か	きた。 設 や公	耐震診 民館の 耐震診	断の対象 2施設(断を実施	inに別 こつい	荘を追 て、昨				
改			細	改革 施		策	割	施状况		前		יינ אינ	細	心火	施		策	評		価	後					
革	今		拡拡	充	s 	双	2	5 1 1 1		1911 7)	-	- +	拡	充			ж	矿	1	lm	÷	ل ل				
改	後	成 果										成 果									ļ					
善善	တ	の	現状				3	6		9		の		犬維持												
O	方	方 向	縮	小			4	8	(<u>D</u>		方 向	縮	小							ļ					
方向	向	性	休房	上	1				, i			性	休	廃止												
性	性				皆	減	縮	小 現状		拡	大					皆	減		小 現状維持			大				
~			- 80 J	7 BL -A		コス		サントラス		性			No. BP	L 7 F	B #		ス			現状維持 拡 の 方 向 伝える資料を作						
ACTIO	改革・改善	します。 ら建替: の様な! やすく!	。また え工事 ちに対 说明で	、住宅 までを して、 きる資	の建替 実施す 診断か 料を作	えエ る事 ら建 成し	事も対象 を希望す きえ工事 ます。	すく伝える としたが増え までの らうた	、単年原ると思い ジュール	隻で診断 います。 レをわか	かそりゃ	建っ様	す。ま 替えエ な方に く説明	た、住 事 す で き る	宅を実験料	建替え 施する 断から を作成	工事も 事を希 建替え	対象と 望する 工事ま	したた 方が増 でのス	め、単 ⁴ えると ケジュ-	F度で 思いま ールを	診断か す。そ わかり				
N	善策	の拡充でいます。	を効果	的に P	Rする	ため	こ、戸別	訪問などの	普及啓	発活動を	行	がま	充を効: す。	果的に	PR	するた	めに、	戸別訪	問など	の普及を	下 下	動を行				

平成28年度事務事業評価シート(一般事務事業用)

			防火防犯事	集									luli.	事業期間 平成					整理番号	10010107	
担:	当 部	署	企画総務部			消防部	ļ.			消防係			1	作成担当	者名	篠	原	<u></u>	=	連絡先	677
			プランに 位置づけ	有	政策	体 系	施 細 旅事務		05	第5章 第5節 消防体	災	害に強い		る高原 を きで明るし							
計	로	笛	事業名	RE J	 く防犯事	* *	争 符	争耒	08	_					会計:	7_ Ľ	001	款	09 I	頁 01 目	02 主要 05
画	事	務 事	業の概要	茅動茅	市防犯・推進し	組合は 、安全 協会は	で住み 、市内	よい地 の危険	域社会物施言	会の実現 役のある	見に著 る事業	ア与して ἔ所や防	います。	,	想の普	及高	易と総	合的か	ハコー	体となった	02 事業 05 -各種防犯活 めの一翼を担
			と 背 景うして)	火災	そや災害									活動する る必要が		ある。	•				
(Ħ	対	受益者 (誰のために)	市月組合	· ·員、協	会員															
P		象	対象(直接働きかける)	市内	市内の子供が被害に遭わないようにする。																
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	市内	rhyの事業所の災害をなくす。 rhyの事業所の災害をなくす。 render にあわせ防犯パトロールを実施する。																
L				防狐防火	¶小甲字 □指導委 以協会会 □灯の設	員の講 員への	習会を 講習会	実施す の実施	る。 する。				්								
			行政活動の約	結果:	からつく	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方法	法・計	算式	• 目標	標値設定	定の考	え方など	最終目標値
Z	評	活動	防犯パトロ-	ール	実施				防犯/	パトロー	-ル回	数		平均登村	交日×3	3署					633
	価指	指標	防犯指導員	芦晋	会参加者	ř <u> </u>			講習会	参加者	i		%	講習会	参加者	/防犯	指導員	× 100			70
)	標の		防火教室参加	加者					防火养	文室参加	渚		%	教室参加	四者/防	火協	会員>	100			50
	作	成	成果	•	効 男	見 は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方法	法・計	算式	・目標	植設定	官の考	え方など	最終目標値
	成	果指標	防犯指導員						防犯措	非員数	t		,	20世	特に1.	<u>, </u>					1, 000
														l							

	項		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
-	事		(a) 金	円円	5, 542, 335	4, 272, 739	6, 236, 485	5, 338, 295	6, 387, 000
	771	<u>国 </u>	金	円					
-	//T	京 文 田 地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳 -	一 般 財	源	円	5, 542, 335	4, 272, 739	6, 236, 485	5, 338, 295	6, 387, 000
施		正規職	員	人	0. 55	0. 55	0. 55	0. 55	
	ᆵ	嘱 託 職	員	人					
	F	臨時職	員	人	0.55	0.55	A FF	0.55	
状		合 <i>各</i> / 2 \	計	人	0. 55	0. 55	0. 55	0. 55	
	<u>対</u> 延 和		数 (b)						
-			(b)	円	_	_	_	_	_
況	受	益者負担	額	円					
200		一人当たりのコス		円	99. 00	76. 00	112. 00	96. 00	115. 00
			目標		633	633	633	633	633
	防狐	Dパトロール回数	実績		397	356	350	350	350
	活		達成率	%	62. 72	56. 24	55. <u>29</u>	55. 29	55. <u>29</u>
	動	M A A 4- #	目標	%	70	70	70	70	70
	動指	冒会参加者	実績達成率	%	39 56, 16	54 77, 33	54 77. 39	55 78, 57	55 78. 57
D	標		目標		50. 10	50	77. 39 50	78. 57 50	50
	防力	火教室参加者	実績	%	33	36	43	40	40
			達成率	%	66, 28	72. 68	85. 54	80, 00	80, 00
0			目標	ı	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000
	成 防狐	D指導員数	実績	人	611	617	607	630	630
	果		達成率	%	61. 10	61. 70	60. 70	63. 00	63. 00
\smile	指		目標	_					
	標一		実績	0/					
-			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								

事務	事業	€名 🖔	5火[5犯事	業										1	事業期	間平	成	^	~	年月	度 整理番	号 100	10107			
担当	部	署 1	全国 全	診務音	ß		消	防課			消	防係			f	作成担	当者名	篠	原	į	=	連絡党	ē 6	77			
1	钥					目標	<u> </u>						実	績							課題						
9 四	第 1	防火 防犯約 危険物	act of	经会选	上備 準備		K			防犯	協会系 !組合系 !物準値	会実	<u></u> 施	434				防犯	灯の業	新規設		EDへの変見	更望が	多い			
		防犯排 消防加					の受付	†			.指導員 i施設勢			請の	受付支持	防犯灯の新規設置、LEDへの変更要望 払							更望が	多い			
QII.	3		文室 は	及び間	方火協		修視 療 の受付		.	防火		び防			視察の3 受付支持			防犯灯の新規設置、LEDへの変更要望が多い									
	事中評 当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 _会 成															L.		防犯	灯の業	析規設	置、LE	Dへの変更	更望が	多い			
၈												事	中	評	価												
									に生し	こた問題	題点や	環境σ	変化		成	<u></u>	充			2		5	7				
	5犯	カメラ	の設	置に	ついて	て、検	討を始	める。							果一切のり	見状維	持			3		⑥ レ	9				
管															方糸		小			4							
		立	仁左日	± 10 5	5 + 5=	ட்டன்	マ竺	而 北 走	T	ルサ	北羊鱼	/= \		0)	向	 				4		8	10				
理 🥫	5犯								導項 (c 算的に				il.		性 /	序	# J	D									
														向				皆	減	縮	小	現状維持	寺 拡	大			
														性	/			⊐	ス	۲	投	人のブ	向	性			
	==	平価年	- ctc		3	当年月		1																			
	視		-及 一		妥	当 + 15 当		性		有	ī	効	性			効	率		性		総	合 評	価 判	定			
		の観	占	1 1	女 2	= 3	1 4	判	完					判定	1	2	T 3	4	判	完	心		Ш +1	止			
# =		エック		•		+ -	+-	4		<u> </u>			7	4	+ '-			7	T'1			Α					
価 C						てい									ンていく					(-	の C: 策 D: 前年度	事業の進め事業規模・の事業規直の統一事業が必要を対した合きを対した合きを対した。	内容・実心要、、休・廃	施主体			
н	+		紐	<u> </u>	拼	dir.	策		評		西	前			紐	1	施		策		評	価と一下登垣	後				
E C F		防犯划	ペト! び設情	要要	レにつ	かて	、今後	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ましてい 実 旅	us.		<u> </u>		防	犯パト 犯灯設i	ロ ール 置要望	ッにつし 『が増加	1して (今後もいる。		してい		K .				
改	,		細	1	拼	ħ.	策		評	-	西	前			組	1	施		策		評	価	後				
革	今 -	成	į.		充		214	2		5		7		-			充										
· 私	乡	果		見状系		ļ		j			1.	9		È	Į	业 見状維						1.					
	カ	の 方						3		6	レ				·							V					
の *	方	向	糸	宿	小			4		8		10		F	j	宿	小										
方向	句	性	t	木 廃	止	1								1	生 <u>化</u>	木 廃	止										
Ad.	生			_	_	皆	減		小		状維持					_		皆	減	縮・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小	2		大			
Ā	汝						 、広場		・ 投 <mark>戦員に</mark> :				性 う後も					て、ル	」 大域洋			入 の 方 <mark>協力して</mark> :					
TION	半・改善	続して防犯が	Cい。 <mark>牙設</mark> i	《必 置要 宣	せがを をが増)る。 ∤加し	ている	、配分	}に苦!	意する	0				してい 犯 灯設 †				いる。	配分	に苦慮	する。					
	策																										
		価年月	9 0	77	E Ett on	年5月	10日	早	終評	福 書	· /エ -	安				消防調	9. F.				<u> </u>	士七	水源				